

岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事

【 建築工事 】
(新築工事)

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
A-00	図面リスト	
A-01	新築工事 特記仕様書 (1)	
A-02	新築工事 特記仕様書 (2)	
A-03	新築工事 特記仕様書 (3)	
A-04	新築工事 特記仕様書 (4)	
A-05	新築工事 特記仕様書 (5)	
A-06	新築工事 特記仕様書 (6)	
A-07	建築面積・敷地求積図	A1:1/100 A1:1/200 A3:1/200 A3:1/600
A-08	仕上表	
A-09	案内図・配置図	A1:1/100 A3:1/600
A-10	1階平面図・2階平面図	A1:1/50 A3:1/100
A-11	立面図	A1:1/100 A3:1/200
A-12	東立面図・南立面図	A1:1/50 A3:1/100
A-13	北立面図・西立面図	A1:1/50 A3:1/100
A-14	A～A断面図・B～B断面図	A1:1/50 A3:1/100
A-15	建具カープラン	A1:1/50 A3:1/100
A-16	建具表	A1:1/50 A3:1/100
A-19	1階・2階天井伏図	A1:1/50 A3:1/100
A-20	1階平面詳細図	A1:1/30 A3:1/60
A-21	2階平面詳細図	A1:1/30 A3:1/60
A-22	矩計図	A1:1/30 A3:1/60
A-23	階段詳細図	A1:1/20 A3:1/40
A-24	展開図 車庫・玄関	A1:1/50 A3:1/100
A-25	展開図 1階廊下・1階踊上 女子トイレ・1階男子トイレ・洗面所・電気温水室	A1:1/50 A3:1/100
A-26	展開図 1階休憩室・2階監視室・2階休憩室	A1:1/50 A3:1/100
A-27	展開図 2階湯沸室・2階廊下・2階トイレ・2階洗面脱衣室・2階浴室	A1:1/50 A3:1/100
A-28	採光・排煙・換気計算	A1:1/50 A1:1/100 A1:1/100 A3:1/100 A3:1/200 A3:1/100
S-01	構造関係特記仕様書(1)	
S-02	構造関係特記仕様書(2)	
S-03	配筋標準図 (1)	
S-04	配筋標準図 (2)	
S-05	配筋標準図 (3)	
S-06	配筋標準図 (4)	
S-07	配筋標準図 (5)	
S-08	調査位置平面図・ボーリング柱状図・スクロウエイト貫入試験	A1:1/400 A3:1/600
S-09	基礎(ラッパルコンクリート)伏図・基礎伏図	A1:1/50 A3:1/100
S-10	1階梁・床伏図・1階柱・壁・2階梁・床伏図	A1:1/50 A3:1/100
S-11	2階柱・壁・R階梁・R階床伏図	A1:1/50 A3:1/100
S-12	基礎・柱・梁・壁スラブ・叩き 各断面図	A1:1/30 A1:1/20 A3:1/60 A3:1/40
S-13	軸組図	A1:1/100 A3:1/200
S-14	架構配筋図	A1:1/30 A3:1/60
S-15	鉄骨標準図 (1)	
S-16	鉄骨標準図 (2)	
S-17	鉄骨標準図 (3)	
S-18	置屋根柱伏図・置屋根母屋伏図	A1:1/50 A3:1/100
S-19	置屋根重木伏図	A1:1/50 A3:1/100
S-20	置屋根軸組図	A1:1/100 A3:1/200
S-21	鉄骨部材リスト・置屋根詳細図	A1:1/10 A3:1/20

【 建築工事 】
(解体工事)

[illegible]

【電氣工事】

[illegible]

【機械工事】

[illegible][illegible]

22-2

舗装工事

①砂利敷き

9.路面標示用塗料

・鋪石鋪装

(22.8.2) (22.8.3)

種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	間付け	基層 (mm)
・小鋪石 (花こう岩)	・図示	・80	・図示	・375以下 ・75以下混合層

(22.8.2)

クッション材 ※砂 ・空鋪りモルタル
仕上りの平坦性 ※歩行に支障のないものとし、鋪石間の設高3mm以内とする

(22.8.2)

種類 ・道路 ※A種 ・図示による
・建物周囲その他 ※B種 ○図示による

(22.9.2) (表22.9.1)

路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)
※3種1号	・塗熱	・砂体状	・白	・150	・1.0
・1種	○常温	・液状	・	・100	・
・2種	○加熱				

○色揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23

植栽工事

2.植栽基盤の整備

3.植込み用土

4.土壌改良材

5.植樹

6.芝、吹付けは種地被覆

7.屋上緑化

1.植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指標 (pH) 試験 ・行う ・行わない
電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない

(23.1.2)

整備内容

(23.2.2) (表23.2.1～2)

植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	・土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上～7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・実張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない
・芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備
(締きよ、開きよ、排水層縦穴排水等) ・設ける (※図示)
・設けない

(23.2.2)

・現場発生土の良質土 ・寄土

(23.2.3)

種類、指定量

(23.2.3) (22.2.4)

・パーク用型
路工箇所 ・植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・50L)

・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ⑤
施工箇所 ・植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L)

樹木 樹種、寸法、株立数等 ・図示による
刈込みものの適用 ・適用する (数量:)
・適用しない

(23.2.2)

支柱 支柱の規格 ※尖太 (樹体材) ⑥ ・真竹
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太
形式 ・添え柱形 ・鳥居形 ・八つ掛け形
・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形

(23.2.2)

幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら、こも

(23.3.4) (23.4.7)

新植、移植樹木、正等の枯保証
新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯保証の期間
※引渡の日から1年 ・無し
移植樹木の枯損保証を行う期間
※引渡の日から1年 ・無し

(23.2.4)

芝 種類 ※コウライシバ ・ノシバ
芝張りの工法 (平地) ※目地張り ・べた張り
(斜面) ・目地張り ※べた張り

(23.4.2～3)

吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	種子の量 (g/㎡)	備考
※洋芝種 (播種後2年以内)		
・		

・地被類

(23.4.2)

植物の種類	非立数	倍	単位面積当たりの株数
・	・	・	・
・	・	・	・

植栽基盤及び材料

(23.5.2)

・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示による
排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:)
・板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土

・屋上緑化軽量システム
耐根層、耐根層保護層、排水層、透水層及び土壌層等植栽基盤工法
※システム製造所の仕様による

(23.5.3)

樹木、芝及び地被類
樹種、寸法、株立数等 ・図示による
刈込みものの適用 ・適用する (数量:)
・適用しない

(23.5.3)

見切り材、植栽材、排水孔、マルチング材等
・図示による

(23.5.4)

工法
平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法
・図示による
支柱 ・設置する (形式 ・図示)
かん水装置 ・設置する (種類 ・図示)

訂正

月

日

設計年月日

設計

検図

受領印

工事名称

岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事

設計番号

—

製図

担当

受領年月日

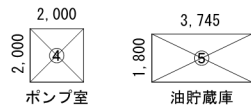
図面名称

新築工事 特記仕様書 No. 6

縮尺

図面番号

A新築—06



ポンプ室

④ $2,000 \times 2,000 = 4.0 \text{ m}^2$

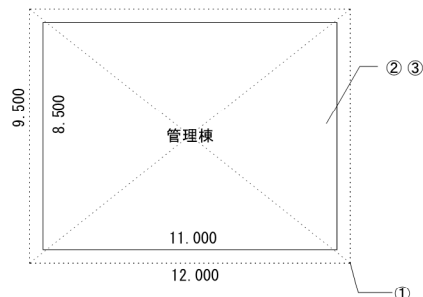
建築面積 ④ = 4.00 m^2

1階床面積 ④ = 4.00 m^2

油貯蔵庫

⑤ 建築面積 ⑤ = 6.74 m^2

1階床面積 ⑤ = 6.74 m^2



管理棟

① $12,000 \times 9,500 = 114.00 \text{ m}^2$

② $11,000 \times 8,500 = 93.50 \text{ m}^2$

③ $11,000 \times 8,500 = 93.50 \text{ m}^2$

建築面積 ① = 114.00 m^2

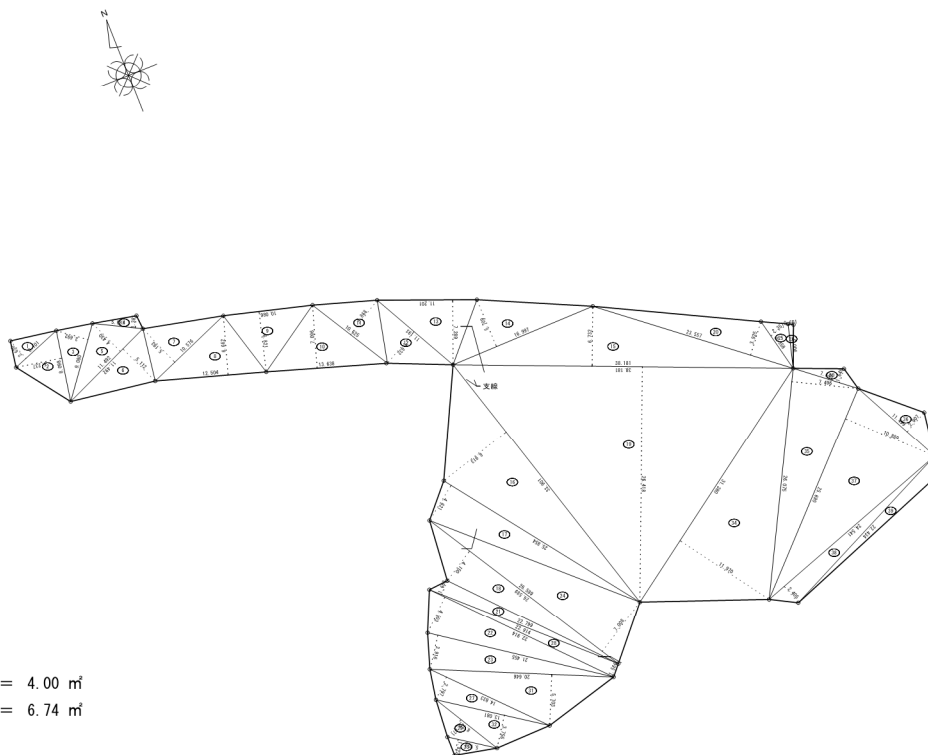
1階床面積 ② = 93.50 m^2

2階床面積 ③ = 93.50 m^2

延べ床面積 ②+③ = 187.00 m^2

④ $2,000 \times 2,000 = 4.00 \text{ m}^2$

⑤ $3,745 \times 1,800 = 6.74 \text{ m}^2$



現況図面 S=1/300

集積	区画	区画	区画	区画	区画
1	6.100	2.600	14.04000	8.00000	8.00000
2	6.000	5.000	30.00000	11.00000	11.00000
3	6.000	5.000	30.00000	11.00000	11.00000
4	5.000	1.000	5.00000	1.00000	1.00000
5	11.000	4.000	44.00000	15.00000	15.00000
6	11.000	5.000	55.00000	16.00000	16.00000
7	10.000	5.000	50.00000	15.00000	15.00000
8	12.000	4.000	48.00000	16.00000	16.00000
9	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
10	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
11	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
12	11.000	4.000	44.00000	15.00000	15.00000
13	11.000	4.000	44.00000	15.00000	15.00000
14	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
15	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
16	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
17	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
18	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
19	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
20	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
21	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
22	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
23	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
24	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
25	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
26	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
27	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
28	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
29	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
30	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
31	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
32	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
33	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
34	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
35	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
36	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
37	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
38	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
39	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
40	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
41	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
42	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
43	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
44	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
45	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
46	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
47	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
48	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
49	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000
50	10.000	4.000	40.00000	14.00000	14.00000

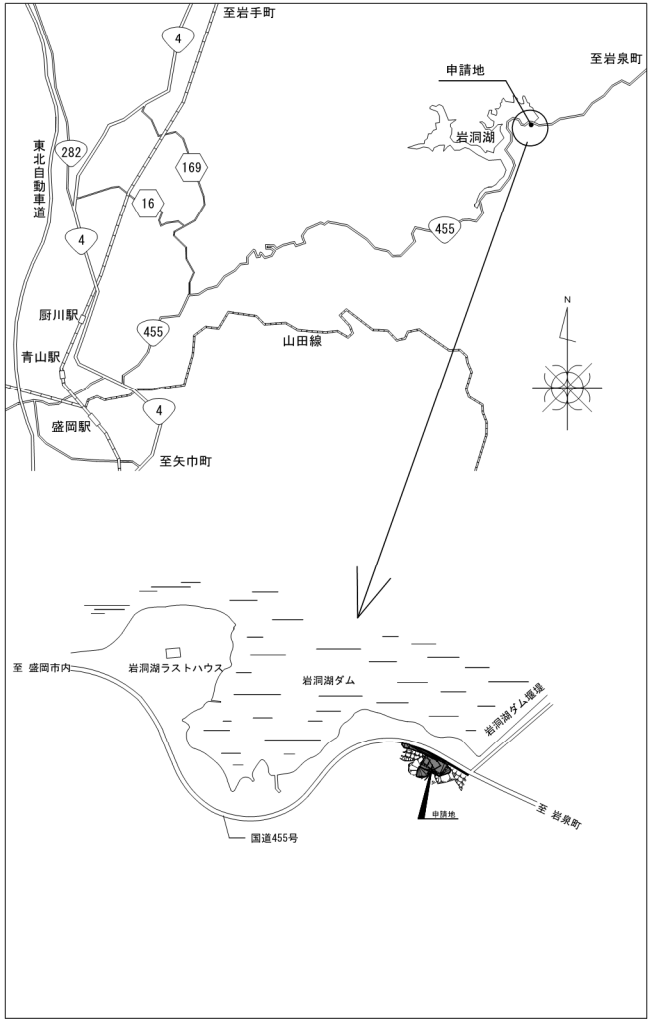
	申請建物		申請建物 合 計	既存建物	合 計
	管 理 棟	油貯蔵庫			
建築面積	114.00 m ²	6.74 m ²	120.74 m ²	4.00 m ²	124.74 m ²
1階床面積	93.50 m ²	6.74 m ²	100.24 m ²	4.00 m ²	104.24 m ²
2階床面積	93.50 m ²		93.50 m ²		93.50 m ²
延べ床面積	187.00 m ²	6.74 m ²	193.74 m ²	4.00 m ²	197.74 m ²

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							建物面積・敷地面積求積図	縮尺 5:1(200:400) 5:1(100:400) 5:1(200:400)
								A新築—07

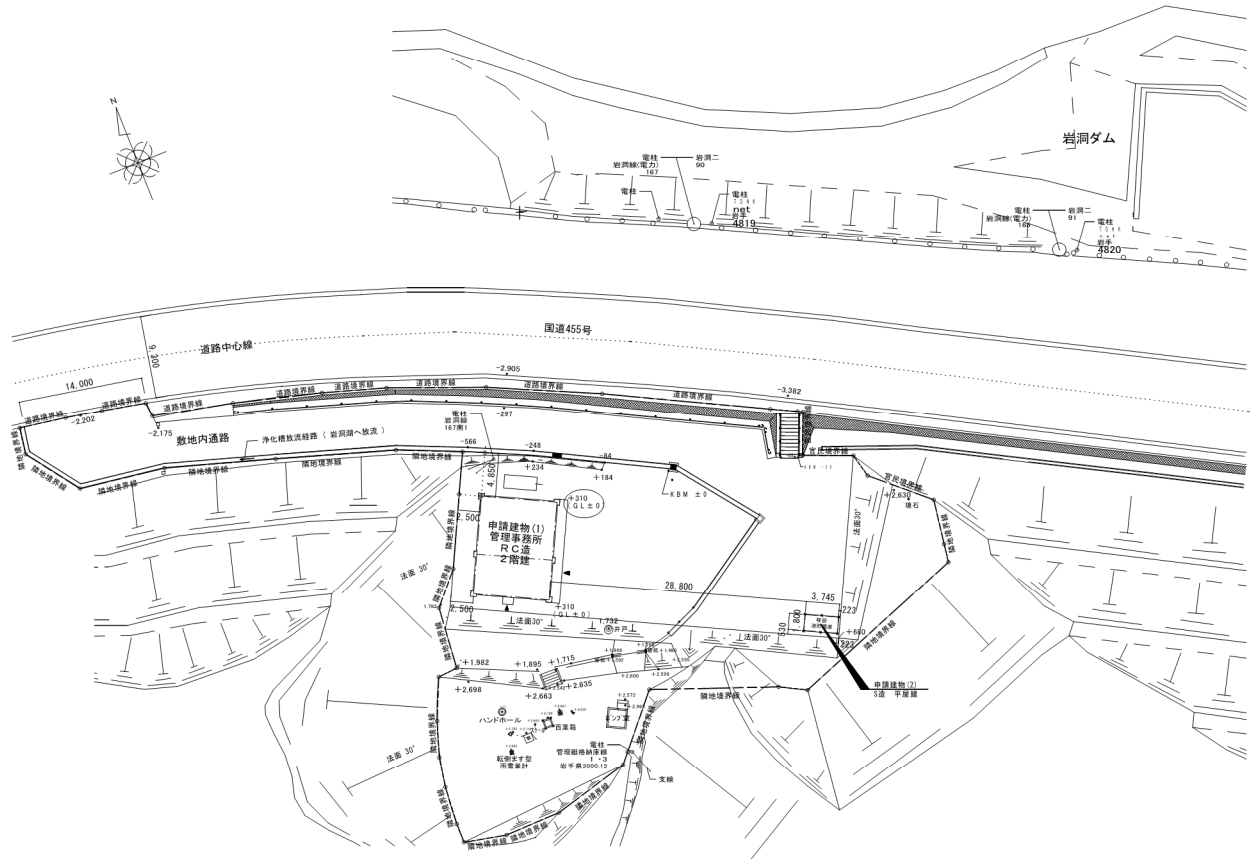
外部仕上表								
部 位	部 分	仕 上・仕 様		部 位	部 分	仕 上・仕 様		
屋 根	勾配屋根	ガルバリウム鋼板 t 0.4 瓦棒葺き		外 壁	置屋根	金属系サイディング t 15 張り (・出隅・見切り等部材メーカー指定品)		
		アスファルトルーフィング 940 t 0.1 下葺き				透湿防水シート下張り		
	野地板	木毛セメント板 t25 下張り				土台水切り：鋼板製 WSF-25 面取出隅 (同等品)		
	置屋根下地	鉄骨構造			躯体 R C	コンクリート打ち放しB種 透湿防水形外装薄塗材E ローラー塗り		
	破風・鼻隠し	木下地 210×24 2段 ガルバリウム鋼板包み			基礎	コンクリート打ち放し 薄塗り補修仕上		
				土 間	叩き・車庫	コンクリート刷毛引き仕上		
	軒樋	ガルバリウム鋼板製 大型角樋 平120深型 t 0.5		開口部	玄関・ボイラー室	断熱玄関ドア		
	縦樋	カラー鋼板製 丸樋 90φ			一般開口部	樹脂サッシ		
			車庫入口		オーバースライダ(バランス型)・玄関側：アルミ樹脂複合片開き戸			
軒天上		LGS 25型下地 ケイ酸カルシウム板 t 6 EP塗り		断熱材		平成28年省エネ基準 (2地域)適合		
	換気口	軒先換気部材：FV-N06F (同等品)				開口部張り・一部スラブ上	現場発泡ウレタン吹付	

内部仕上表													
階	部位		床			巾木		壁			天 井		
	室名	下 地	仕 上	1FLからの高さ	種 類	高さ	下地	仕 上	下 地	仕 上	廻 縁	天井高	備 考
1階	車 庫		コンクリート 金ゴテ仕上	1FLから - 250～ - 300				コンクリート打放仕上げ		コンクリート打放 断熱材 t 80 打込 EP塗			
	玄 関	コンクリート	モルタル下地 150角磁器質タイル貼り	- 200	同 左	150	石膏ボード t12.5下張り (GL工法)・一部コンクリート打放補修下地 ビニールクロス貼り		一部 LGS 19型	化粧石膏ボード t 9.5 張り	塩ビ製 コ型	2,700	
	階 段 下 倉 庫	同 左	コンクリート 金ゴテ仕上	- 200	同 左	150	一部 LGS 65型	同 上	同 上	同 上			
	廊 下	同 左	コンクリート 金ゴテ下地 長尺塩ビシート t 2 貼り	± 0	ビニ巾木	60	一部 LGS 65・90型	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	天井点検口
	休 憩 室	同 左	同 上	± 0	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (GL工法)・LGS下地 ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	天井点検口
	洗 面 所	同 左	同 上	± 0	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	洗面化粧台(鏡付) W = 600 洗濯機スペース ・ 天井点検口
	温 水 器 室	コンクリート	コンクリート 金ゴテ仕上	± 0	化粧金ゴテ仕上	200	LGS 65型	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) 断熱材：グラスウール t50 24kg品充填	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り 断熱材：グラスウール t50 二重 24kg品充填	同 上	2,700	エコ給湯機
	踏 込	同 左	コンクリート 金ゴテ下地 長尺塩ビシート t 2 貼り	± 0	同 左	60	LGS 65・90型	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り	同 上	2,400	手洗い器
	女 子 ト イ レ	同 左	同 上	± 0	同 左	60	LGS 65型	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) 断熱材：グラスウール t50 24kg品充填	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り 断熱材：グラスウール t50 二重 24kg品充填	同 上	2,400	洋風便器 リモコン付(ウォシュレット)・ペーパーホルダー 音姫
	男 子 ト イ レ	同 左	同 上	± 0	同 左	60	LGS 65・90型	同 上	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り	同 上	2,400	洋風便器 リモコン付(ウォシュレット)・ペーパーホルダー
2階	階 段 室	同 左	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビシート t 2 貼り		同 左	60	一部 LGS 65型	石膏ボード t12.5下張り (GL工法)・LGS下地 ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上		洋風便器 リモコン付(ウォシュレット)・ペーパーホルダー RC壁天端 集成材 t30 CL塗
				2SLからの高さ									
	ホ ー ル	コンクリート	ジグザグコンクリート(ワイヤメッシュ150×150×6敷込)金ゴテ下地 長尺塩ビシート t 2 貼り	+ 150	ビニ巾木	60	一部 LGS 65型	石膏ボード t12.5下張り (GL工法)・一部コンクリート打放補修下地 ビニールクロス貼り	一部 LGS 19型	化粧石膏ボード t 9.5 張り	塩ビ製 コ型	2,500	RC壁天端 集成材 t30 CL塗 天井点検口
	監 視 室	同 左	スチール製O Aフロア AZ3000-DP(300N)同等品下地 タイルカーペット t7 敷込	+ 150	同 左	60	一部 LGS 65・100型	石膏ボード t12.5下張り (GL工法)・LGS下地 ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	天井点検口
	廊 下	同 左	フリーフロアMPF・ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎｰﾄﾞ t20下地同等品 構造用合板 t12 捨張り 長尺塩ビシート t2 貼り	+ 150	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	メンテナンス用天井点検口 上部スチール製点検口(鍵用フック付)
	休 憩 室	同 左	フリーフロアMPF・ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎｰﾄﾞ t20下地同等品 構造用合板 t12 捨張り フロア t 12 張り	+ 150	同 左	60	一部 LGS 65型	同 上	同 上	同 上	同 上	2,500	天井点検口
	収 納	同 左	木床組下地 フロア t12 張り	+ 150	同 左	60	同 左	同 上	同 上	同 上	同 上		
	湯沸室	同 左	フリーフロアMPF・ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎｰﾄﾞ t20下地同等品 構造用合板 t12 捨張り 長尺塩ビシート t2 貼り	+ 150	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り 流し前 不燃化粧板 t 3 貼り	同 上	同 上	同 上	2,500	システムキッチン L = 2,400 (1H) 吊戸棚 レンジフード(シロッコ式) 天井点検口
	ト イ レ	同 左	同 上	+ 150	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り (一部 GL工法) ビニールクロス貼り 断熱材：グラスウール t50 24kg品充填	同 上	化粧石膏ボード t 9.5 張り 断熱材：グラスウール t50 二重 24kg品充填	同 上	2,400	洋風便器 リモコン付(ウォシュレット)・ペーパーホルダー
	洗 面 脱 衣 室	同 左	同 上	+ 150	同 左	60	同 左	石膏ボード t12.5下張り ビニールクロス貼り 断熱材：グラスウール t50 24kg品充填(浴室側)	同 上	同 上	同 上	2,400	洗面化粧台(鏡付)
防火認定	浴 室	同 左	ユニットバス	――	――	――	――	断熱材：グラスウール t50 24kg品充填	――	断熱材：グラスウール t50 二重 24kg品充填	――	2,000	
		化粧石膏ボード t9.5 (不燃 NM-1864) 石膏ボード t12.5 (不燃 NM-8619) ビニルクロス (不燃 (NM)又は準不燃 (QM)認定品) 不燃化粧板 (不燃 NM-2183)			建築材料 環境配慮		・床・壁・天井・家具等における仕上げ、下地等はF☆☆☆☆認定品を使用すること。(対象外物品を除く) 断熱材：フェノールフォーム打込材・グラスウール F ☆☆☆☆認定品を使用すること ・室内使用材料配慮：使用材料はノンアスベスト仕様の材料を使用すること			法37条適合			

訂正	月 日			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事		設計番号 —
	・				製図	担当	受領年月日 ・ ・	図面名称 仕上表	縮尺	図面番号 A新築—08



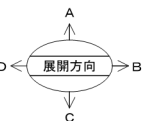
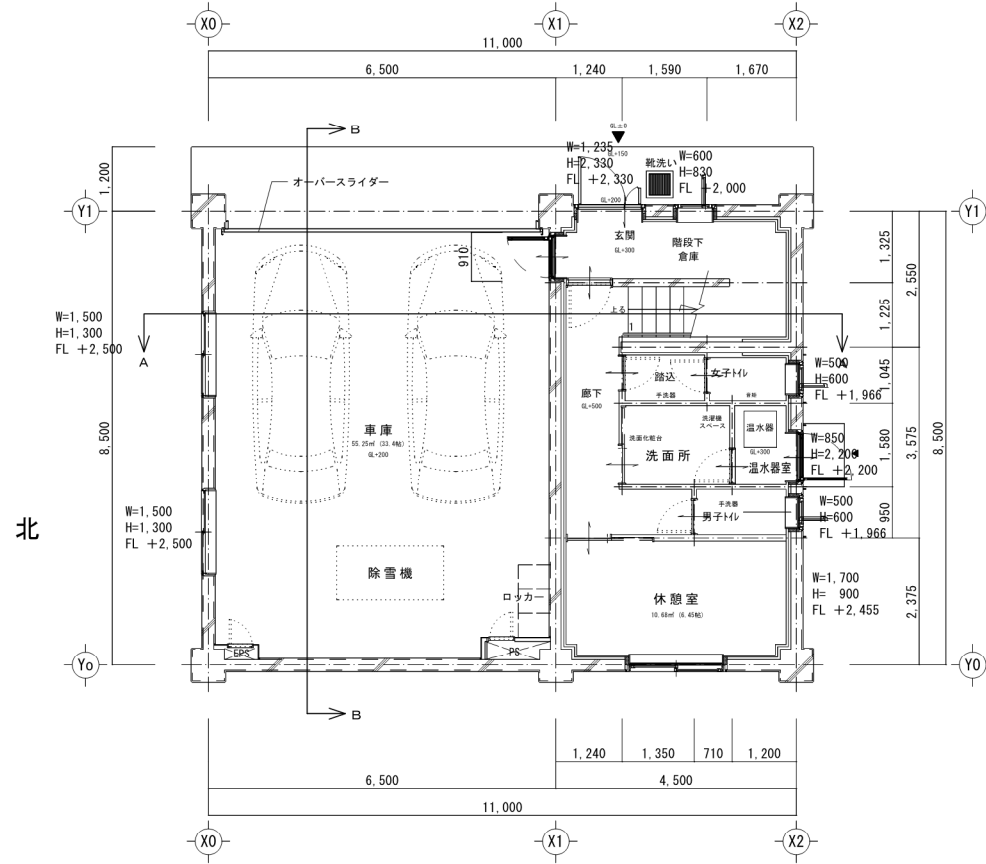
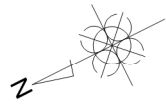
既存建物配置図 S=1/300



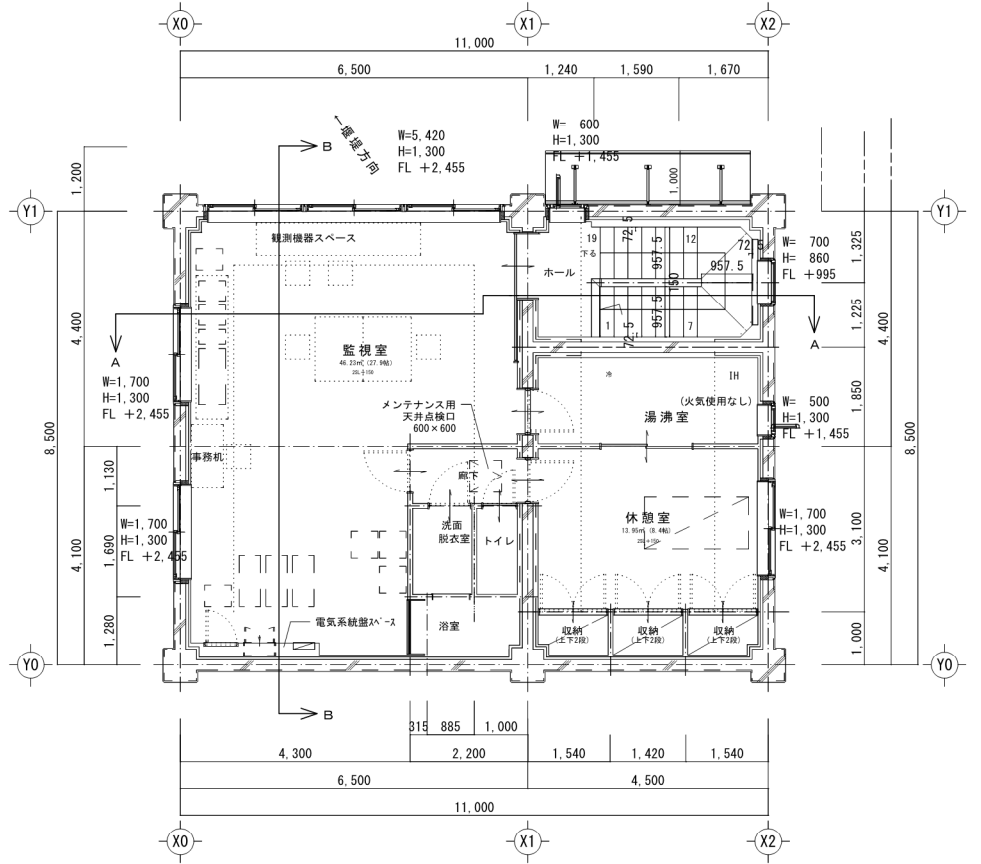
配置図 S=1/300

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	図面番号
								案内図・配置図	S=1/300 (A1) S=1/600 (A3)
									A新築—09

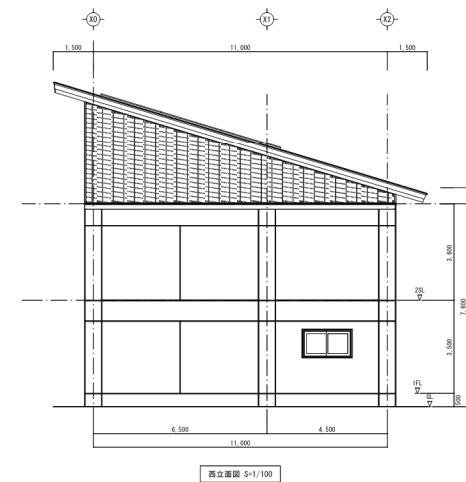
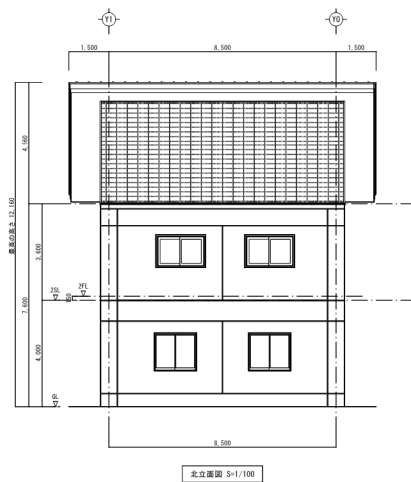
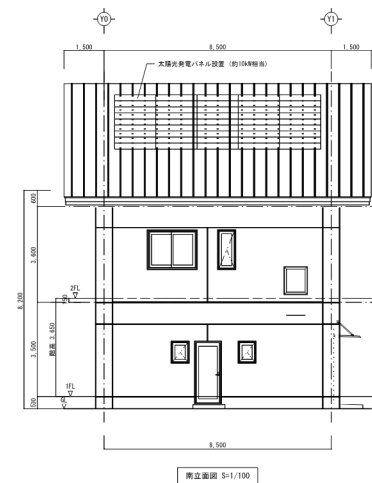
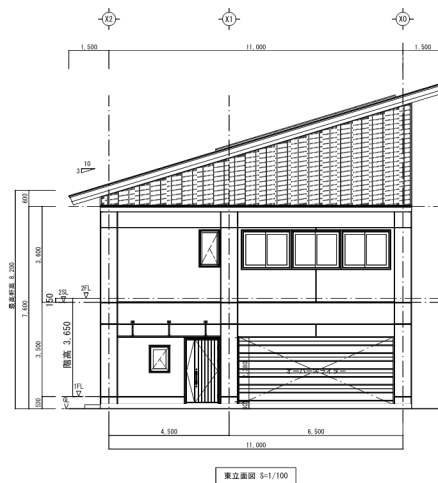
東



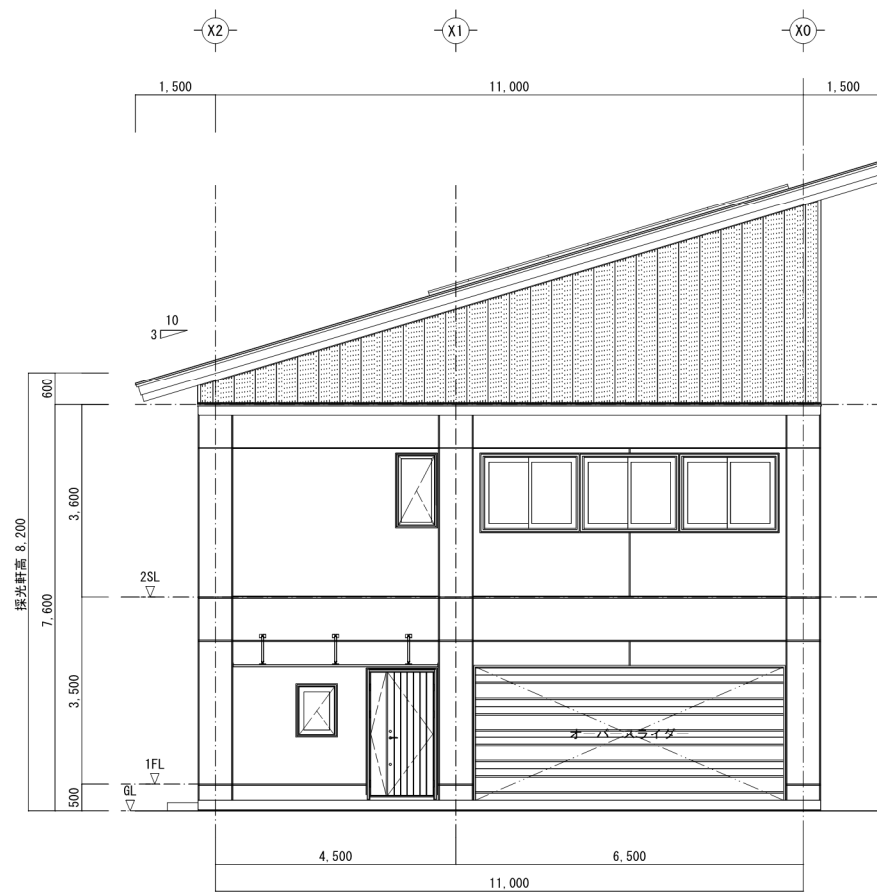
西



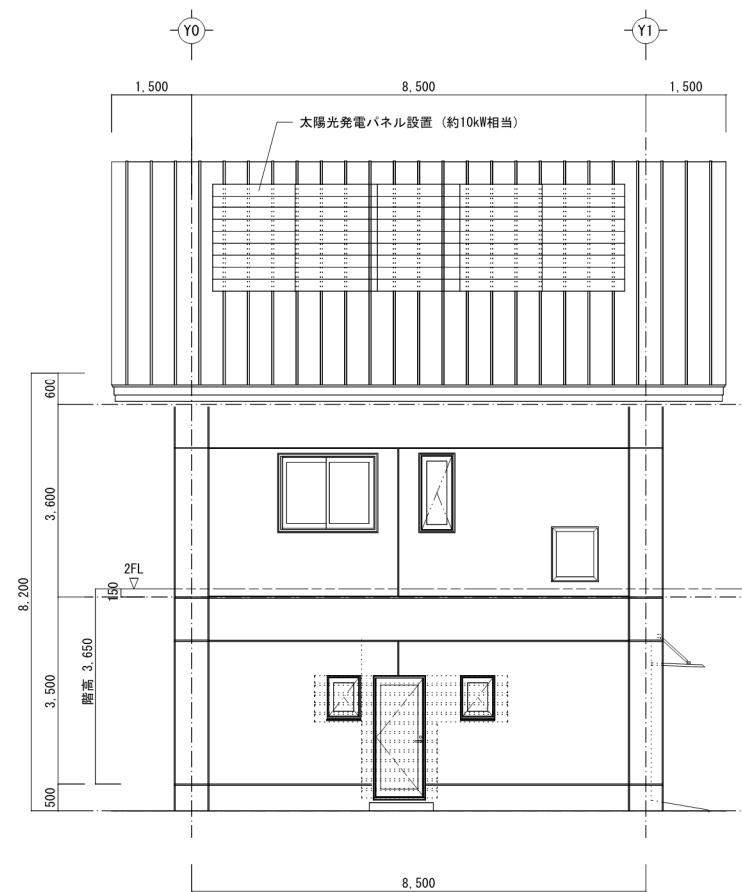
訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	図面番号
								1階平面図・2階平面図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
									A新築—10



訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事 立面図	
								縮尺 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)	図面番号 A新築—11

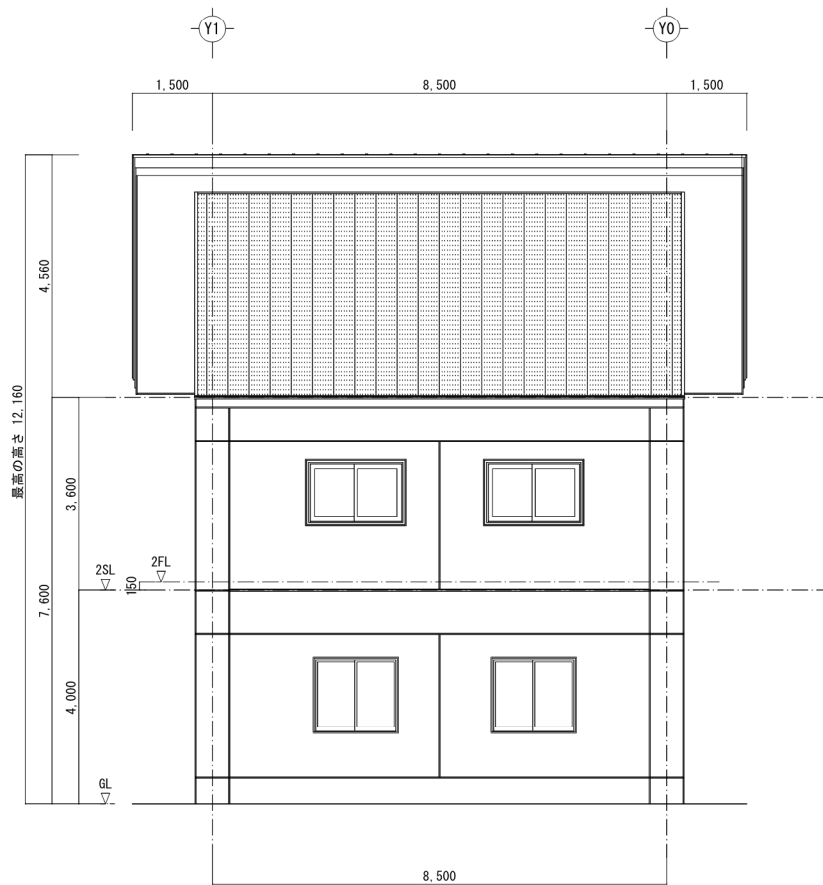


東立面図 S=1/50

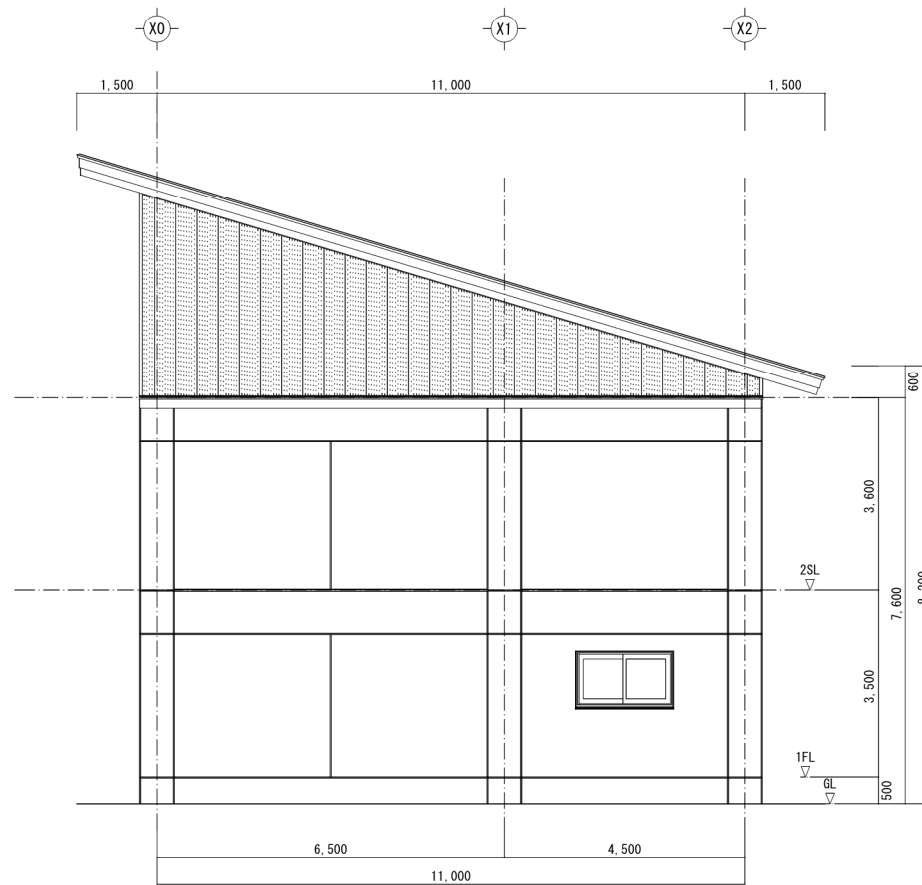


南立面図 S=1/50

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.			製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							図面名称	図面番号
							東立面図・南立面図	A新築—12
							縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	

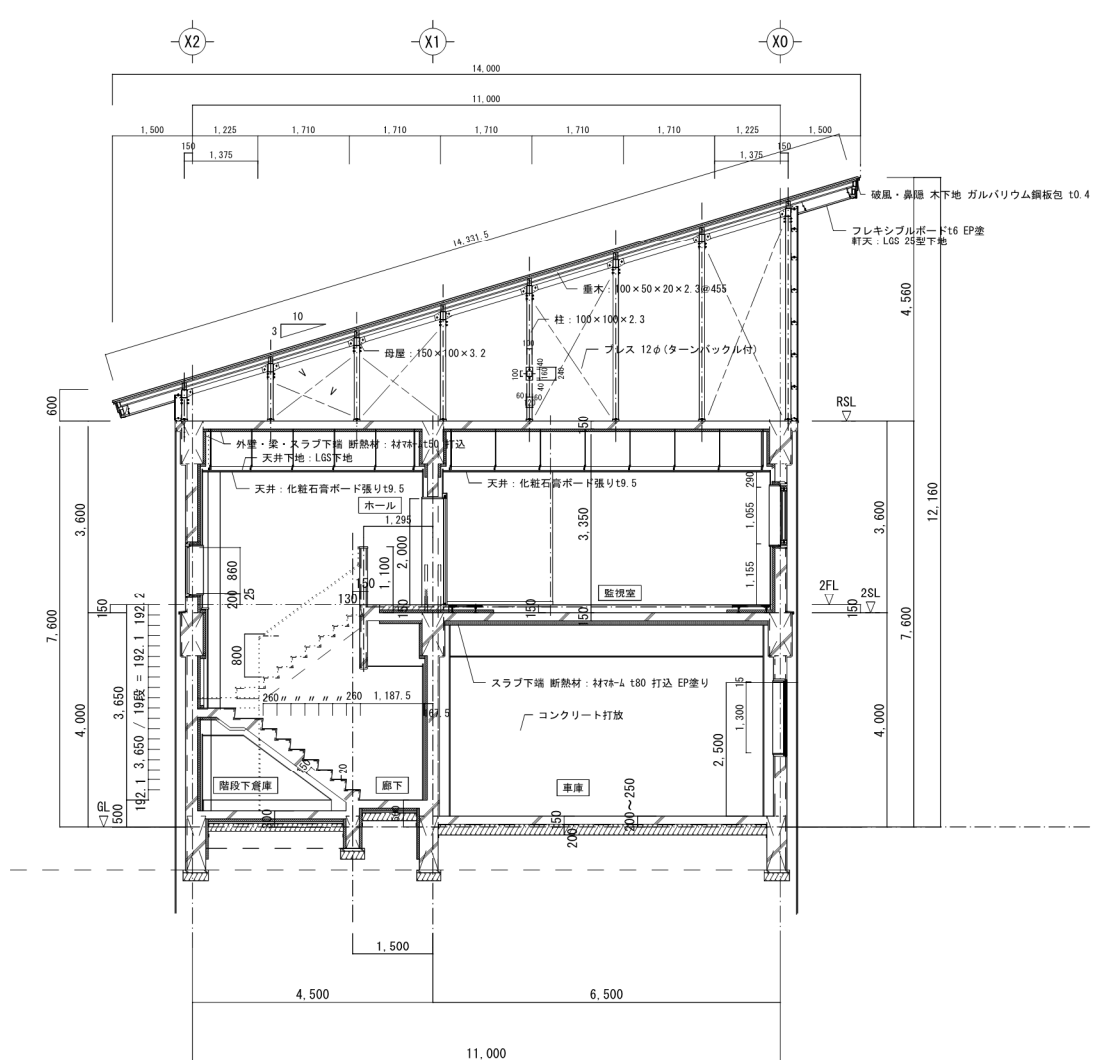


北立面図 S=1/50

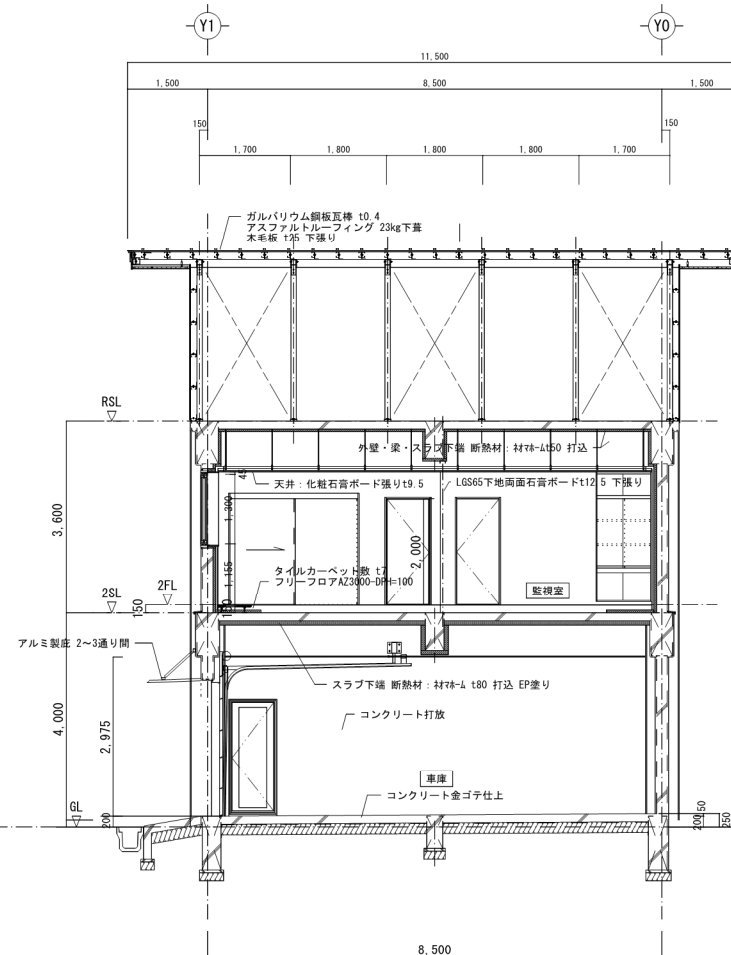


西立面図 S=1/50

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.			製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							図面名称	図面番号
							北立面図・西立面図	A新築—13



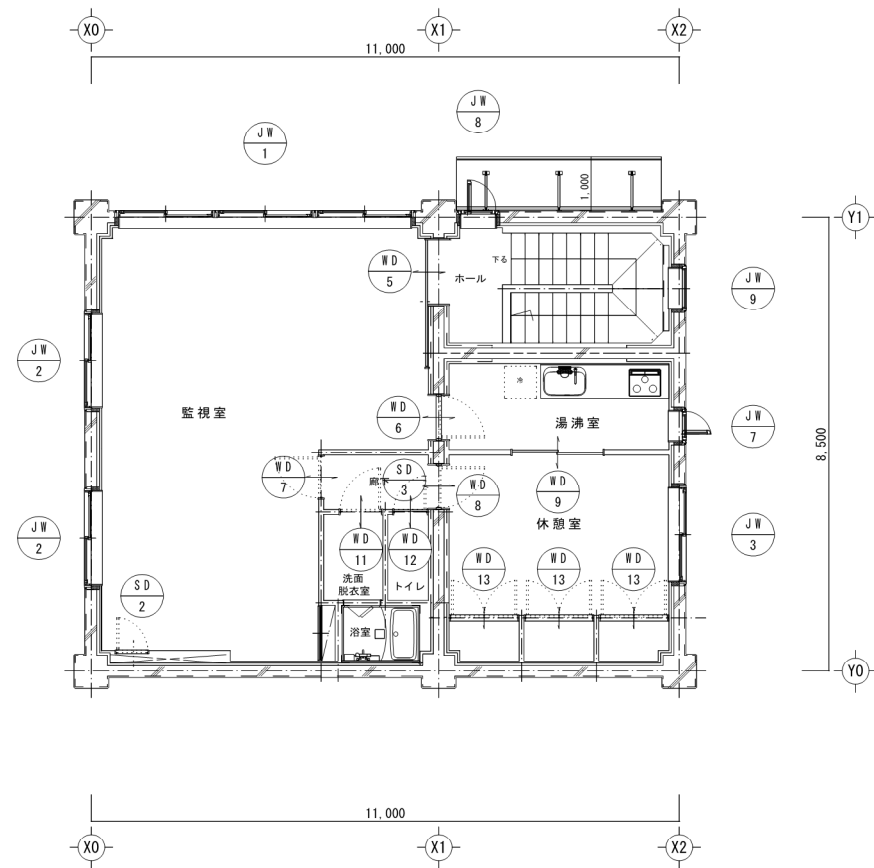
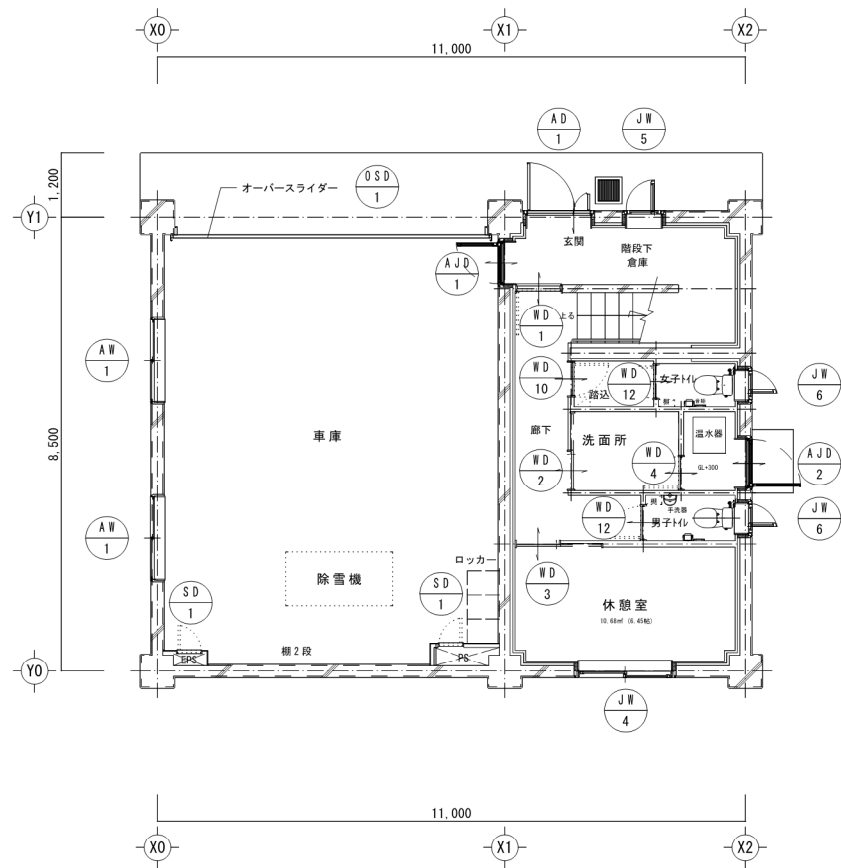
A～A 断面図 S=1/50



B～B 断面図 S=1/50

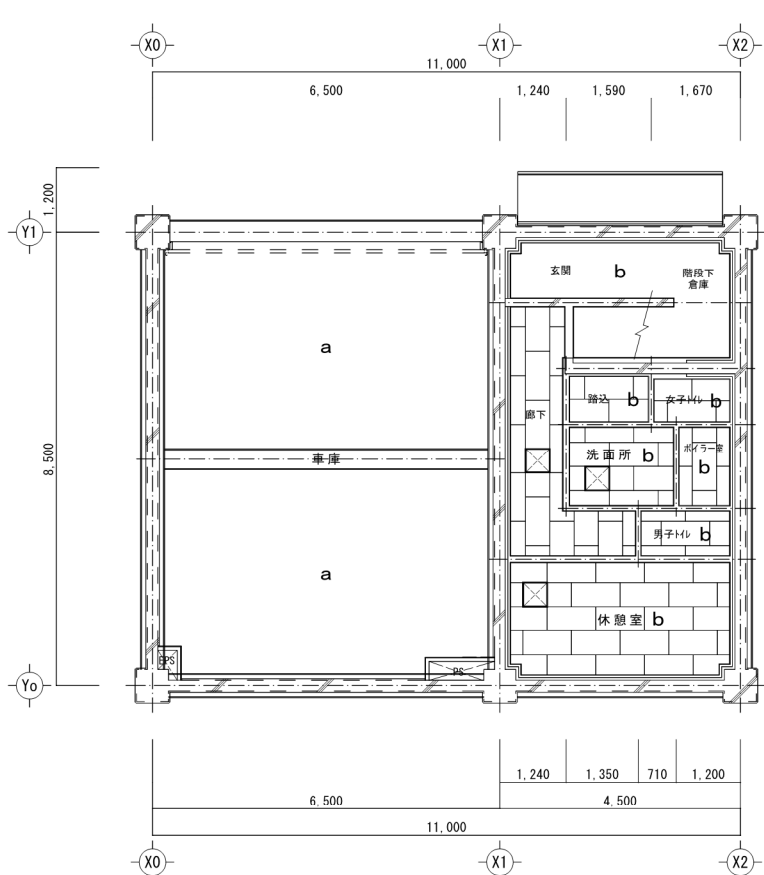
訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	A～A断面図・B～B断面図	A新築—14

縮尺
S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

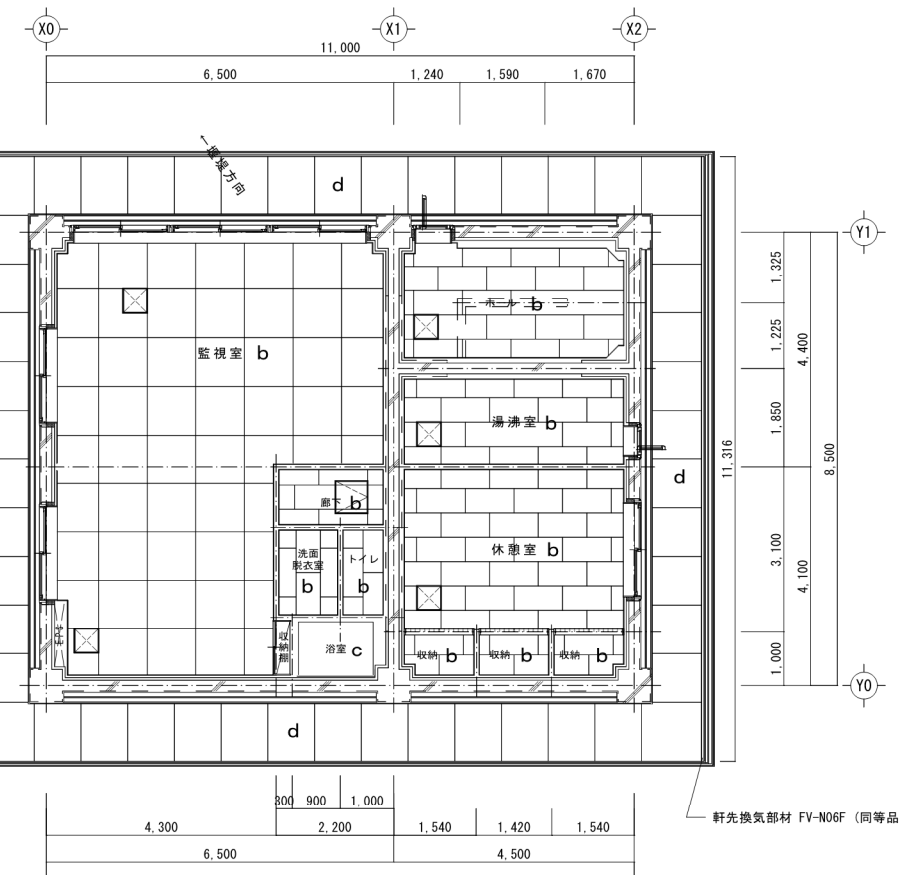


訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	図面番号
								1階・2階建具 キープラン	A新築—15
								縮尺	
								S=1/50 (A1)	
								S=1/100 (A3)	

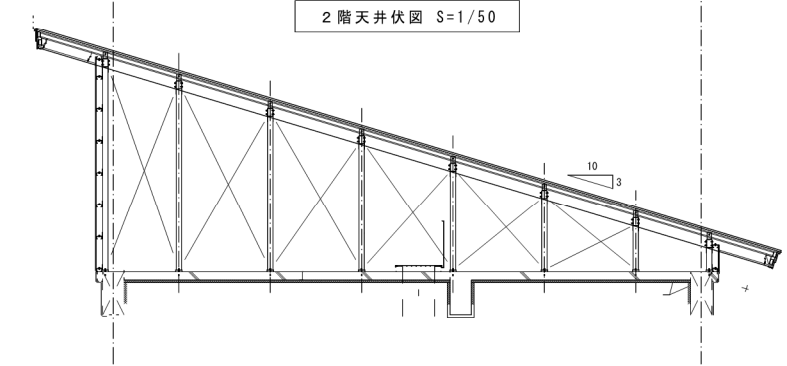
符号・数量	A D-1 1台		A J D-1 1台		A J D-2 1台		J W-1 1台		J W-2 2台		J W-3 1台		J W-4 1台		J W-5 1台		J W-6 2台		J W-7 1台		J W-8 1台														
室名・防火仕様	玄関	非防火	玄関	非防火	温水器室	非防火	監視室		非防火		2階休憩室		非防火		1階休憩室		非防火		階段下倉庫	非防火	1階男女トイレ	非防火	湯沸室	非防火	2階ホール	非防火									
姿 図																																			
	1,235		720		850		1,700 160 1,700 160 1,700 5,420 1,155		1,700 1,155		1,700 1,155		1,700 1,555		600 1,170		500 1,316		500 1,155		600 1,155														
型 式	断熱玄関ドア (親子開戸) D30 ヴェアテートD30 G10N (同等品)		ビル用ウインド 片開き戸 EXIMA 55 (同等品)		同 左		ビル用ウインド・ドア 引違窓 EXIMA 77 (同等品)		同 左		同 左		同 左		ビル用ウインド・ドア 縦引出窓 EXIMA 37 (同等品)		同 左		同 左		同 左		同 左												
材 種			アルミ樹脂複合サッシ		同 左		樹脂サッシ		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左												
仕 上 げ			カラー		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左												
ガラス			Low-E 防犯合わせ複層ガラス H-5 6+A12+5		断熱パネル		Low-E 複層ガラス アルゴンガス入り H-5 4+A12+6		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左												
金 物	外シリンダー内サムターン錠 (733-) ストレートハンドル・ドアクロージャー ステンレス下枠 付属金物一式		同 左		同 左		ロック付きクレセント・一般引手 縦線用アングル・結露受 連結部分 室内側アルミカバー蓋ぎ 網戸・付属金物一式		同 左		同 左		同 左		同 左		グレンハンドル セーフティストッパー 縦線用アングル・結露受 排水弁・付属金物一式 横引き網戸		同 左		同 左		同 左												
備 考	D2仕様		つらいち枠・S-5・A-4・W-5・T-2				つらいち枠・S-5・A-4・W-5・T-2		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左												
符号・数量	J W-9 1台		A W-1 2台		O S D 1台		S D-1 2台		S D-2 1台		S D-3 1台		W D-1 1台		W D-2 1台		W D-3 1台		W D-4 1台		W D-5 1台														
室名・防火仕様	階段室	非防火	車庫		車庫		車庫		監視室		2階廊下小屋裏		廊下		洗面所		1階休憩室		温水器室		監視室														
姿 図																																			
	700		1,500		5,760		450 (FS) 1,800 L1・R1 (FS) 2,700		600 1,600		600 870		800		720 720		800 795		650		1,200 1,195														
型 式	ビル用ウインド・ドア FIX窓 EXIMA 37 (同等品)		アルミ 引違サッシ EXIMA 31 (同等品)		オーバースライダー バランス(手動)式								木製片開き戸		木製片引き戸		木製片引き戸		木製片開き戸		木製片引き戸 吊り建具半自動														
材 種	同 左		アルミ		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製								建具内断熱材挿入 t30		同 左														
仕 上 げ	同 左		カラー		カラー		OP		OP		錆止め		両面ポリ合板貼り		同 左		同 左		同 左		同 左														
ガラス	Low-E 複層ガラス アルゴンガス入り H-5 4+A12+6		単板ガラス FW 6.8										FL 3		F 4		同 左																		
金 物	縦線用アングル・結露受 排水弁・付属金物一式		ロック付きクレセント・一般引手 室内側 アルミ縦線 網戸 付属金物一式		ウォーターキー 付属金物一式		蝶番・鍵付平面ハンドル		蝶番・鍵付平面ハンドル		蝶番・底錠用フック 閉止めチェーン		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 (733-) 蝶番・DC・戸当り 付属金物一式		引手 アルミ製ガラリ SUS製一本引きレール 付属金物一式		同 左		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 蝶番・DC・気密パッキン 戸当り・付属金物一式		大型引手・ハンガーレール・下ガイド 上ローラー・クローザー付 シリンダー・サムターン錠 (733-) SUS錠付・付属金物一式														
備 考	つらいち枠・S-5・A-4・W-5・T-2		同 左																																
符号・数量	W D-6 1台		W D-7 1台		W D-8 1台		W D-9 1台		W D-10 1台		W D-11 1台		W D-12 3台		W D-13 3台																				
室名・防火仕様	湯沸室		2階廊下		2階休憩室		2階休憩室		踏込		洗面脱衣室		男女トイレ		2階休憩室																				
姿 図																																			
	800		800		800		1,700		624		775		624		1,262.5																				
型 式	木製片開き戸		木製片開き戸		木製片開き戸		木製引違い戸		木製片開き戸		木製片開き戸		木製片開き戸		木製両開き戸																				
材 種																																			
仕 上 げ	両面ポリ合板貼り		両面ポリ合板貼り		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左		同 左																				
ガラス	FL 3		FL 3								F 4																								
金 物	レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 蝶番・DC・戸当り SUS錠付・付属金物一式		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 (733-) SUS錠付・付属金物一式		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 (733-) 蝶番・DC SUS錠付・付属金物一式		引手 SUS製引違いレール 蝶番 (733-) 付属金物一式		レバーハンドル シリンダー・サムターン錠 (733-) SUS錠付・付属金物一式		レバーハンドル 蝶番・DC・戸当り SUS錠付・付属金物一式		レバーハンドル 蝶番・DC・戸当り SUS錠付・付属金物一式		蝶番・引手 フランス落し 蝶付 付属金物一式																				
備 考																																			
訂正	月	日											設計年月日					工事名称	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事				設計番号	—											
													製図		担当		受領年月日	図面名称	建具欄				縮尺	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)		図面番号	A新築—16								



1階天井伏図 S=1/50

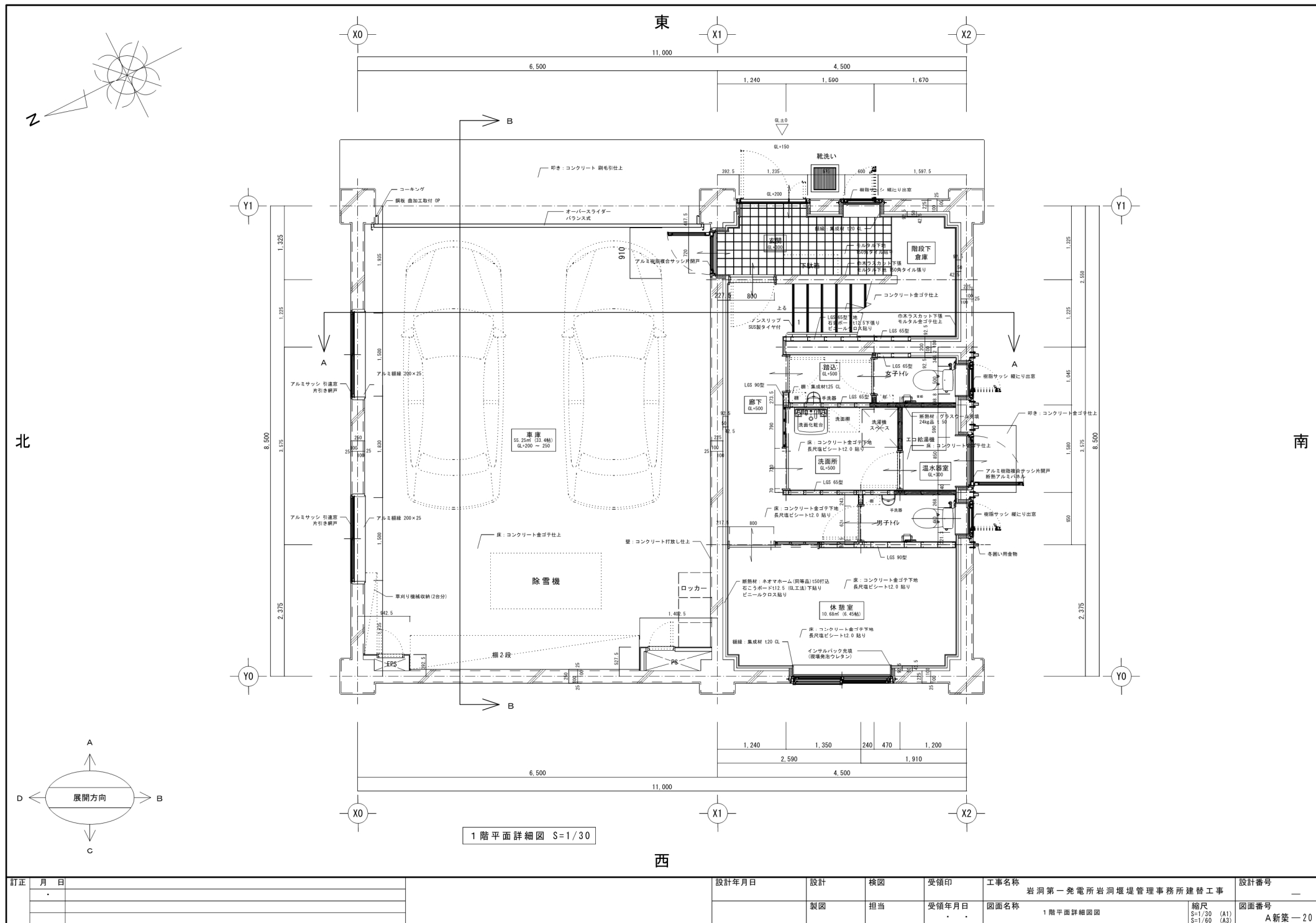


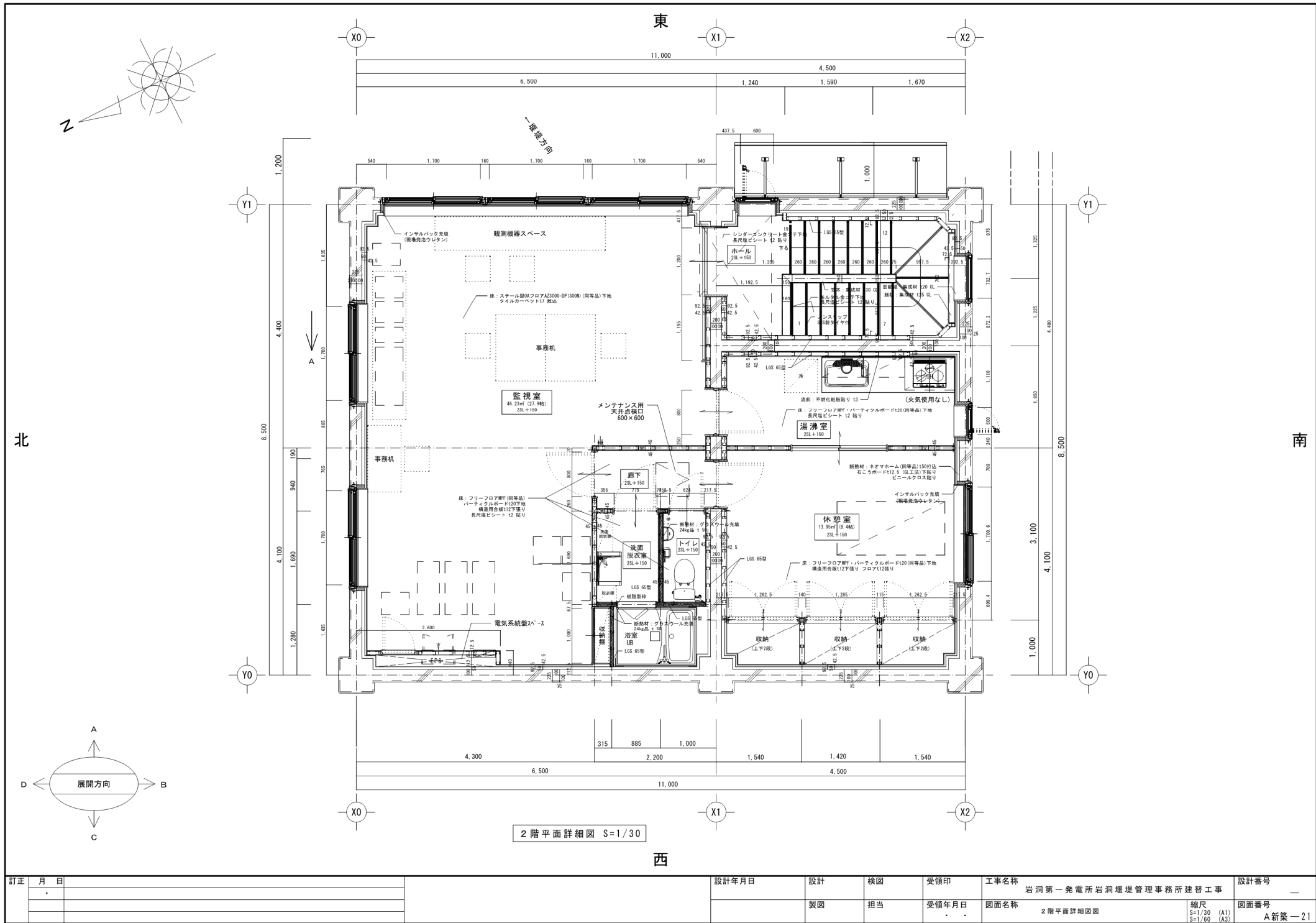
2階天井伏図 S=1/50



記号	天井仕上
a	断熱材：ネオマフォーム t80(同等品) 打込 EP塗り
b	化粧石膏ボード t 9.5 張り
c	ユニットバス 天井 FRP
d	ケイ酸カルシウム板 t 6 張り EP塗り

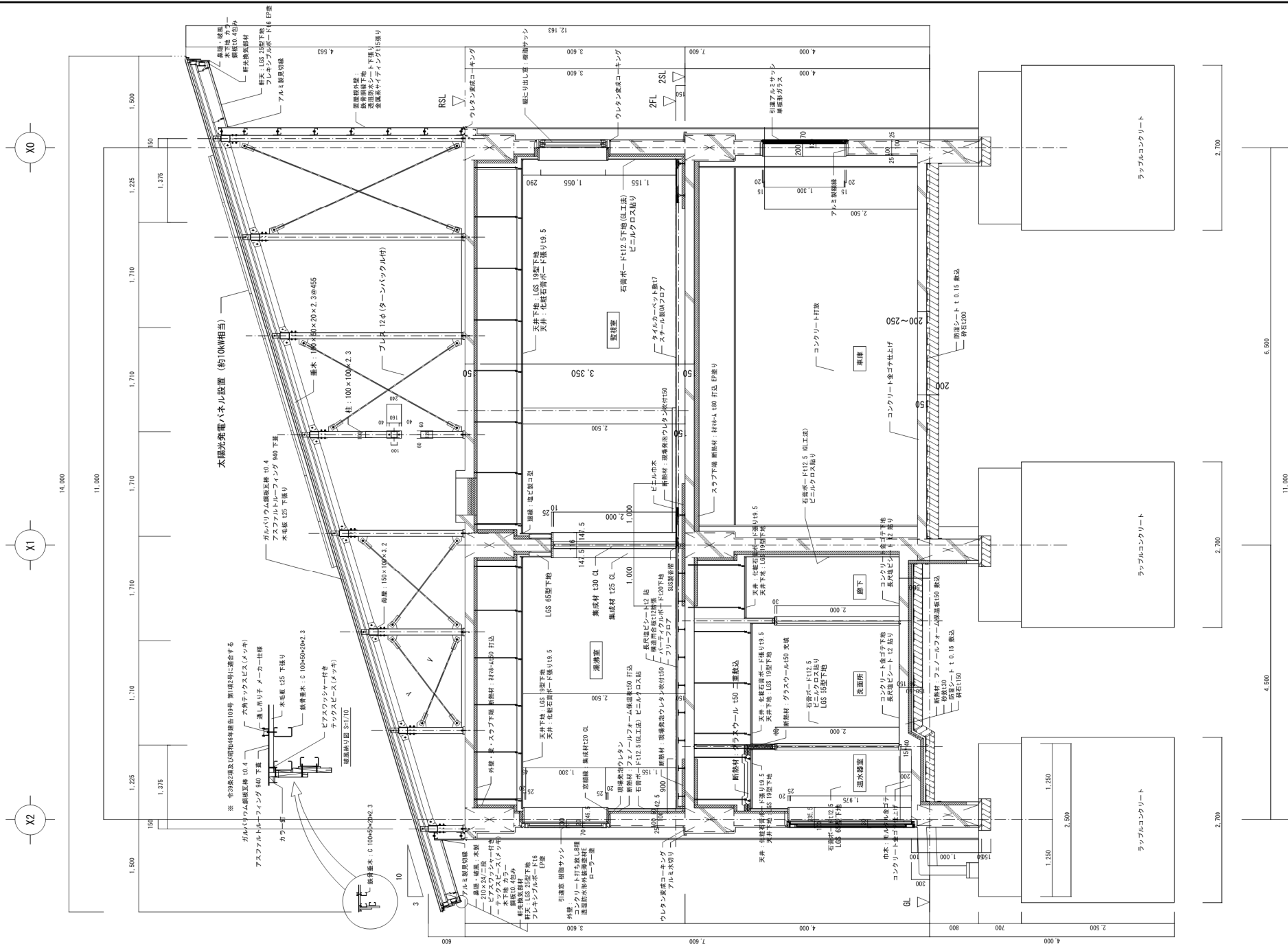
訂正	月 日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
			製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						1階・2階天井伏図	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)



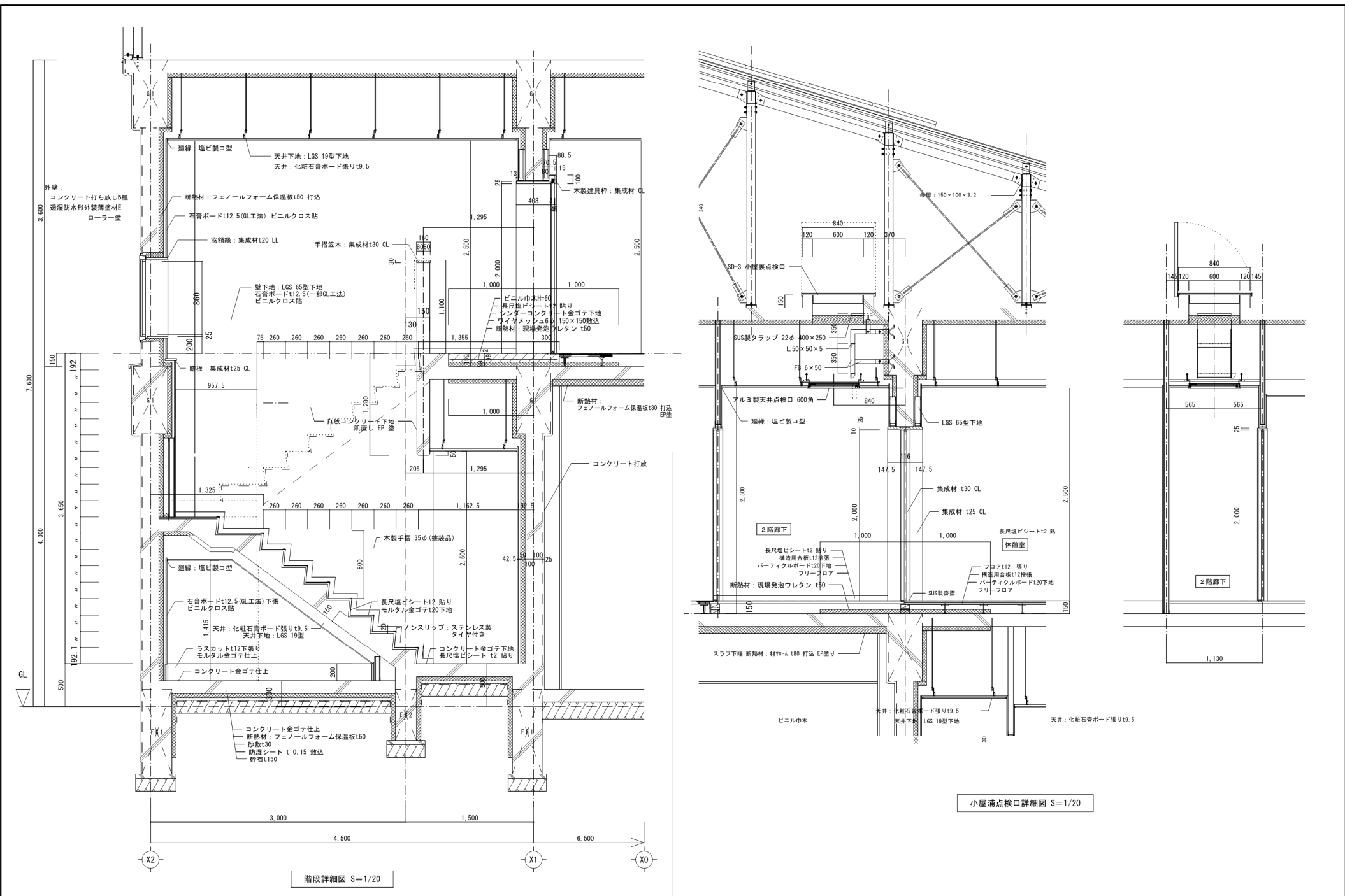


訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
					製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	
								図面名称	図面番号
								2階平面詳細図	A新築—21
								縮尺	
								S=1/30 (A1)	
								S=1/60 (A3)	

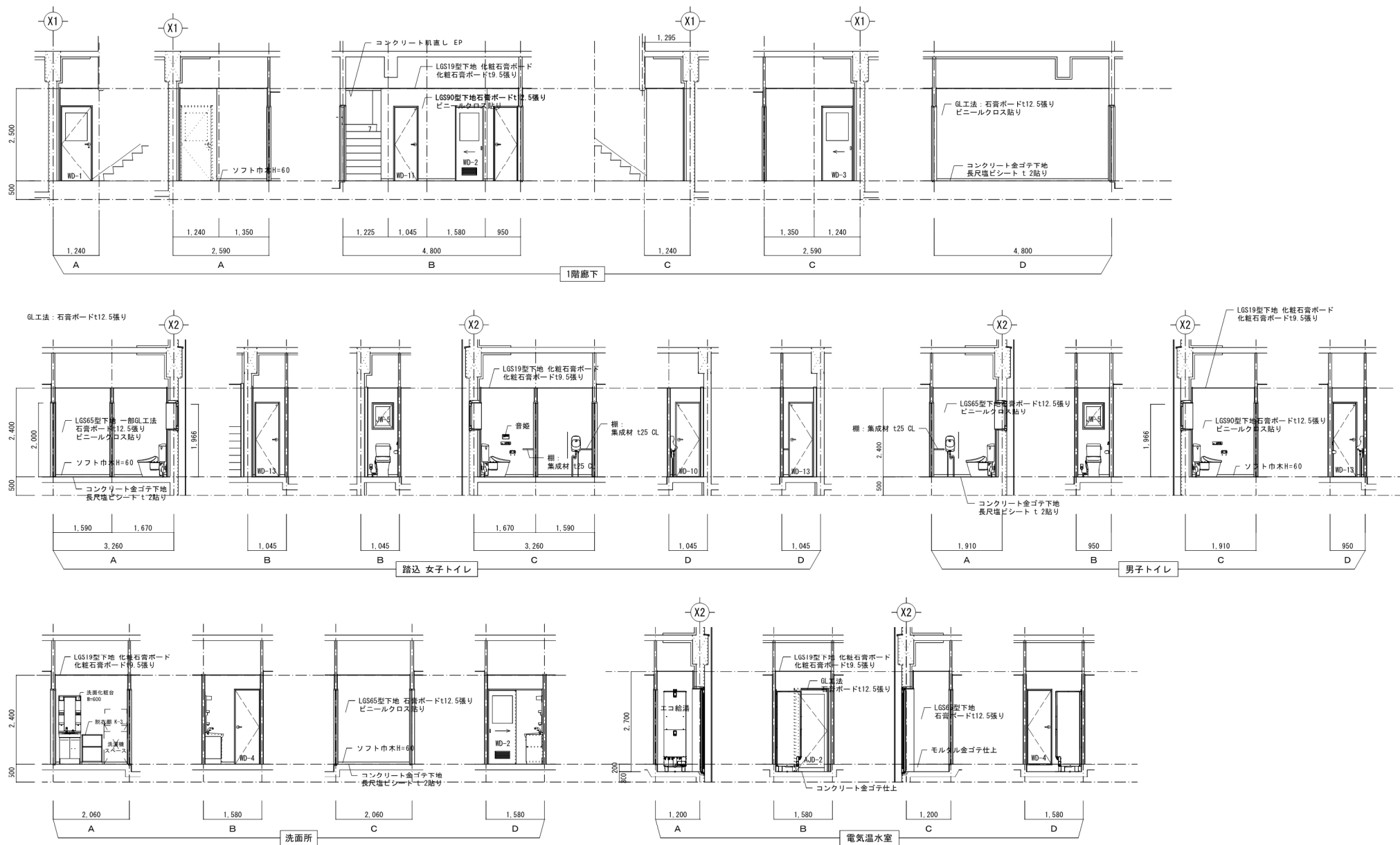
訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号	
								岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—	
					製図	担当	受領年月日	図面名称	縮尺	図面番号
								矩計図	S=1/30 (A1) S=1/60 (A3)	A新策—22



矩計圖 S=1/30



訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							図面名称	図面番号
							階段詳細図・小屋浦点検口詳細図	S=1/20 (A1) S=1/40 (A3)
								A新築—23



訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
								岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
								1階廊下・踏込・1階女子トイレ・1階男子トイレ・電気温水室	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
									A新築—25

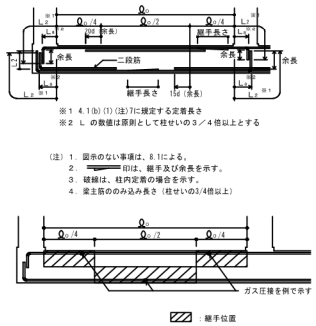
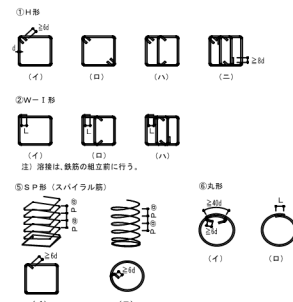
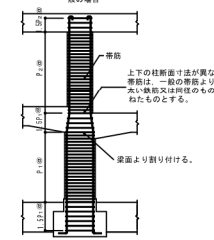
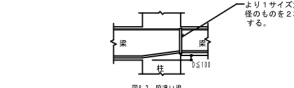
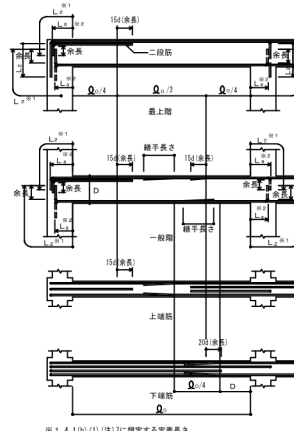
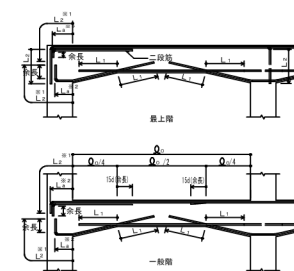
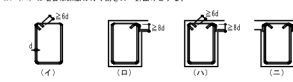
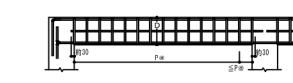
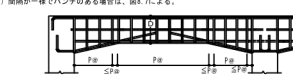
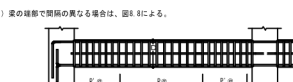
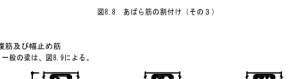
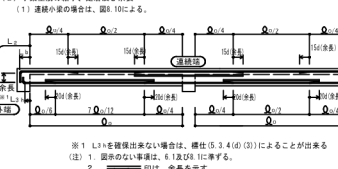
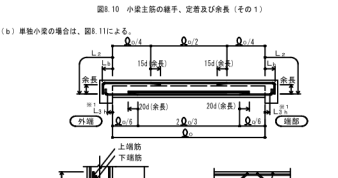
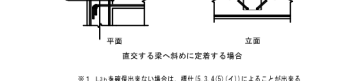
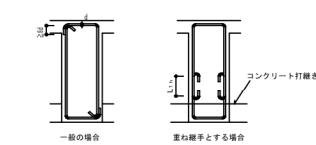
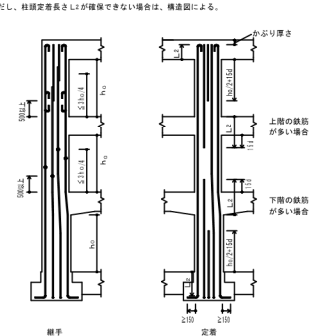
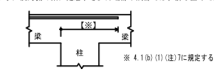
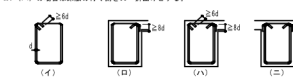
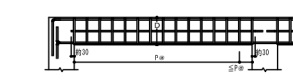
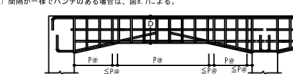
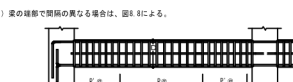
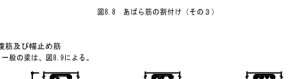
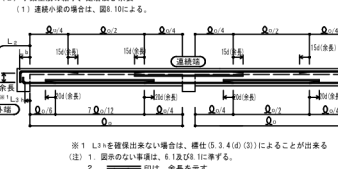
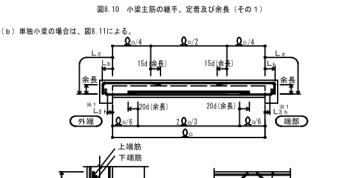
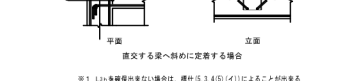


訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	展開図
								2階湯沸室・2階廊下・2階トイレ・2階洗面脱衣室・2階浴室	縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
								図面番号	A新築—27

$$A = (d/h) \times \alpha - \beta$$

室名	室面積	1 階 休 憩 室	10.68 m ²	監 視 室	46.23 m ²	湯 沸 室	8.37 m ²	2 階 休 憩 室	13.95 m ²	1 階 廊 下 階 段 室	17.64 m ²
開口符号	JW-4	JW-1	JW-2	JW-7	JW-3	JW-8					
開口幅	(1.700/2-30)-60=760	(1.700/2-30)-60=760	(1.700/2-30)-60=760	(500-167.2)=332.8	(1.700/2-30)-60=760	(600-167.2)=432.8					
装 図											
	採光補正係数 (1.000 / 6.789 × 10 - 1) = 0.47	採光補正係数 3	採光補正係数 3								
採光	必要面積 10.68 / 10 = 1.068 有効面積 0.740 × 0.740 × 2枚 × 1 = 1.0952	判定 OK (0.74 × 1.14 × 6枚 × 3 = 15.1848) + (0.740 × 0.895 × 4枚 × 3 = 7.9476) 合計 = 23.1324	判定 OK	8.37 / 7 = 1.1957 0.380 × 1.180 × 1枚 × 3 = 1.3452	判定 OK	13.95 / 7 = 1.992 0.740 × 1.140 × 2枚 × 3 = 5.0616	判定 OK				
排煙	必要面積 10.68 / 50 = 0.2136 有効面積 0.760 × 0.600 × 1台 = 0.456	判定 OK 46.23 / 50 = 0.924 0.760 × 0.755 × 3台 = 1.7214 + (0.76 × 0.51 × 2台 = 0.7752) 合計 = 2.4966	判定 OK	8.37 / 50 = 0.1674 (0.097 + 0.332) × 0.755 × 1台 = 0.328895	判定 OK	13.95 / 50 = 0.279 0.500 × 0.755 × 1台 = 0.3775	判定 OK				
換気	必要面積 10.68 / 20 = 0.534 有効面積 0.760 × 0.900 × 1台 = 0.684	判定 OK 46.23 / 20 = 2.311 (0.760 × 1.300 × 3台 = 2.964) + (0.76 × 1.055 × 2台 = 1.6036) 合計 = 4.5676	判定 OK	8.37 / 20 = 0.4185 0.332 × 1.300 × 1台 = 0.4316	判定 OK	13.95 / 20 = 0.6975 0.760 × 1.300 × 1台 = 0.988	判定 OK				
室名	室面積	庫 庫	55.25 m ²								
開口符号	AW-1	050-1									
開口幅	(1.500/2)-48.5=701.5										
装 図											
採光	必要面積 55.25 / 50 = 1.105 有効面積 0.701 × 0.400 × 2台 = 0.5608 + (5.76 × 0.400 × 1台 = 2.304) 合計 = 2.8648										
排煙	必要面積 55.25 / 20 = 2.7625 有効面積 0.701 × 1.300 × 2台 = 1.8226 + (5.76 × 2.500 × 1台 = 14.4) 合計 = 16.2226										
換気	必要面積 93.5 × 10000 × 1 / 166 = 584.375 cm ² 有効面積 11.316 × 150.5 cm ² = 1703.058 cm ²	判定 OK									
小屋裏計算換気	2階天井面積 93.5 m ²	換気部材の換気面積 150.5 cm ²									
訂正	月 日										
設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号						
	製図	担当	受領年月日	図面名称	縮尺	図面番号					
				岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	縮尺 S-1/100 (A1) S-1/100 (A2) S-1/100 (A3) S-1/100 (A4) S-1/100 (A5) S-1/100 (A6)	図面番号					
				採光・排煙・換気計算							

[illegible]

(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の配手、定着及び余長は、図6.4による。  図6.4 主筋の配手、定着及び余長 (その3)	(a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。 (b) 帯筋組立の形は図7.2により、適用は構造図による。 (1) H形の1/2 面付のフックが両端な場合は、W-1形とする。 (2) 斜接する場合の帯筋の長さとしては、両面フレンジの場合の長さより、片面フレンジの場合は1.0倍以上とする。 (3) S P形において、柱間及び柱部の間隔は、1.5倍以上の高さを要する。  図7.2 帯筋組立の形 (c) フック及び配手の位置は交互とする。 (d) 帯筋の割付けは図7.3とし、それ以外の場合は構造図による。 一般の場合  図7.3 帯筋の割付け (注) 1. 図示のない事項については、一般の場合に同じ。 2. 柱に割り付く梁に定着がある場合、帯筋の間隔を1.5P ※または1.5P ※とする断面は、その柱に割り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、P ※、P ※は、特記された帯筋の間隔を示す。	(6) 段違いの図は、図8.2による。  図8.2 段違いの図 (a) ハンチのない場合の重ね配手、定着及び余長は、図8.3による。  図8.3 大梁の重ね配手、定着及び余長 (注) 1. 図示のない事項については、一般の場合に同じ。 2. 柱に割り付く梁に定着がある場合、帯筋の間隔を1.5P ※または1.5P ※とする断面は、その柱に割り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、P ※、P ※は、特記された帯筋の間隔を示す。 (d) ハンチのある場合の重ね配手、定着及び余長は、図8.4による。  図8.4 ハンチのある大梁の重ね配手、定着及び余長	(a) あばら筋、腹筋及び幅止めの一般事項 (1) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。 (2) 腹筋に配手する場合は配手長さは、100mm程度とし、定着長さは図8.10による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の配手長さは、定着長さは構造図による。 (3) 幅止め筋及び受け用幅止めの筋は、100・1000程度とする。 (b) あばら筋組立の形及びフックの位置 (1) 標準形は、図8.5 (イ) とする。 ただし、L形の場合は、(ロ) または (ハ)、T形の場合は (ロ) ～ (ニ) とすることができる。 (2) フックの位置 1. (イ) の場合は交互とする。 2. (ロ) の場合、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。 3. (ハ) の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。  図8.5 あばら筋組立の形 (c) あばら筋の割付け (1) 間隔が一律でハンチのない場合は、図8.6による。  図8.6 あばら筋の割付け (その1) (2) 間隔が一律でハンチのある場合は、図8.7による。  図8.7 あばら筋の割付け (その2) (3) 梁の断面で間隔の異なる場合は、図8.8による。  図8.8 あばら筋の割付け (その3) (d) 腹筋及び幅止めの筋 (1) 一般の図は、図8.9による。  図8.9 腹筋および幅止めの筋	(a) 小梁主筋の配手、定着及び余長 (1) 連続小梁の場合は、図8.10による。  図8.10 小梁主筋の配手、定着及び余長 (その1) (b) 単跨小梁の場合は、図8.11による。  図8.11 小梁主筋の配手、定着及び余長 (その2) (c) あばら筋は、図8.12による。  図8.12 片持梁主筋の定着及び余長	
6.2 基礎梁のあばら筋等 (a) 一般事項 (1) あばら筋の配手および間隔は、構造図による。 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、図8.2による。 ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せい1.5m以上の場合は、図8.5によることができる。  図8.5 あばら筋組立の形及びフックの位置 (b) 腹筋及び幅止めの筋は、図8.2による。ただし、梁せい1.5m以上の場合は構造図による。 (c) あばら筋の割付けは、図8.2(a)による。	7.1 柱 (a) 一般事項 (1) 配手中心位置は、梁上端から500mm以上、かつ、3h/4 (hは柱の内径長さ) 以下とする。 (2) 配手、定着及び余長は、図7.1による。 ただし、柱間定着長さ1/2が確保できない場合は、構造図による。  図7.1 柱主筋の配手、定着及び余長 (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね配手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックを付ける。 2. 接り合う主筋の位置は、表4.2 [接り合う主筋の位置] による。 3. 配手及び定着は、すべての筋に適用できる。 図7.1 柱主筋の配手、定着及び余長	8.1 大梁 (a) 一般事項 (1) 梁の上り下り筋は、FLを基準とした法線とする。 (2) 地中梁下の砂利地層厚及び捨てコンクリート地層厚は構造図による。 (3) 折返し部分にスラブ、壁、梁等が付く場合は、スラブ、壁、梁等の定着長さには、折返し部分を含まない。 (b) 大梁主筋の配手及び定着の一般事項 (1) 配手中心位置は、次のとおりとする。 上層筋：柱間、中央、$L_0/4$以内 下層筋：柱間より梁せい (D) 以上とし、$L_0/4$を加えた範囲以内 (2) 配手中央の位置は、定着長さ及び余長は図8.3及び図8.4による。 (3) 腹筋は、連続梁で柱に接する断面が両側の柱に接しないので引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図8.10のように反対側の梁に定着する。外縁筋や隅筋は、折り曲げて定着する。  図8.1 大梁主筋の梁内定着 (4) 大梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次のとおりとする。 なお、定着の法線は標準形図8.3 (イ) による。 上層筋：曲げ上げる。 下層筋 (一般)：原則、曲げ上げる。 下層筋 (ハンチ付き)：曲げ上げる。 (5) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。	8.2 あばら筋等 (a) あばら筋、腹筋及び幅止めの一般事項 (1) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。 (2) 腹筋に配手する場合は配手長さは、100mm程度とし、定着長さは図8.10による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の配手長さは、定着長さは構造図による。 (3) 幅止め筋及び受け用幅止めの筋は、100・1000程度とする。 (b) あばら筋組立の形及びフックの位置 (1) 標準形は、図8.5 (イ) とする。 ただし、L形の場合は、(ロ) または (ハ)、T形の場合は (ロ) ～ (ニ) とすることができる。 (2) フックの位置 1. (イ) の場合は交互とする。 2. (ロ) の場合、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。 3. (ハ) の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。  図8.5 あばら筋組立の形 (c) あばら筋の割付け (1) 間隔が一律でハンチのない場合は、図8.6による。  図8.6 あばら筋の割付け (その1) (2) 間隔が一律でハンチのある場合は、図8.7による。  図8.7 あばら筋の割付け (その2) (3) 梁の断面で間隔の異なる場合は、図8.8による。  図8.8 あばら筋の割付け (その3) (d) 腹筋及び幅止めの筋 (1) 一般の図は、図8.9による。  図8.9 腹筋および幅止めの筋	8.3 小梁 (a) 小梁主筋の配手、定着及び余長 (1) 連続小梁の場合は、図8.10による。  図8.10 小梁主筋の配手、定着及び余長 (その1) (b) 単跨小梁の場合は、図8.11による。  図8.11 小梁主筋の配手、定着及び余長 (その2) (c) あばら筋は、図8.12による。  図8.12 片持梁主筋の定着及び余長	
				(注) 1. 図示のない事項は、(1) による。 2. 先端小梁特殊部の主筋は、片持梁内に水平定着する。 3. 先端小梁の連続筋は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。 図8.13 片持梁主筋の定着	
				(b) あばら筋は、図8.2による。	

訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建設工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							配筋標準図 No. 2	縮尺
								S—04

9.1 壁

(a) 一般規定

(1) 壁筋の重ね継手及び定着の長さは、重ね継手長さをい、定着長さを L_d とする。鉄筋の継手位置は、柱、梁端以外とする。

(2) 柱との節は、壁厚と $60 \times 1,000$ 程度とする。

(3) 打直し部分に重量 357×7 等が取付く場合は、鉄筋の定着長さに打直し部分を含む。

図9.1 壁の配筋

(注) 図中の $P \times \#$ は、特記された壁筋の間隔を示す。

(b) 壁の基準配筋は表9.1により、種別は構造図による。

表9.1 壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W1	D10-200シングル	100
W1A	D10-150シングル	150
W1B	D10-100シングル	100
W1BA	D10-200ダブル	100
W1BB	D10-150ダブル	150
W1BBA	D10-100ダブル	200
W2	D10-150ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

(c) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表9.2により、種別は構造図による。

表9.2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋 種別(注1)
W1	縦筋 D10-200ダブル 横筋 D10-200ダブル	100	KA1 KA3
W2	縦筋 D10-150ダブル 横筋 D10-200ダブル	200	KA7 KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

(d) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

(e) 壁の交差部及び端部の配筋は、図9.2による。

図9.2 壁の交差部及び端部の配筋

※ 前震壁の重ね継手長さは、4.1(4)(2)(注)3に規定する継手長さ

9.2 壁の補強

(a) 壁開口部の補強

(1) 前震壁を除く壁開口部の補強筋は、A筋は表9.3、B筋は表9.4とし、適用は13.3(3)(1)による。なお、前震壁の補強筋は、構造図による。

表9.3 壁開口部補強筋 (A筋)

壁の種類	縦筋	横筋
W12、W15	1-D13	1-D13
W18、W20	2-D13	2-D13

表9.4 壁開口部補強筋 (B筋)

壁の種類	縦筋	横筋
W12、W15	2-D13	1-D13
W18、W20	4-D13	2-D13

(2) 壁開口部補強の定着長さは、図9.3による。

図9.3 壁開口部補強筋の定着長さ

(b) コンセントボックス等を埋め込む場合の補強は、13.3(3)(2)による。

10.1 スラブ

(1) スラブ及び土間コンクリートの上がり下がりは、 P_L を基準とした寸法値とする。

(2) 土間スラブ下の砂利地層厚及び地中コンクリート厚は13.1(1)による。

(3) 土間コンクリート補強筋(50)の配筋及びコンクリート厚さは13.4(a)(1)による。

(4) スラブの基準配筋 (5筋基準配筋)は表10.1及び図10.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表10.1 5筋基準配筋

配筋種別	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配筋筋)	配筋種別	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配筋筋)
S1	D10-1000	D10-1000	S4	D10、D13-1500	D10-1500
S2	同上	D10-1500	S5	同上	D10-2000
S3	同上	D10、D13-1500	S6	D10、D13-2000	D10、D13-2000
S4	D13-1500	D10-1500	S11	同上	D10-2000
S5	同上	D10、D13-1500	S12	同上	D10-2000
S6	同上	D10-1500	S13	D10-2000	D10-2000
S7	D10、D13-1500	D10、D13-1500	S14	同上	D10-2000

(注) 上横筋、下横筋とも同一配筋とする。

図10.1 スラブの配筋

(5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。

(6) 鉄筋の重ね継手長さは、 L_d とする。

(7) 定着長さ及び受け筋は、図10.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図10.3により案内に定着する。

図10.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

図10.1 スラブの配筋

(5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。

(6) 鉄筋の重ね継手長さは、 L_d とする。

(7) 定着長さ及び受け筋は、図10.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図10.3により案内に定着する。

図10.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

図10.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

図10.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

10.2 片持スラブ

片持スラブの配筋は、次による。

(1) 片持スラブの基準配筋 (C5筋基準配筋)は、表10.2及び図10.4及び図10.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表10.2 C5筋基準配筋

配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-1000 下 D13-2000	CS5	上 D10-2000 下 D10-4000
CS2	上 D13-1500 下 D13-3000	CS6	上 D10、D13-2000 下 D10-2000
CS3	上 D15、D13-1500 下 D10、D13-2000	CS7	上 D10、D13-2000 下 D10-2000
CS4	上 D10-2000 下 D10-2000		

図10.4 片持スラブの配筋 (C5.1からC5.5)

(注) 1. 先端の折り上げ長さは、スラブ厚より ϕ より厚さを離れた長さとする。

図10.5 片持スラブの配筋 (C5.6及びC5.7)

(注) 1. 先端の折り上げ長さは、スラブ厚より ϕ より厚さを離れた長さとする。

(2) 先端に壁が付く場合は、図10.6による。

図10.6 先端に壁が付く場合の配筋

(3) 出隅部

(1) 補強筋は構造図により、配筋方法は、図10.7による。

(2) 出隅受け部分 (図10.7の斜線部分)の補強筋は構造図による。

図10.7 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

(注) 1. $\phi \geq \phi_{\text{等}} \geq \phi_{\text{等}} \geq \phi_{\text{等}}$ とする

2. 出隅受け筋配筋は柱又は梁に L_d 定着する。

10.3 スラブ等の補強

(a) スラブ開口部の補強

スラブ開口部の補強は、特記による。

(1) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図10.8により開口によって切られる鉄筋と同等量の鉄筋で補強を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 ($\phi \geq 2 \times 1$) シングルを上下部の内側に配筋する。

図10.8 スラブ開口部の補強配筋

(2) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を斜めに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(b) 縦横スラブの補強

縦横スラブの出隅及び入隅部分には、図10.9により、補強筋を上横筋の下側に配置する。

図10.9 出隅及び入隅部の補強配筋

(c) 土間スラブの打抜き補強

基礎梁とスラブを一体化しないと、打抜きを設ける場合の補強は図10.10による。ただし、土間スラブとは、上に接するスラブでS筋の配筋によるものをいう。 $a > 300$ の場合は特記による。

図10.10 打抜き補強配筋

図10.9 出隅及び入隅部の補強配筋

(c) 土間スラブの打抜き補強

基礎梁とスラブを一体化しないと、打抜きを設ける場合の補強は図10.10による。ただし、土間スラブとは、上に接するスラブでS筋の配筋によるものをいう。 $a > 300$ の場合は特記による。

図10.10 打抜き補強配筋

(d) 土間コンクリートの補強

土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図10.11による。 $a > 300$ の場合は特記による。

図10.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

11.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の基準配筋は、表11.1及び図11.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表11.1 片持スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

(注) 1. 縦筋は、9.1(c)による。

2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから下に下ろす。

3. スラブ配筋筋の重ね及び定着の長さは、表4.3 (鉄筋の定着の長さ)の L_d とする。

図11.1 片持スラブ形階段配筋の定着

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
								配筋標準図 No. 3	縮尺

11.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋は第11.2及び図11.3により、中継及び配筋詳細は、構造図による。

表11.2 二辺固定スラブ形階段配筋

配筋種別	上階部、下階部とも（全域）
KB1	D13-200φ
KB2	D13-150φ
KB3	D13-100φ
KB4	D13.1B16-150φ
KB5	D16-150φ
KB6	D16-125φ
KB7	D16-100φ

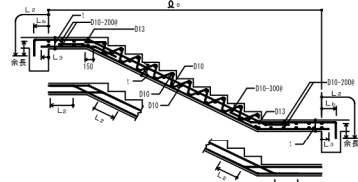
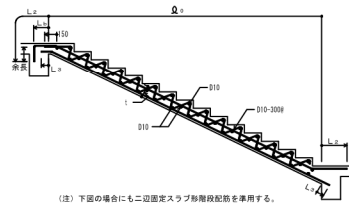


図11.2 二辺固定スラブ形階段配筋（その1）



（注）下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

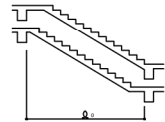


図11.3 二辺固定スラブ形階段配筋（その2）

12.1 梁貫通孔

（a）梁貫通孔は、次のとおりとする。

- （1）梁貫通孔補強筋の名称等は、図12.1による。
- （2）孔の径は、梁せい（D）以下とする。孔が円形でない場合はこの外縁円とする。
- （3）孔の上下方向の位置は図12.2による。
- （4）孔は、柱間から原則として、1.5D（Dは梁せい）以上とする。ただし、基礎梁及び壁付等梁は除くが、その場合の範囲は特記による。
- （5）孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- （6）補強筋及び上下縦筋は、あばら筋の間に配筋する。
- （7）補強筋は、主筋の内側とする。また、縦筋の定着長は、図12.3による。
- （8）孔の径が梁せい（D）以下、かつ、150mm未満のものは、縦筋を横や中に曲げることにし、開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができ。
- （9）溶接金網の貫通孔は1箇所以上とし、突出しは10mm以上とする。
- （10）溶接金網の貫通孔部分には、縦筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
- （11）溶接金網の取付け端は、縦筋ではあばら筋の下とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
- （12）貫通孔の位置は図12.4のように開孔をささむり度の領域（ハッチ部）には他の開孔を設けないこととする。

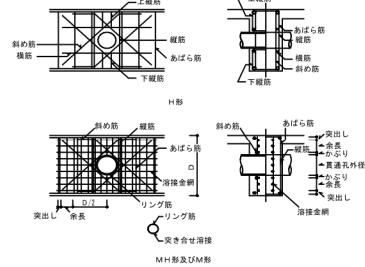
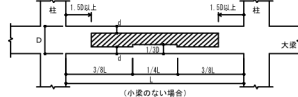
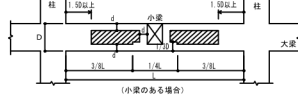


図12.1 梁貫通孔補強筋の名称等



（小梁のない場合）



（小梁のある場合）

（注）1. 梁貫通孔のへりあり寸法 d は下記による

500 ≤ D < 700	42175
700 ≤ D < 900	42200
900 ≤ D	42250

図12.2 梁貫通孔の位置関係

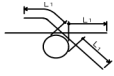


図12.3 補強筋の定着長さ

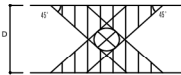


図12.4 他の開孔を設けない範囲

（b）梁貫通孔の補強筋は表12.1～表12.3により、配筋種別は構造図による。

表12.1 H形梁

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H6	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H7	4-2-D22	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	

（注）——は、一般部分のあばら筋を示す。

表12.2 M形梁

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13	なし	
M3	4-2-D13	2-4φ-100φ	
M4	6-2-D13	2-4φ-100φ	

（注）——は、一般部分のあばら筋を示す。

表12.3 単独梁

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
WB1	2-2-D13	なし	なし	
WB2	2-2-D13	2-2-D13	なし	
WB3	2-2-D13	2-2-D13	2-4φ-100φ	
WB4	4-2-D13	2-2-D13	2-4φ-100φ	
WB5	4-2-D16	2-2-D13	2-4φ-100φ	
WB6	4-2-D16	2-2-D13	2-4φ-100φ	
WB7	4-2-D19	2-2-D13	2-4φ-100φ	

（注）——は、一般部分のあばら筋を示す。

12.2 コンクリートブロック横壁との取合い

（a）横壁は、次のとおりとする。

- （1）横壁の配置は、構造図による。
- （2）配筋は、図12.5による。

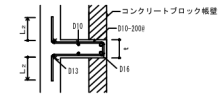


図12.5 横壁の配筋（水平、垂直とも）

（b）横壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強筋は、図12.6による。

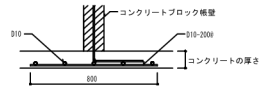


図12.6 壁付き土間コンクリートの補強配筋

12.3 パラベット

パラベットの先端補強筋は、図12.7による。尚、コンクリート厚さ及びパラベット配筋は構造図による。

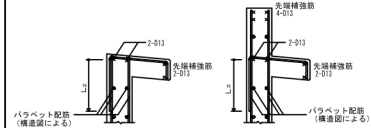
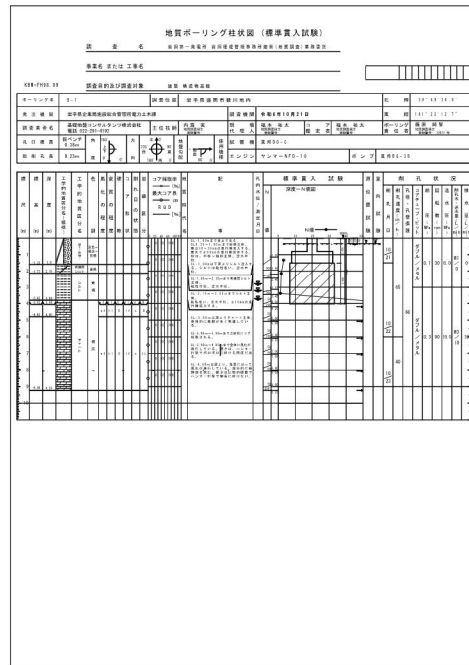
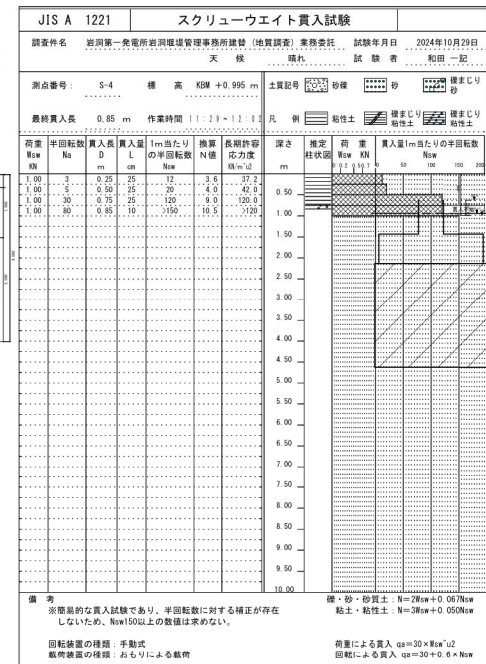
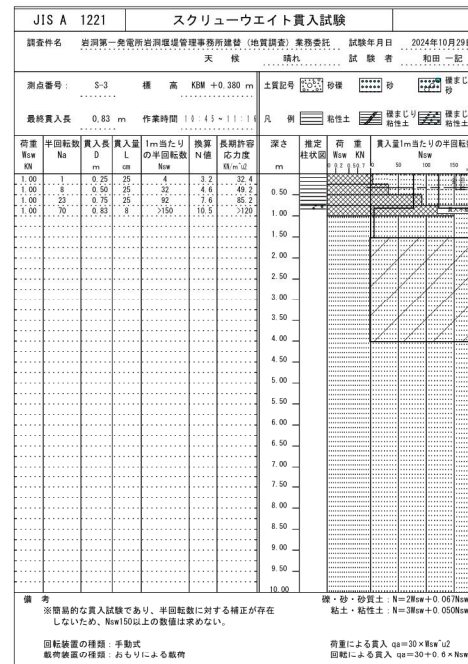
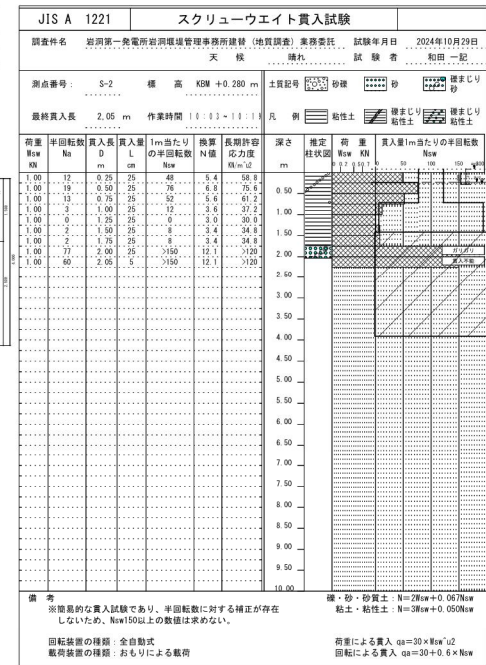
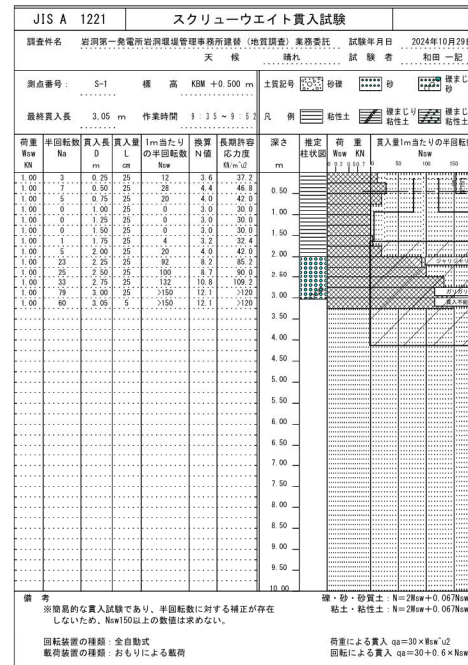


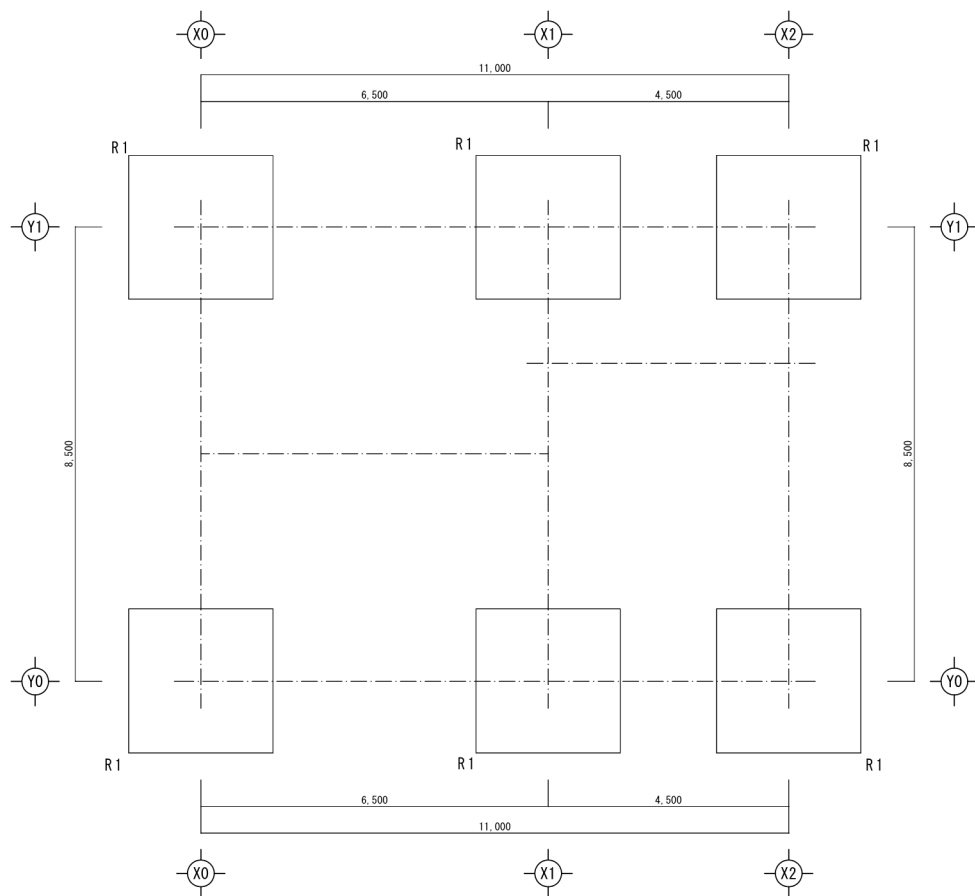
図12.7 パラベットの配筋



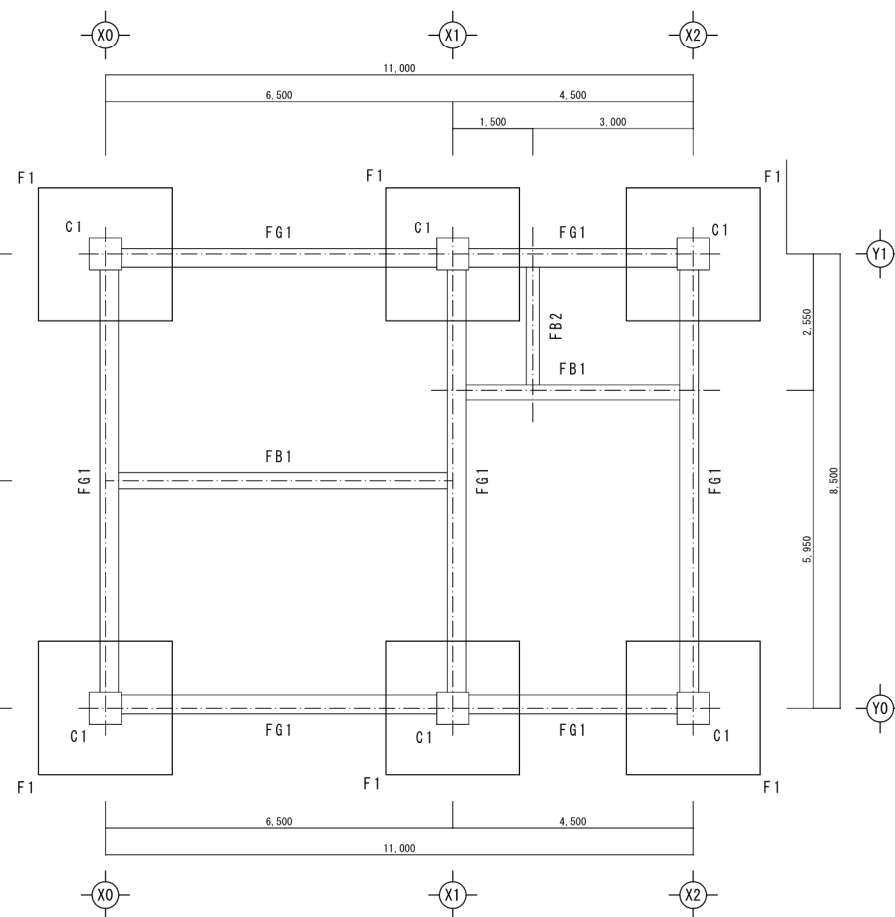
調査位置平面図 S=1/400



訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建設工事	
			製図	担当	受領年月日	図面名称	縮尺	図面番号
						調査位置平面図・ボーリング柱状図・スクリューウェイト貫入試験	S=1/400 (A1) S=1/800 (A3)	S-08

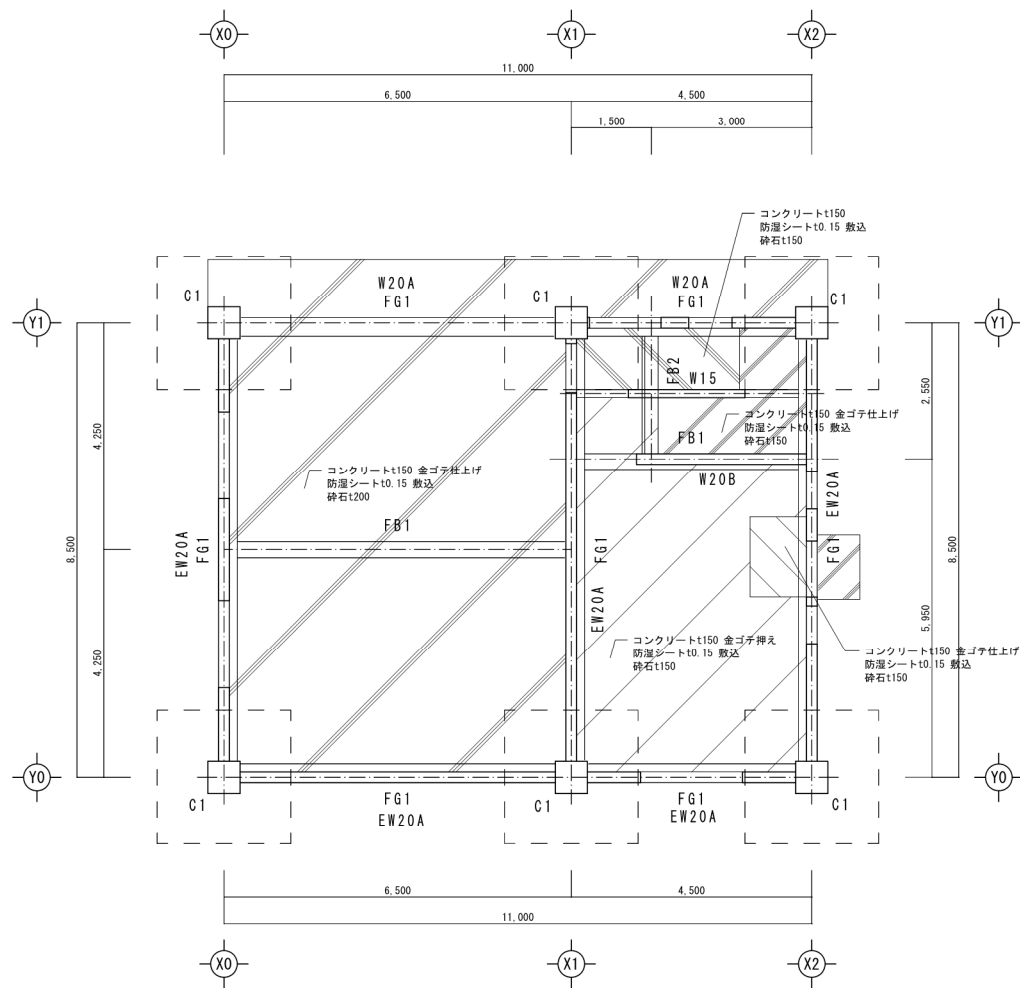


基礎(ラップコンクリート)伏図 S=1/50

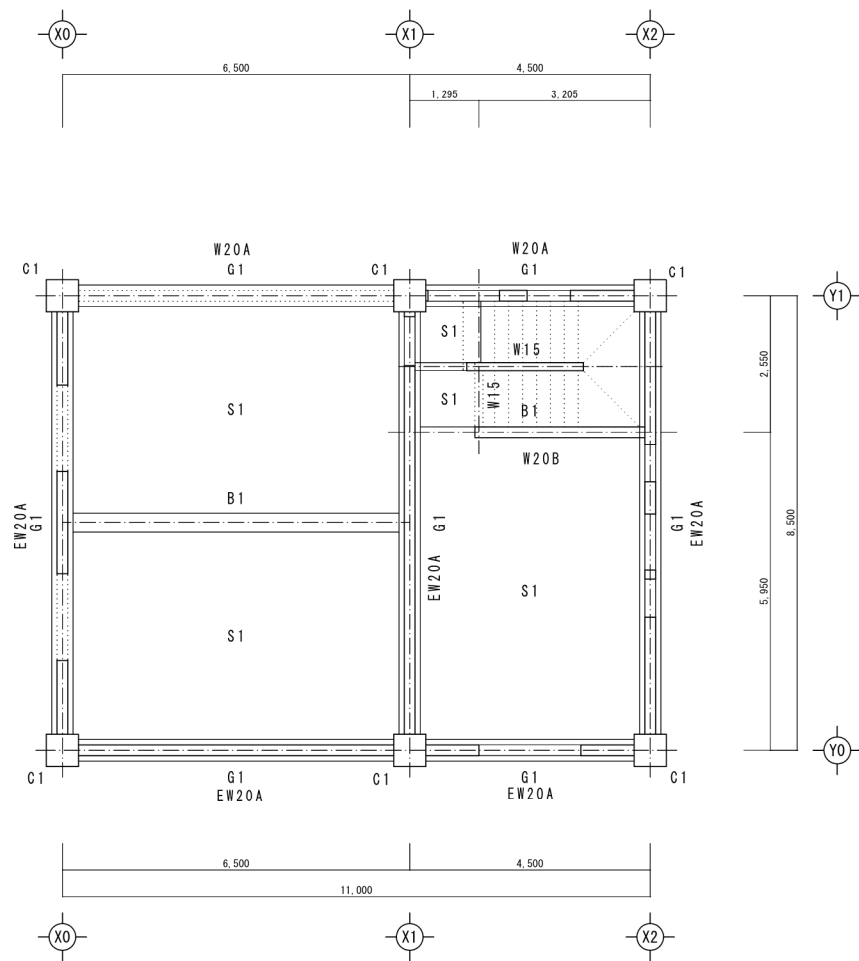


基礎伏図 S=1/50

訂正	月			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	日							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	
	.				製図	担当	受領年月日	図面名称	
								基礎(ラップコンクリート)伏図・基礎伏図	
								縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	図面番号
									S-09

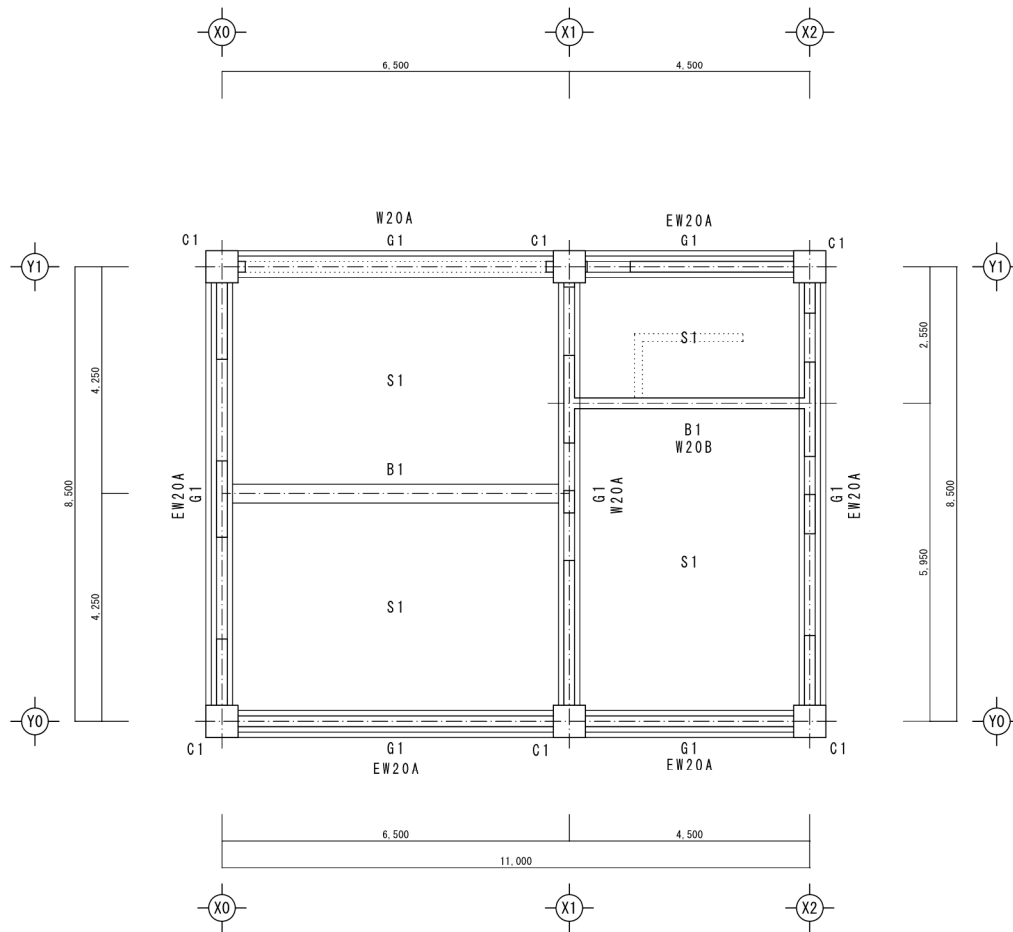


1 階床伏図 S=1/50



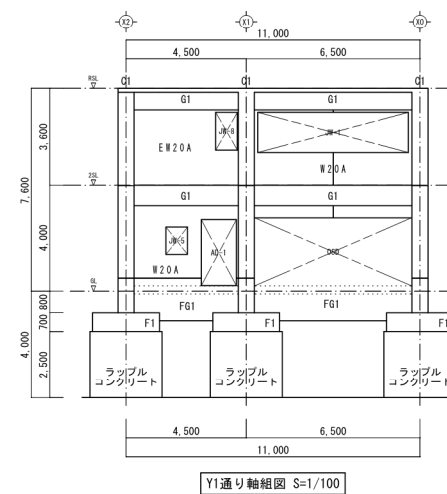
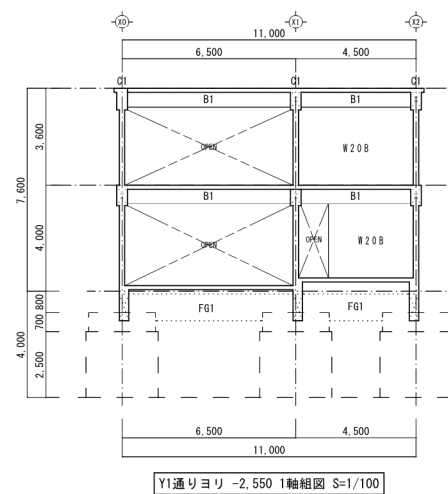
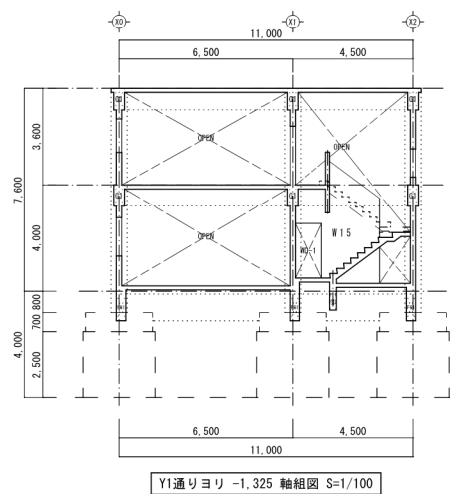
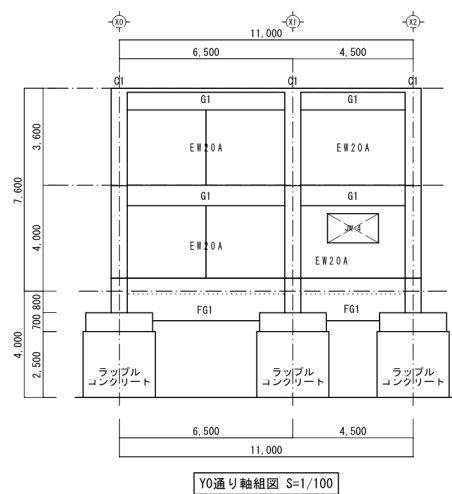
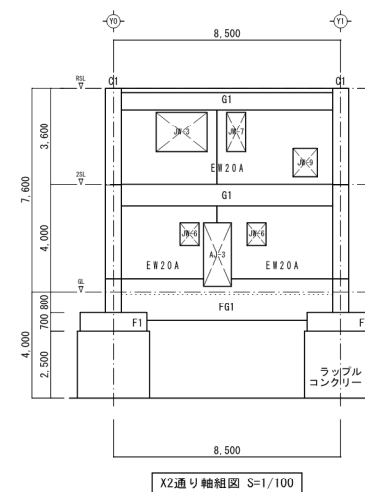
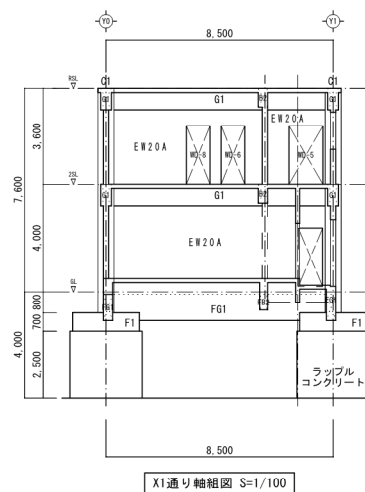
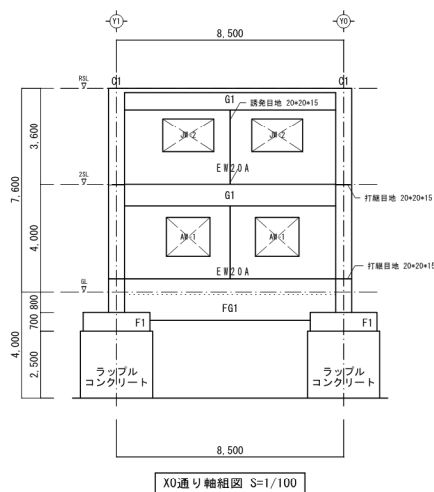
1 階柱、2階梁、床伏図 S=1/50

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	1階床伏図・1階柱、2階梁、床伏図	S-10
							縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	

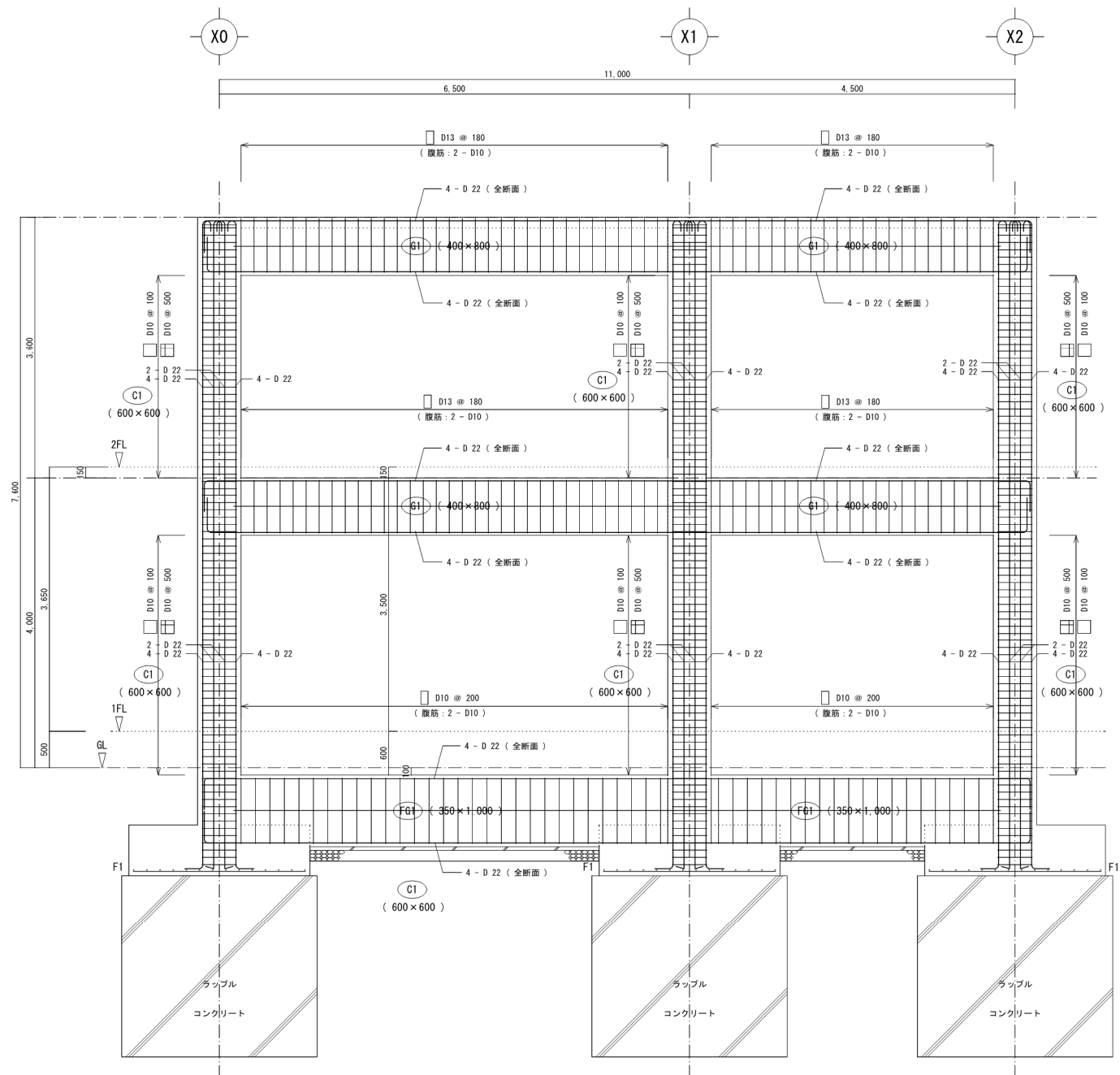


2 階柱、壁、R階梁・R階床伏図 S=1/50

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	図面番号
								1階床伏図・1階柱、2階梁、床伏図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
									S — 11



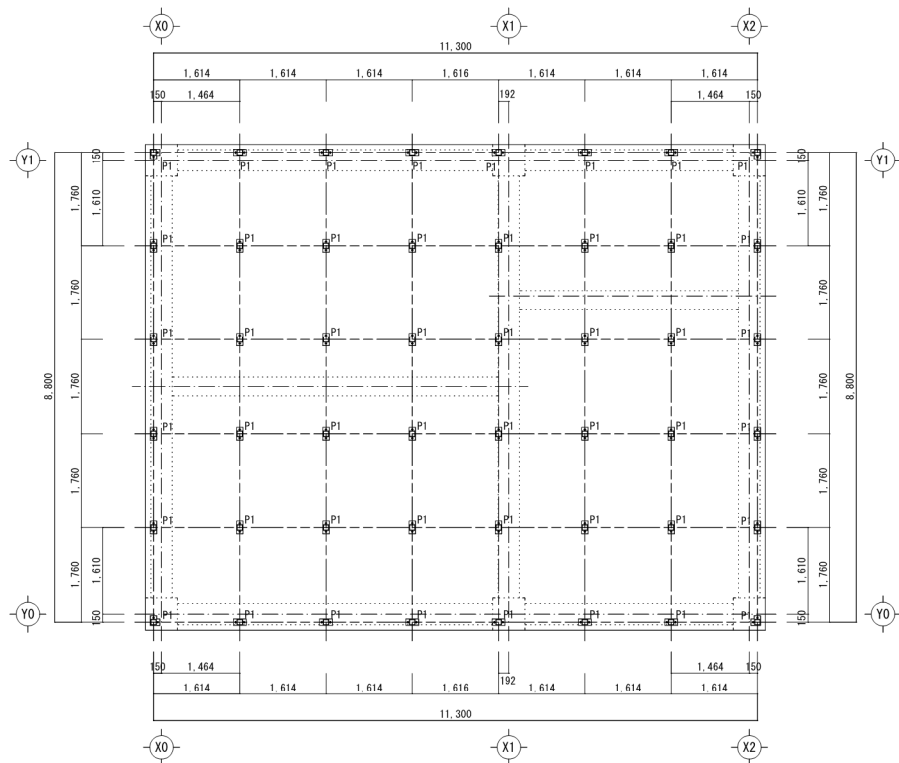
訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
								図面名称	図面番号
								軸組図	S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)



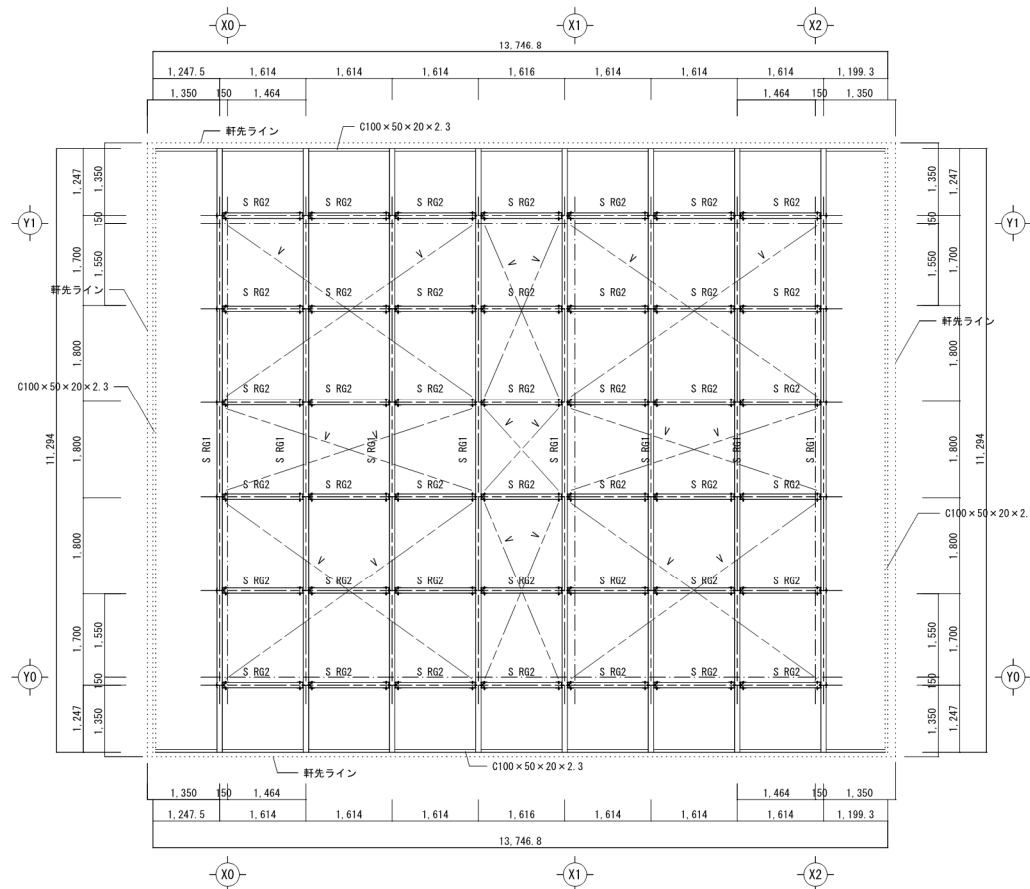
共通事項

- 基礎梁
腹筋 2 - D 10
幅止め筋 D 10 @ 1,000
- 柱
仕口部 ロ字型とし、材質・ピッチは直下の
フープノ配筋に倣う
- 大梁
腹筋 2 - D 10
幅止め筋 D 10 @ 1,000

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.			製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							図面名称	図面番号
							梁横配筋詳細図	S-1/60 (A3) S-1/30 (A1)

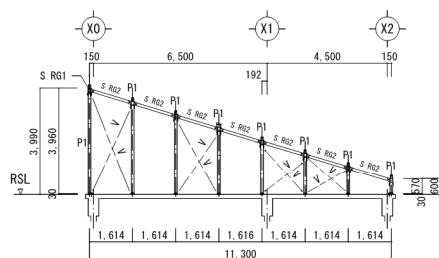


置屋根 柱伏図 S=1/50

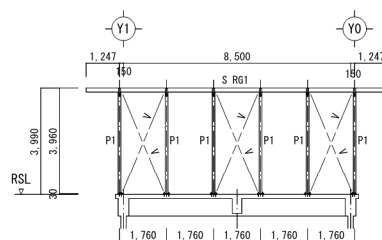


置屋根 母屋伏図 S=1/50

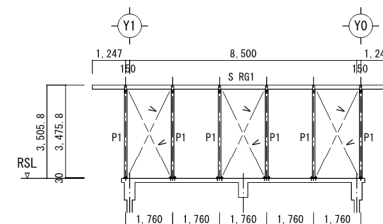
訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							.	置屋根 柱伏図・置屋根 母屋伏図	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)



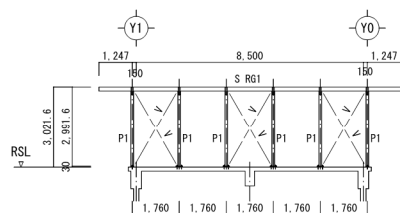
Y全通り 軸組図 S-1/100



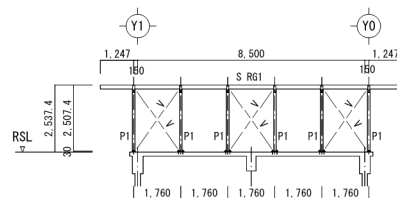
X0通りヨリ - 150 軸組図 S-1/100



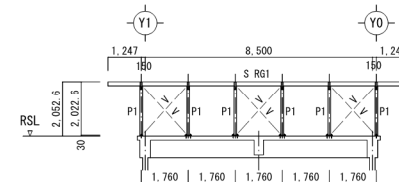
X0通りヨリ + 1,464 軸組図 S-1/100



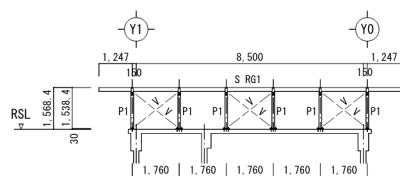
X0通りヨリ + 3,078 軸組図 S-1/100



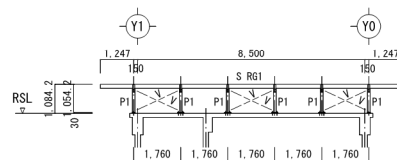
X0通りヨリ + 4,692 軸組図 S-1/100



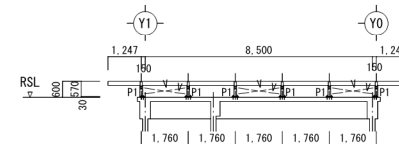
X1通りヨリ - 192 軸組図 S-1/100



X1通りヨリ + 1,422 軸組図 S-1/100



X1通りヨリ + 3,036 軸組図 S-1/100

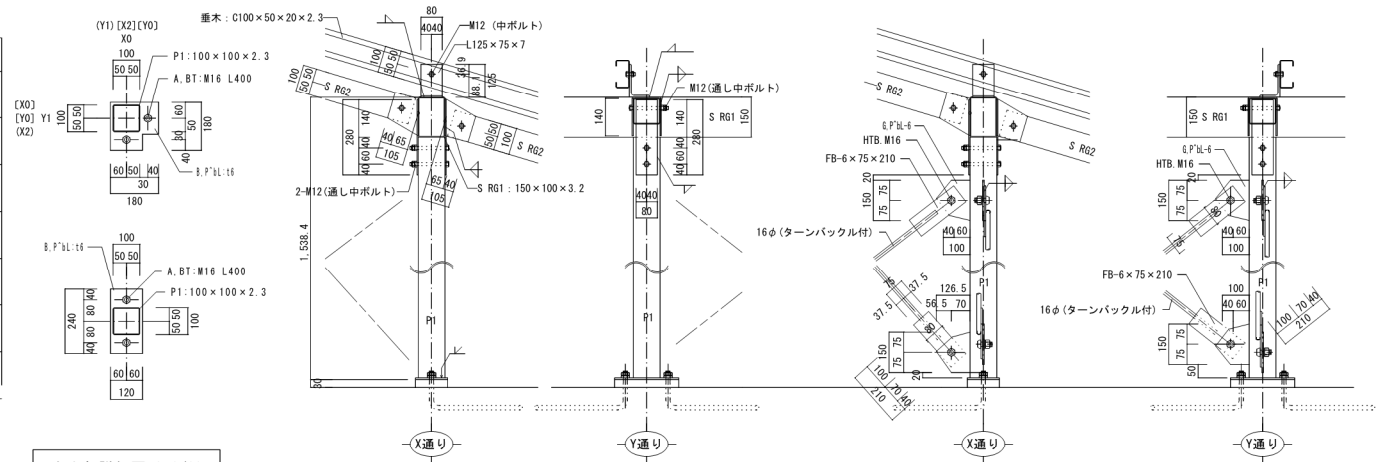


X2通りヨリ + 150 軸組図 S-1/100

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	置屋根 軸組図	S-1/100 (A1) S-1/200 (A3)

鉄骨部材リスト

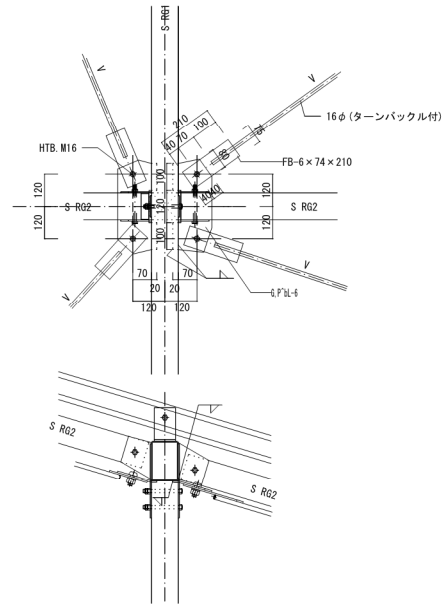
符 号	鉄骨部材リスト	備 考
P1	□ 100×100×2.3	B, P ¹ bl-6×120×240 A, B 2-M16 L=400(Wナット) SS-41
S RG1	□ 150×100×3.2	G, P ¹ bl- 4.5 2-M12(中通しボルト)
S RG2	□ 100×100×2.3	G, P ¹ bl- 4.5 M12(中通しボルト)
V	16φ (JISターンバックル付)	丸鋼 SS-400 G, P ¹ bl- 6 FB-6×75×210 HTB, M16
垂木	C 100×50×20×2.3	L 125×75×7 M12(中ボルト)
胴縁	C 100×50×20×2.3	L 90×75×6 M12(中ボルト)



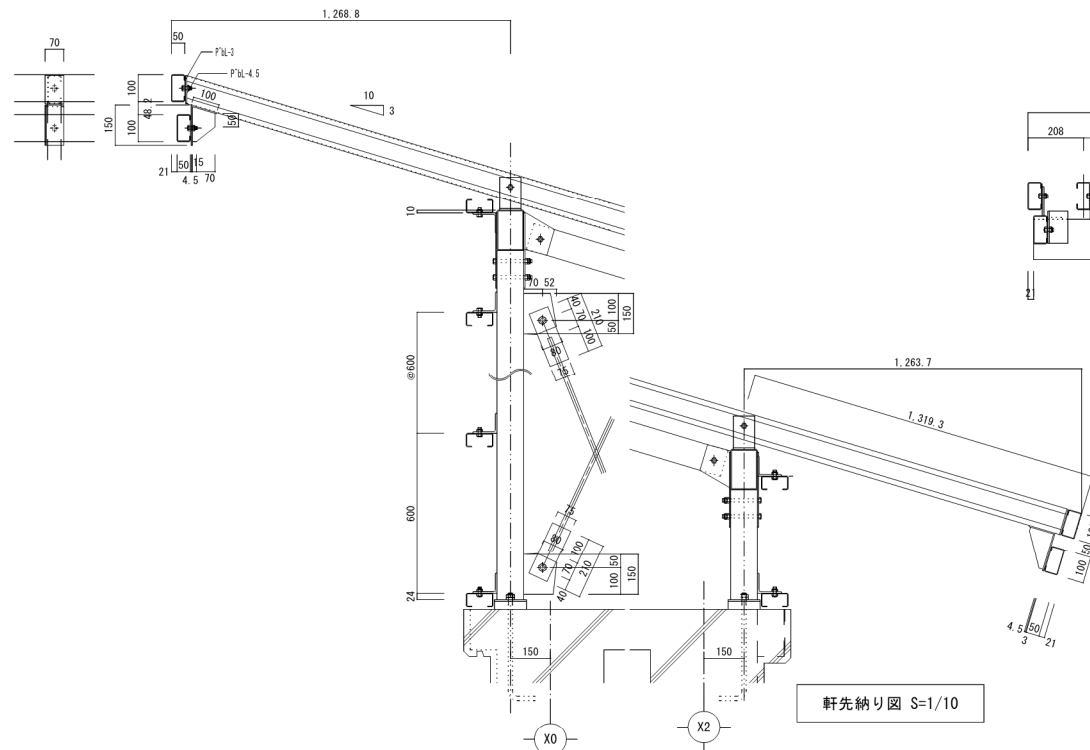
中脚部詳細図 S=1/10

柱・梁接合詳細図 S=1/10

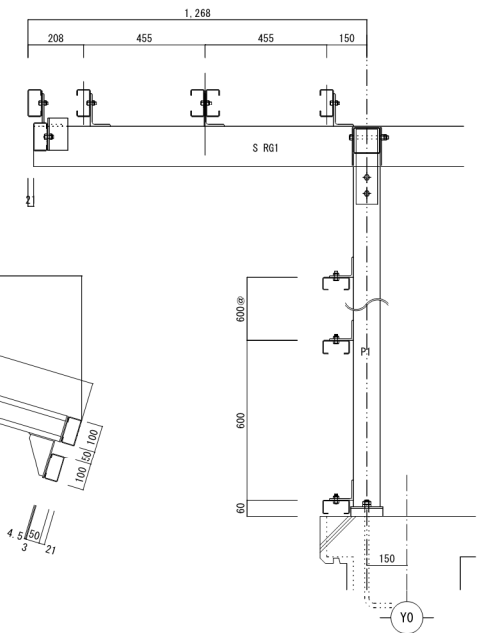
壁プレス納り図 S=1/10



屋根プレス納り図 S=1/10

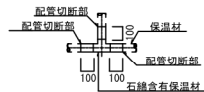


軒先納り図 S=1/10



訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							鉄骨詳細図	S=1/10 (A1) S=1/20 (A3)

訂正	月	日		設計年月日	設計	校閲	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事		設計番号 —
	.									
				製図	担当	受領年月日 .	図面名称 建築物解体工事特記仕様書 (1)	縮尺	図面番号 A解体—01	



- ① 配管の切断に当たり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤を塗布又はテープ貼を行う。
- ② 保温材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
- ③ 切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理する。

--	--	--	--

[illegible]

※ ダクトフランジ部の撤去に先立ち、フランジ部 1 箇所につき 2 箇所切断する。

--	--	--

	配管種別	配 管 材 料
空気調和	・ 冷温水、冷却水	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ ドレン管	・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 油	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	・ 蒸気	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	・ 冷媒管	・ 冷媒用被覆銅管
給水	・ 屋内給水管	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 ・ 塩バイニング鋼管 ・ ポリエチレン粉体ライニング鋼管
	・ 屋外給水管	・ 水道用硬質塩化ビニル管（VW） ・ ポリエチレン管 ・ 塩バイニング鋼管（VD）
給湯	・ 給湯管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 銅管
	・ 汚水管	・ 排水用鉄管 ・ 塩バイニング鋼管 ・ 鉛管
排水	・ 雑排水管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 透気管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 屋外排水管	・ コンクリート管 ・ ビニル管（VP）
ガス	・ 屋内ガス管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	・ 屋外ガス管	・ ガス用ポリエチレン管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）

- ・ ダクト種別 (・ 亜鉛鉄板 ・ 銅板製)
・ 保温種別 (・ ロックウール保温材 ・ グラスウール保温材 ・ ポリスチレンフォーム保温材 ・ 化粧ケース (樹脂製))
・ 衛生器具 (・ 陶器製 ・ SUS製)

(1) 共通

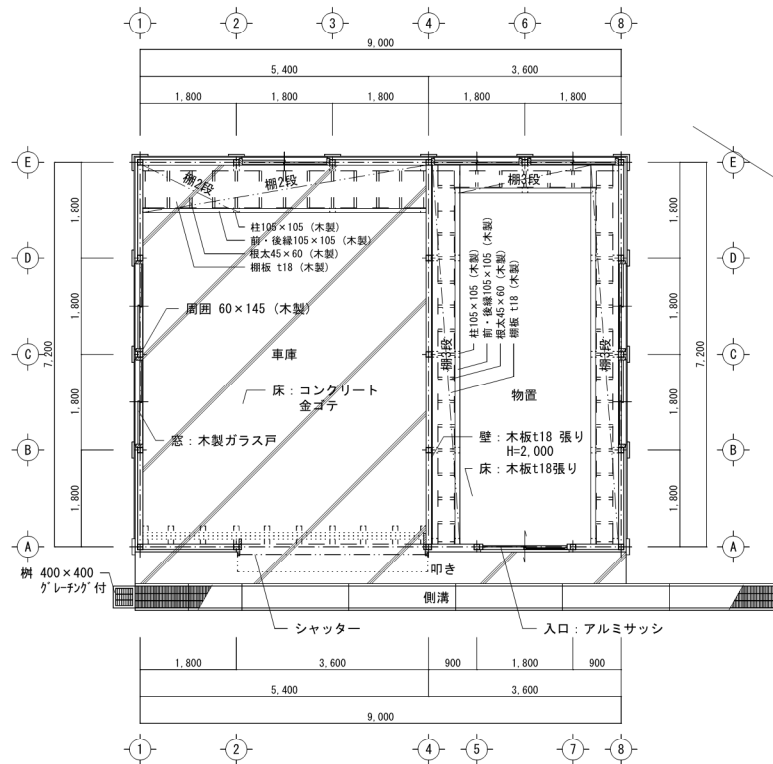
- ・ 図示された、機器・ダクト・配管の撤去を行う。
- コンクリート埋設及び土間部の配管は建物と一体に撤去してよい。
- ・ ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で撤去してよい。
- ・ オイルタンク
 - ・ オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。
 - ・ オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。
 - ・ オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
 - ・ 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、放付工法とする。
 - ・ 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
- ・ 浄化槽、排水槽
- 屋外設備
 - 配管土工事とは本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。
 - ・ 屋外給水配管の埋設深さは 600mm とする。
 - ・ 屋外ガス配管の埋設深さは 600mm とする。
 - 樹根掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

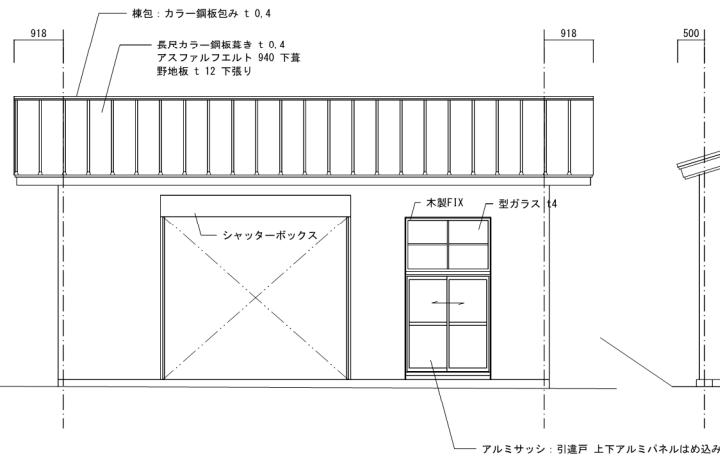
[illegible]

※ 機器内部にアスベスト等含有している可能性がある機器は製造メーカーに確認し、監督職員に報告する。

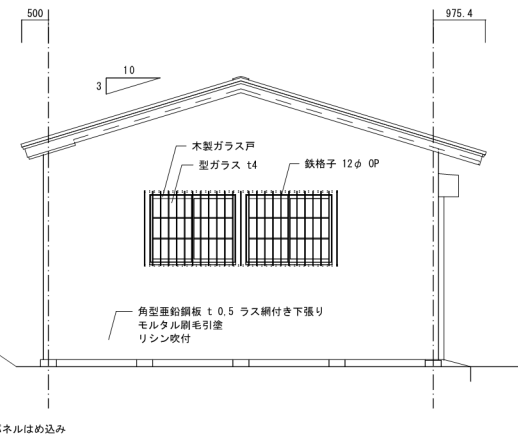
53



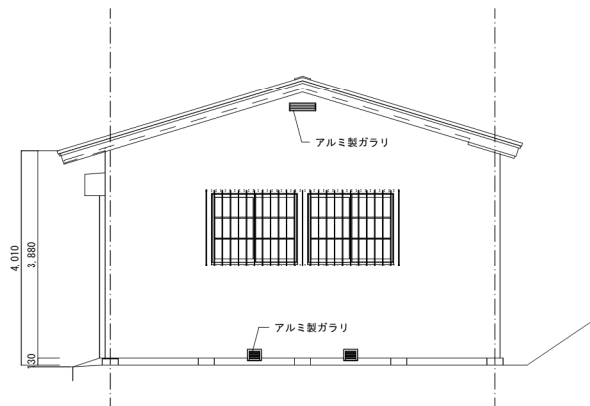
車庫棟平面図 S=1/50



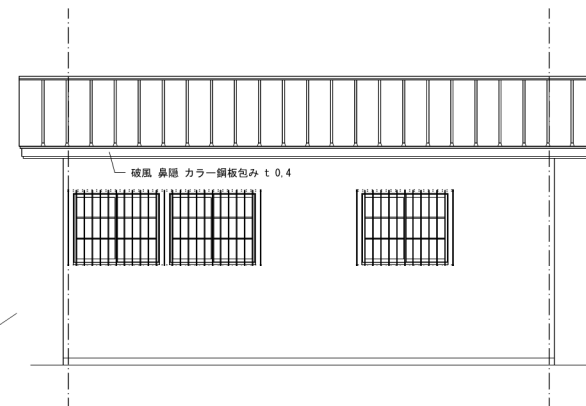
東立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50

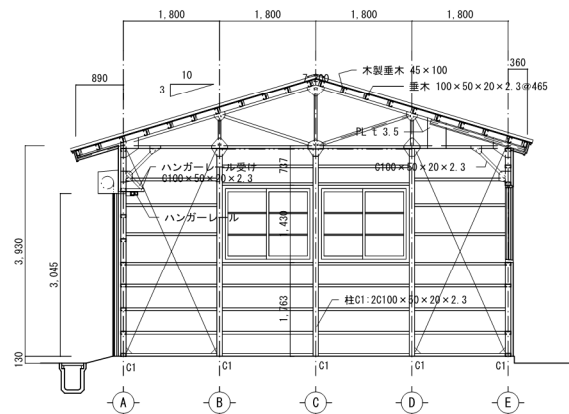


南立面図 S=1/50

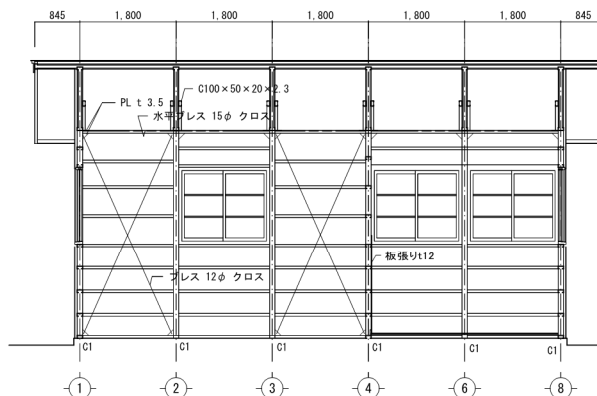


西立面図 S=1/50

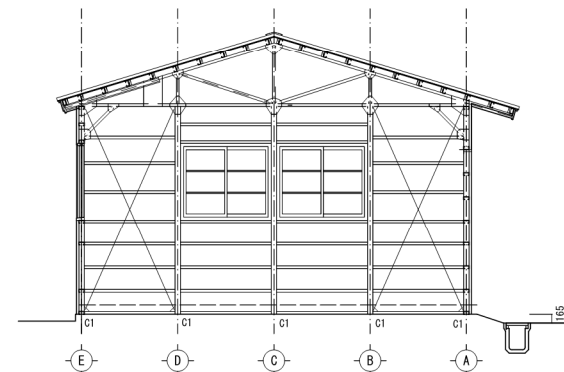
訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							既存車庫 平面図・立面図	A解体—06



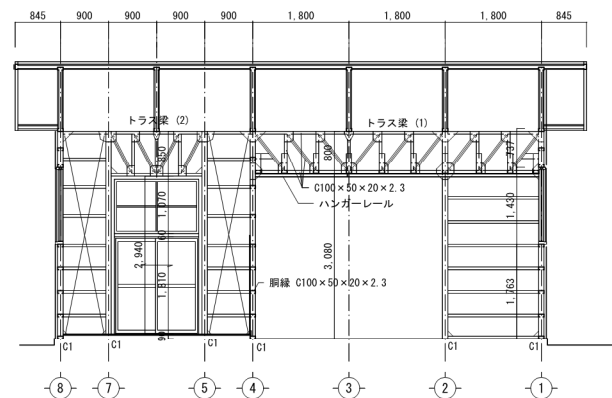
1 通り断面図 S=1/50



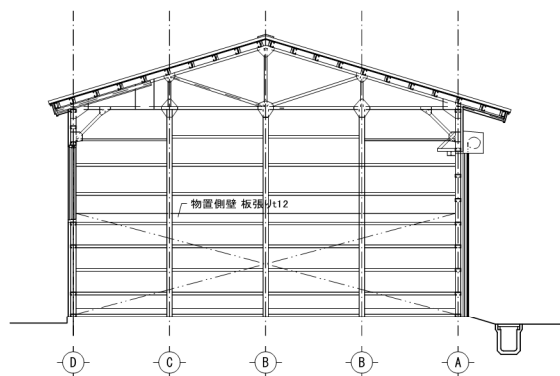
E 通り断面図 S=1/50



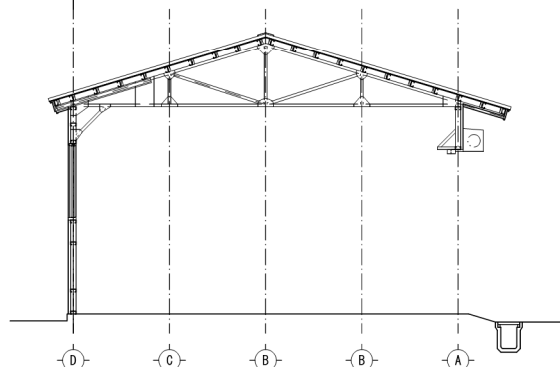
8 通り断面図 S=1/50



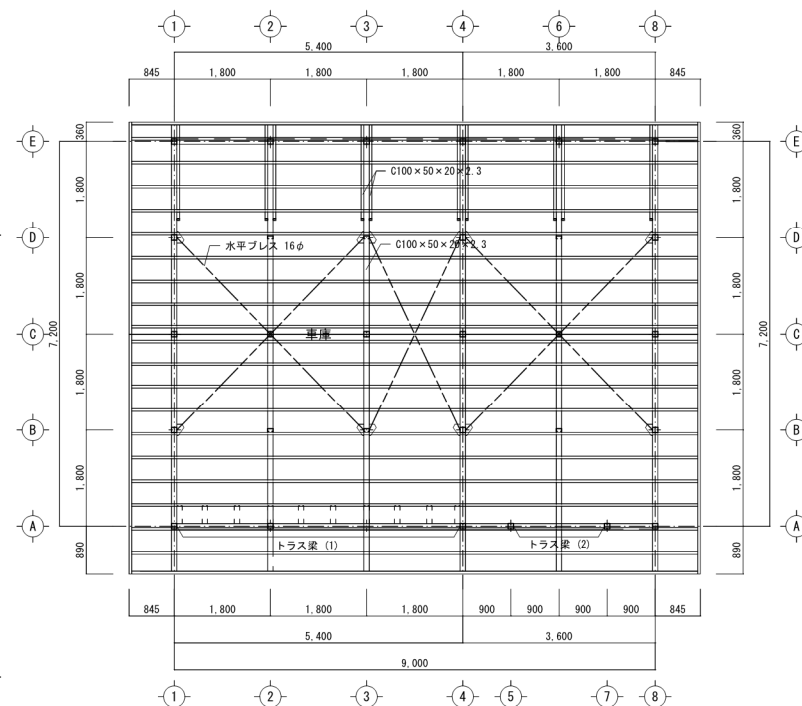
A 通り断面図 S=1/50



4 通り断面図 S=1/50



3 通り断面図 S=1/50



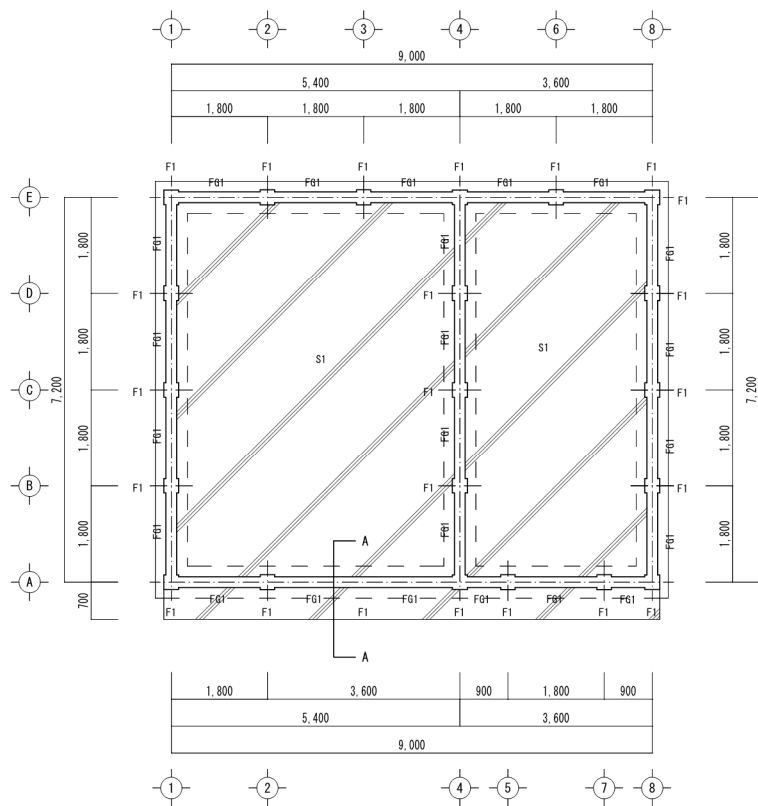
小屋伏図 S=1/50

鉄骨部材リスト

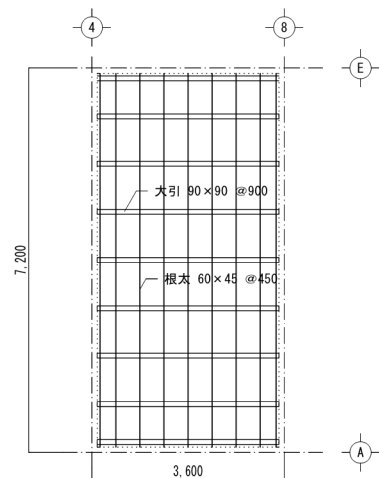
符 号	部 材	備 考
C1	2C 100×50×20 t 2.3	B: PL 250×200 t 15 (想定) A: DT 16φ L= 600 (想定)
鋼線	100×50×20 t 2.3	現場溶接
トラス梁 (1)	100×50×20 t 2.3	PL 3.5 現場溶接
トラス梁 (2)	100×50×20 t 2.3	PL 3.5 現場溶接
類杖	100×50×20 t 2.3	PL 3.5 現場溶接
母屋	100×50×20 t 2.3	現場溶接
壁平ブレス	12φ	PL 3.5 ナット留め 現場溶接
水平ブレス	15φ	PL 3.5 ナット留め 現場溶接
ハンガー受け	100×50×20 t 2.3	現場溶接

訂正	月 日	

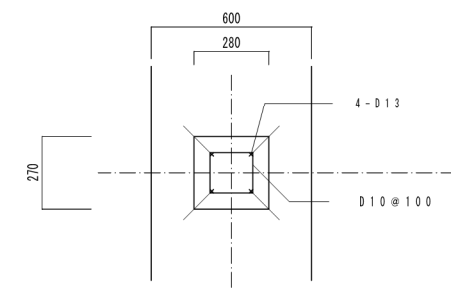
設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
				岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
	製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
				既存車庫棟 1・E・B・A・4・3 通り断面図・小屋伏図・鉄骨部材リスト	A 解体—07
				縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	



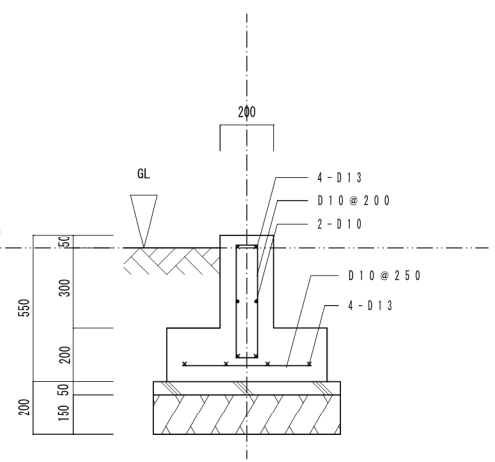
車庫棟基礎伏図 S=1/50



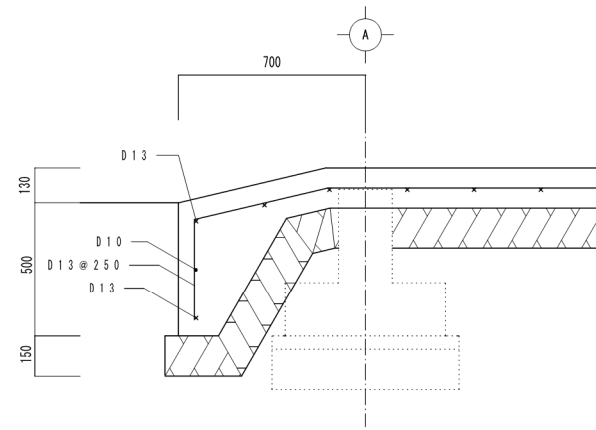
車庫棟・物置床伏図 S=1/50



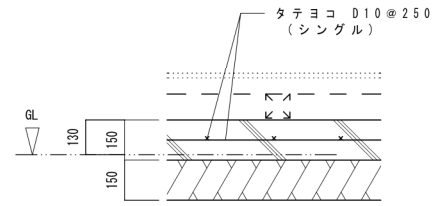
F1 断面図 S=1/10



F61 断面図 S=1/10



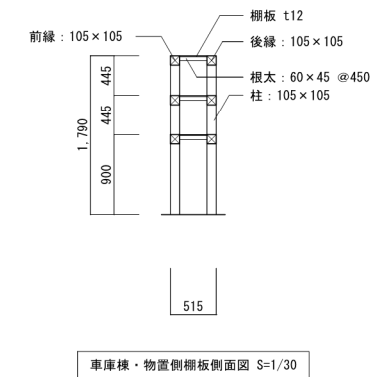
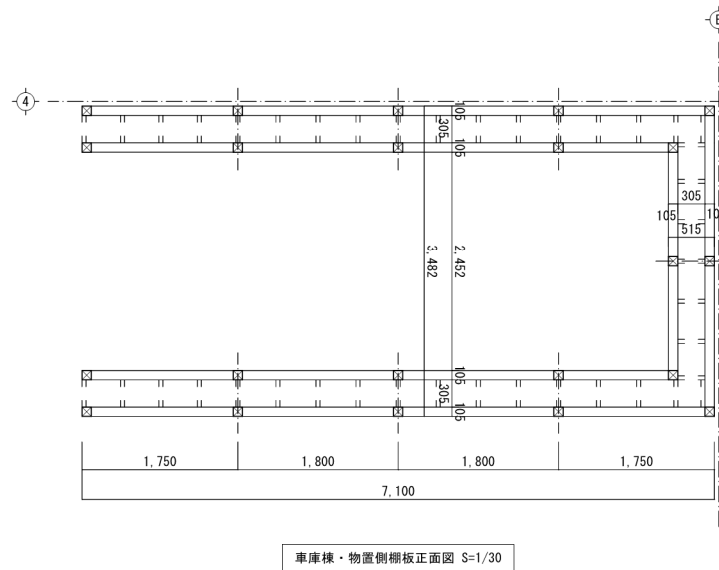
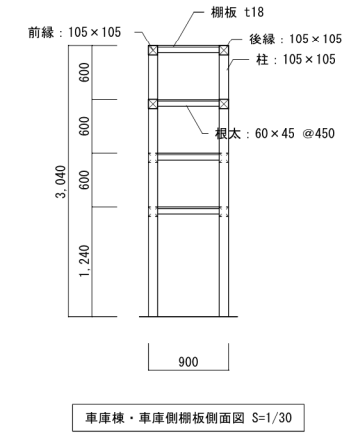
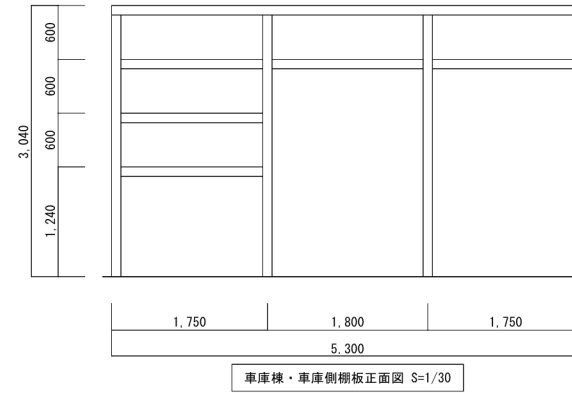
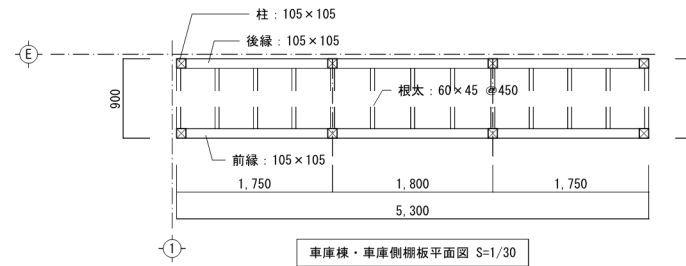
A~A 断面図 S=1/10



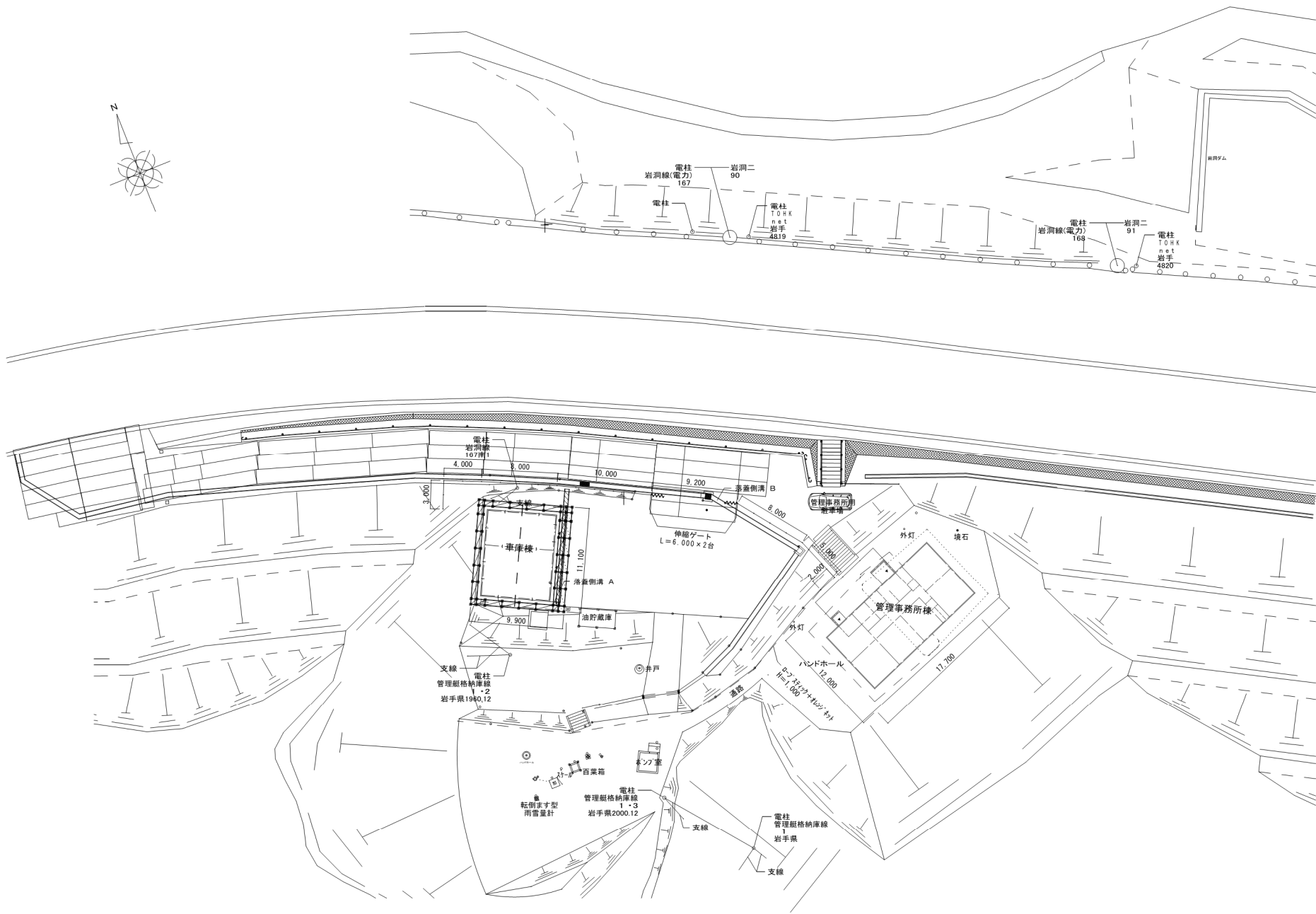
S1 断面図 S=1/10

想定図

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建設工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							車庫棟基礎伏図・F1, F61, S1・A~A断面図 車庫棟・物置床伏図	縮尺 4/100 (A1) 4/100 (A1) 4/100 (A1) 4/100 (A1) A解体—08



訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.			製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
							車庫棟 車庫側棚板平面図・立面・側面図 車庫棟 物置側棚板平面図・側面図	縮尺 S=1/30 (A1) S=1/30 (A1) S=1/30 (A1) S=1/30 (A1)
								A 解体—09



現況図面 S=1/200

訂正	月	日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.				製図	担当	受領年月日	岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建設工事	
								図面名称	縮尺
								車庫棟解体 仮設計図面	S=1/200 (A1) S=1/400 (A3)
								図面番号	A解体 19

電氣設備工事 特記仕様書							
I. 工事概要							
1. 工事名称	岩田第一発電所岩田発電管理事務所建設工事						
2. 工事場所	福岡市豊川字外山 2-4-75						
3. 建物概要							
建物名	筋 種	階 数	延床積 (㎡)	消防設備施行 (法第 1)	耐火構造	有害・無害	備 考
事務所	R/C造	2	120.74	1.5項	耐火	有害	
4. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)							
建物別及び		工 事 種 別					備 考
工事種目	建物	事務所	屋 外				
○ 電気 打 設 造		○		*	*	*	
○ 動力		○		*	*	*	
* 電気自動車充電		*	*	*	*	*	
* 電 熱		*	*	*	*	*	
* 雷 保 護		*	*	*	*	*	
* 交 流 電		*	*	*	*	*	
* 電力貯蔵		*	*	*	*	*	
○ 急 電		○		*	*	*	
* 線内通信設備		*	*	*	*	*	
○ 線 内 交 換		○		*	*	*	
* 情報表示		*	*	*	*	*	
* 映像・音響		*	*	*	*	*	
* 監 測		*	*	*	*	*	
* 排煙装置		*	*	*	*	*	
○ ランビ消音設備		○		*	*	*	
* 監視カメラ		*	*	*	*	*	
* 駐車場管理		*	*	*	*	*	
* 防犯・入退室管理		*	*	*	*	*	
○ 火災報知		○		*	*	*	
* 中央監視制御		*	*	*	*	*	
○ 構造変位観測		*	○	*	*	*	
○ 構造内位観測		*	○	*	*	*	
* 電圧変動計		*	*	*	*	*	

[illegible]

③ 完成検査時提出書類

完成図書

完成図(構造設計図)

施工図

工事写真

完成写真

材料検収簿

保守管理案内書

電子納品

市販ファイル

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A4判

○A4判

○CD-R又はDVD-R

市販ファイル

○A4判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○A4判

○A2判

○

成果品	○完成図書	市販ファイル	A4判	〇2	納入の書類、確認済書・計画、確認済書等。工事費・設計労務算定額、仕向別集約費、修繕費、省分（保証期間延長）、補償（火災、水害等）費、第三者賠償責任保険等費用 委託見積、月経見、マニフェスト等発行、工場関係文書・契約書類一式、一筆原簿及び図面等の複製とします。
	○完成図 （竣工設計図）	二つ折り製本	A3判 A4判	〇2 〇2	A1判二つ折り A3判二つ折り
	○施工図	二つ折り製本	A3判 A4判	〇7 〇7	A1判二つ折り A3判二つ折り
	○工事写真	市販ファイル	A6判	1	監理・専任記録撮影写真等に作成。
	○完成写真	市販ファイル	A6判	1	監督職員の指示による。
	材料収支帳	市販ファイル	A6判	1	建設事務所が管理したものを。
	保守管理案内書	市販ファイル	A6判	1	日常点検や管理案内書 使用可能な箇所・設備でなくとももの
	電子納品	CD-R又はDVD-R		1	常設図（竣工設計図及び竣工後の給排水）（元データ、PDF形式） 竣工写真、工事費集約データ（事務用紙） 「自治体電子納品システム」にアップロード
進捗	○工事関係書類	市販ファイル	A4判	0	施工工程報告書、検査書、下廻り検査報告書、日報、安全衛生記録簿等之中で発生、使用した書類一式。

必携工具等

● アルミ製脚立	● 懐中電灯	● テスター	● メガー
● 核電器	● 接地抵抗計	● 施工図	● 機器製作図
・ 照度計	・ 電界強度測定器	・ カラーテレビ	

なお、本工事の施設分類は（● 特定の施設 ・ 一般の施設）とし、設計用標準水平震度（ K_s ）は下表による。

設計用標準水平震度 (K _a)				
設置場所	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	重要機器以外	重要機器	重要機器以外
上階部・屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注) () 内数値は、防震装置付き機器などの場合を示す。

重要度の高い設備機器

① 配電盤	・ 発電装置	・ 直流電源装置
・ 交流無停電電源装置	・ 交換機	・ 自動火災報知設備
・ パワーコンディショナ		

スリーブ	⑤ 本工事	・
仮枠	・ 本工事	・
床、壁の仮枠及び補強	・ 本工事	・

○	天井送込設備	両面	○	本工事	・	建築工事
		管出し	○	本工事	・	建築工事
		下地切込	○	本工事	・	建築工事
		上げ材切込	○	本工事	・	建築工事
○	送込分電盤、端子盤、 プルボックス	開閉	○	本工事	・	建築工事
		仮付	○	本工事	・	建築工事
		開通	○	本工事	・	建築工事
○	換気扇	採用換気扇	・	本工事	○	機械工事
		外置型・壁掛換気扇	・	本工事	○	機械工事
		壁掛換気扇	・	本工事	○	機械工事
		肩仕換気扇	・	本工事	○	機械工事
○	浄化槽	電源供給	○	本工事	・	
		電源供給	○	本工事	・	
		制御盤	○	別途工事	・	
		制御盤以降の配管	○	本工事	○	機械工事
		・ 配線、経路	・	本工事	○	機械工事
・	屋外電気設備	基礎	・	本工事	・	建築工事
・	自立型制御盤	基礎	・	本工事	・	建築工事
・	自立型アナテ	基礎	・	本工事	・	建築工事
○	天井点検口		・	本工事	○	建築工事
	・ 屋外キュービクル電気設備用遮熱火器		・	本工事	・	支給品
	・ 同上用遮熱ボックス		・	本工事	・	支給品

⑦ 取 外 し 機 器 取外し前に、機器が接続されている回路の絶縁抵抗を測定して異常の有無を確認すること。また、取外し機器を再使用する場合は、清掃及び絶縁抵抗を測定し異常のないこ

⑪ ハンドホール

・ 現場打ちハンドホール	● ブロックハンドホール
鉄蓋 ● 黒マーク入り	● ● マーク入り
・ 重荷重型防水	● 中荷重型防水

加入金額	請負金額の100%
加入時期及び期間	資材搬入前から工事完成後30日まで

② 経 年 換 査	すること。 ① なし ・ あり
-----------	---

③ その他

● 防火区画及び防火上主要な間仕切りの貫通部分は国土交通省大臣認定工法による防火処理を要すること。

電 灯 装 置	分枝	標準	2 線式	100V	
	分枝	標準	2 線式	200V	
備	①	公共施設用照明器具			
	②	LED 照明器具			
	③	照度測定試験			
	④	非常用照明器具			
	⑤	ハイテンション アウトレット			
6. 予 備 配 管	※ 指定分電盤からの立上り予備配管は、予備の配管用距離が 4 個以下の場合（25）を 1 本、5 個以上の場合（25）を 2 本、天井まで立上げる。				

④ 動力設備	分組	三組3機式	200V	
	② 管 柱 壁	※ 壁掛け (電源設置)	※ 内蔵	・ 別添
	③ 電磁開閉器用押針 (遠力操作用)	※ 増込増設用配線器具		・
④ 機器への接続	電動機などの接続は本工事とする。			
⑤ 電動機等の接地	図示以外は金属等接地とする。			

電 熱 設 備	2. 施工場所及び面積	分岐 屋内 2 線式 200V ・ 表玄関ポーチ 約 m ² ・ トイレ (電気暖房機) 約 m ²

・受電設備設備	1. 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V 低圧 単相3線式 100V/200V	
	2. 配 電 機 器	※ 屋内用 ※ キュービクル並記電機等 ※ 高圧1分岐キヤ ※ 開閉ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PFF-S） ※ 高圧交流遮断器（CB）	
	3. 主 変 断 路 器	※ 定格遮断容量 kA ※ 受電容量等 kVA	
	4. 設備容量	※ 電機用コンセント ※ 低圧 ※ 無動力力率制御装置 ※ 無動力力率補正装置 ※ 無動力力率補正装置	
・電力計測設備	1. 高 圧 電 力 計 測 設 備	※ 非常用照用器具電圧、受電設備制御計器用電圧	※ 受電設備専用 非常用照用器具専用
	2. 交 流 無 功 電 力 率 設 備	専用（ ）	

[illegible][illegible]

・ 設備投資設備	・ 定款	・ むね上関係	・ 苗木（別途）など
・ 調査地	・ 地下打撃機	・ 建築費活用	
・ 接合機	・ 接合機	・ 建築費活用	

構 内 文 換 設備	2. 電話機への配線	図線数	内線	図線	局線	図線
	電話機1台につき、下記のものを読み:					
	・ EM・T1T2T3 6.5~2.0			m	m	
	・ EM-T1T2T3 0.5~0.2			m	m	
	・ ワイヤeronロクナ(組線表 外部ノ法)				mm	
3. ローテーション アウトレット	※ 一般電話用	○	※ 納入する		※ 取付付る	
4. 保留器用接地	※ 銅合線	○	アルミ			
	5. 保留器用接地	◎	本工事		※ 別途工事	

1. 機内情報通信設備	種類 (・ 10BASE-T ・ 100BASE-TX ・ 1000BASE-T ・ ATM ・)
2. 情報表示設備	・ 情報表示器 (・ LED式 ・ 磁気浮動式 ・ プラズマ式 ・ 液晶式)

3. 映像・音響設備

・ 増幅器 W

・ VTR (※ S-VHS ・ DV ・)

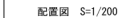
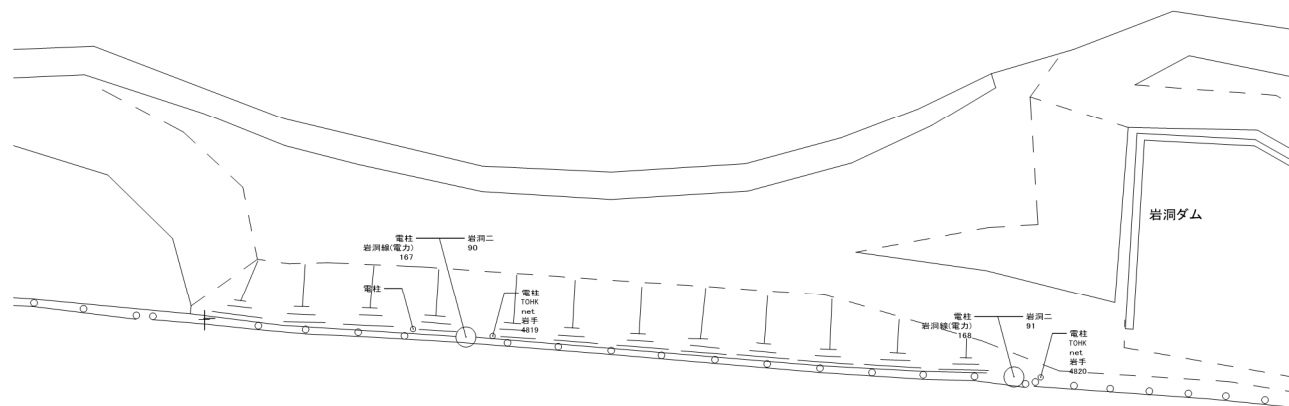
5. 誘導支援設備

- ・ 身体障害者用インターホン
- ・ トイレ等導出し装置

6. 呼出し設備 ・ インターホン（ ・ 受付用 ・ ）
 ⑦. テレビ共同受信設備 ㊦ テレビアンテナ（ ・ AV- ㊦ AU- ・ BSA- ・ CSA- ）
 ・ 地上波アンテナマスト（※ 壁面取付型 ・ 自立型 ・ ポール取付

	設計年月日	設計	検図	受領印

[illegible][illegible]



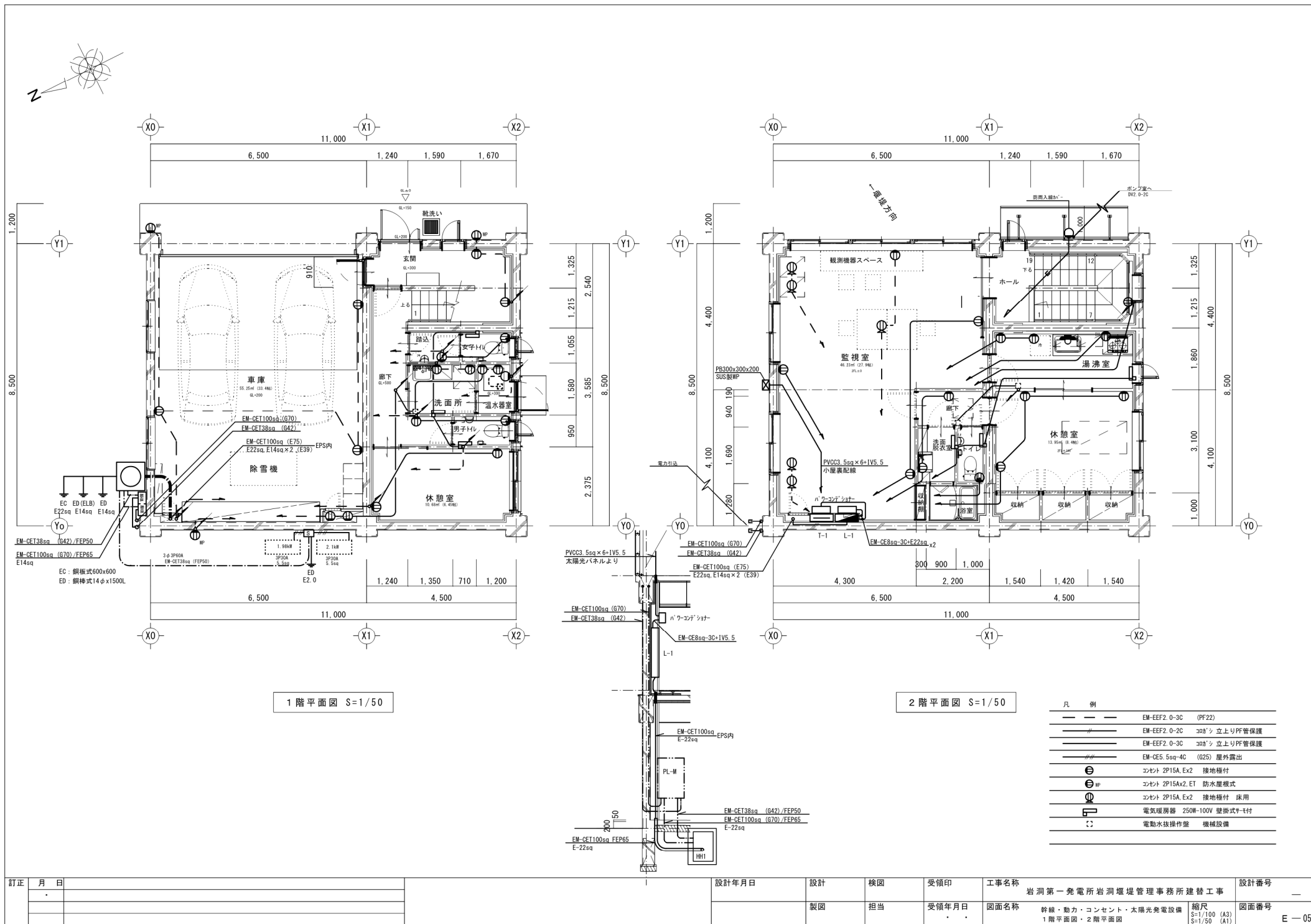
記号	配管 線種
㉑	EM-CET100sqx2 FEP100 EM-CET60sqx2 FEP100 EM-CEES2sq-6Cx2 FEP50 EM-CE5.5sqx2 FEP50
㉒	EM-CET60sqx1 FEP50
㉓	ヨビ管 FEP50x
㉔	EM-CE5.5sq-2Cx2 FEP50
㉕	EM-CE5.5sq-2Cx1 FEP30

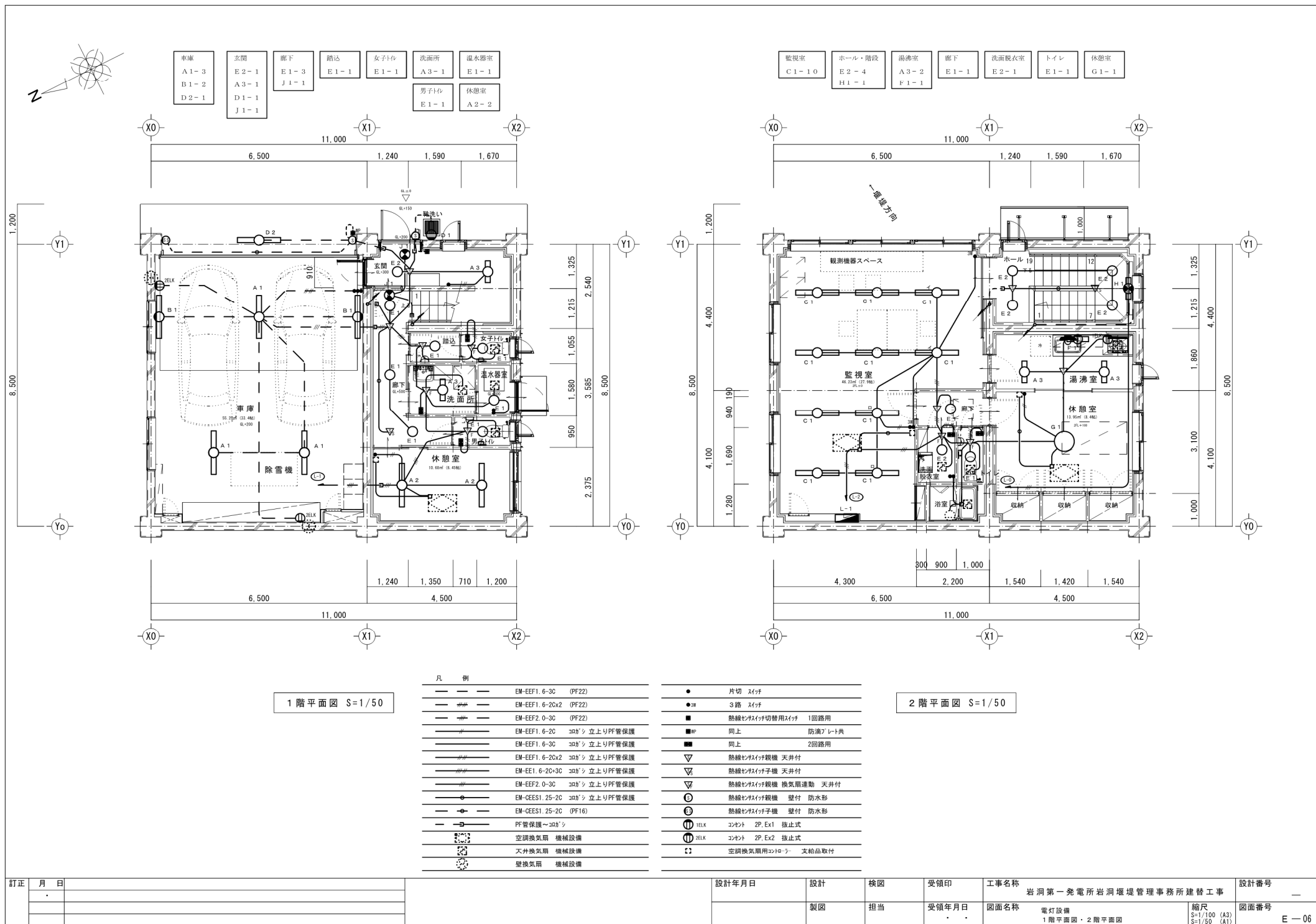
■ ケーブル埋設標識杭

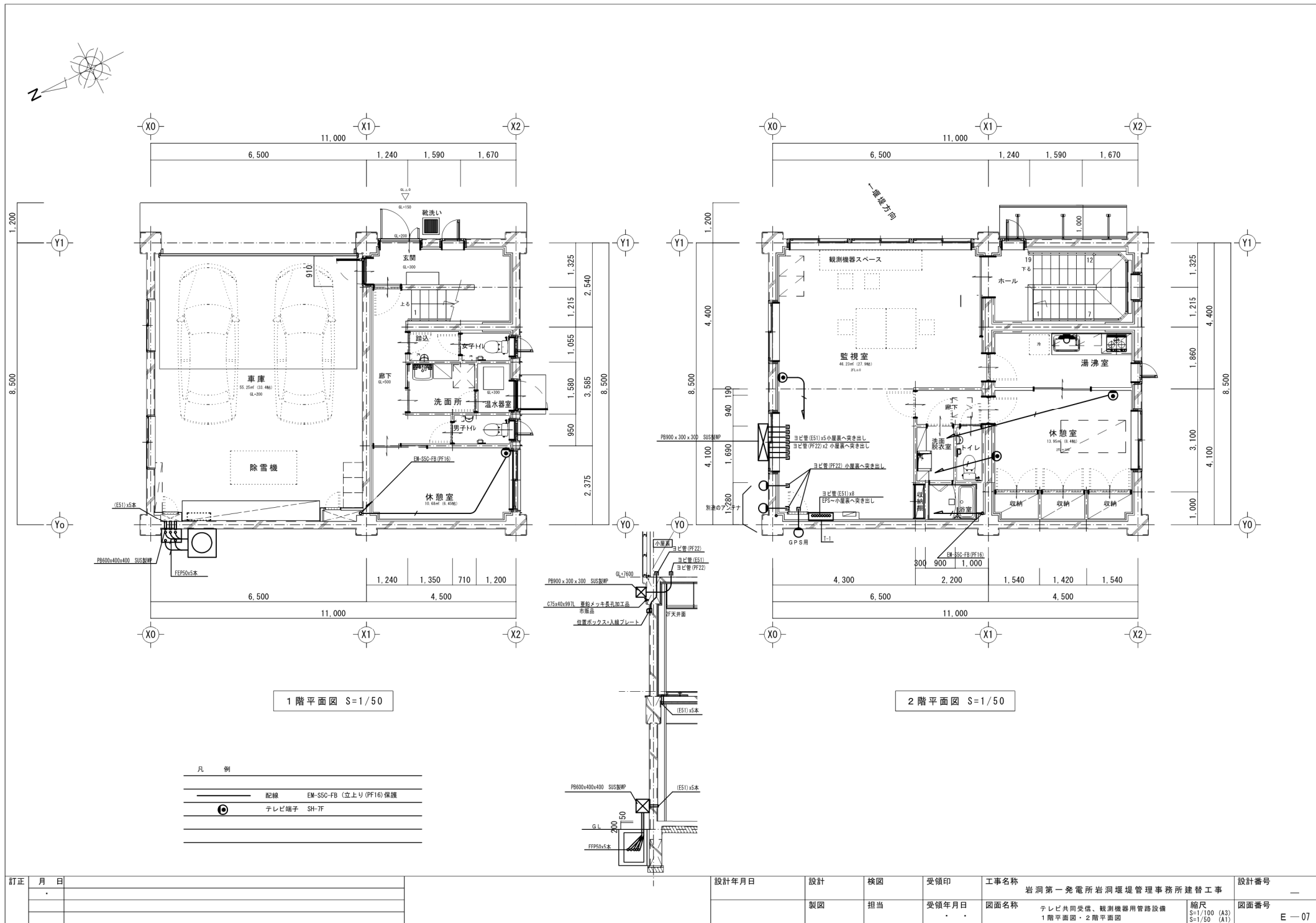
[illegible]

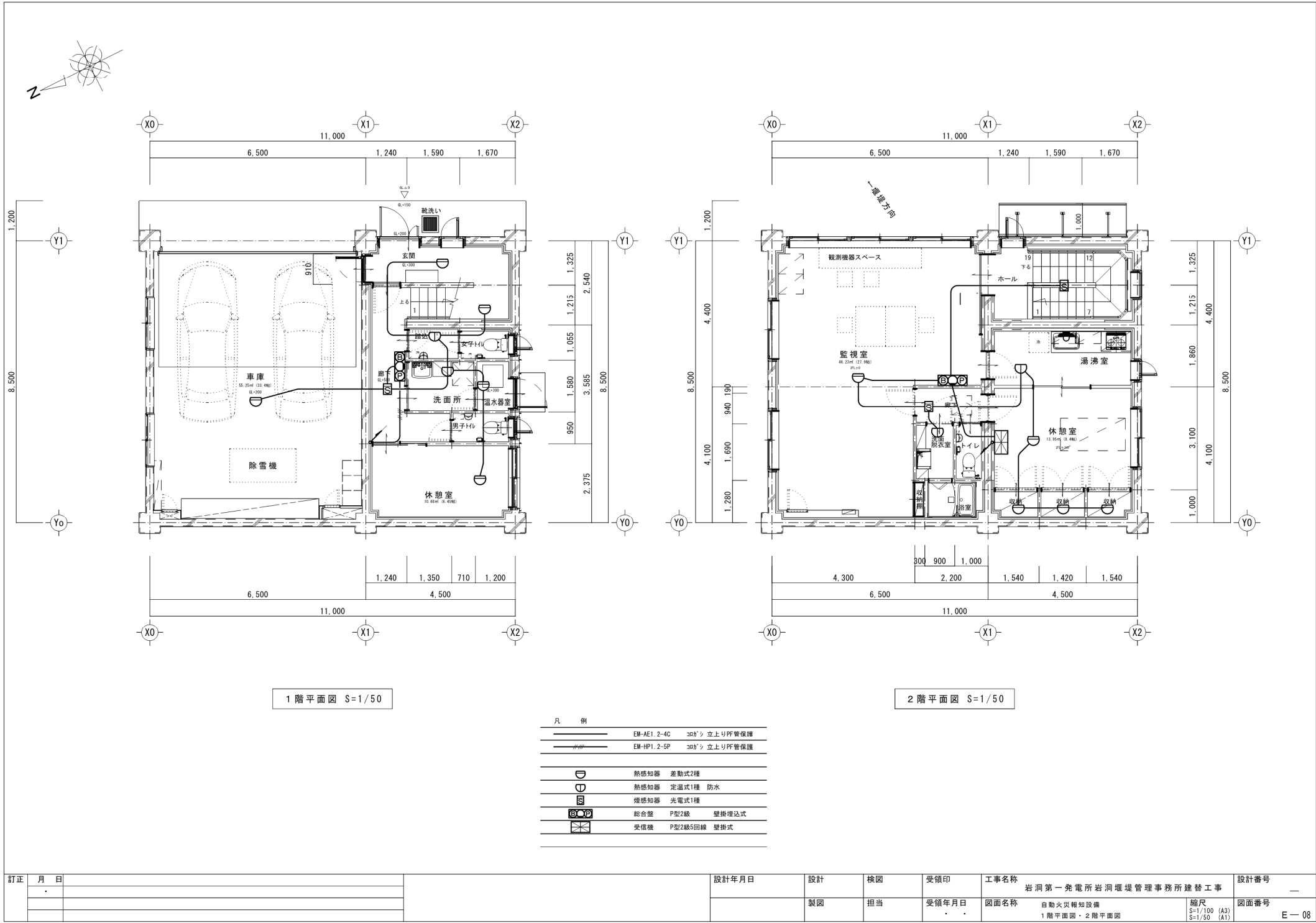
盤 名 称	結 線	回路 番号	電 圧 (V)	分岐種別・極数・トリップ容量 (100A以下は、協約形ブレーカとする)						負 荷 容 量 (V A)	負 荷 名 称	備 考	盤 名 称	機 器 類		
				M C B	E L C B	遮断器										
						協約形 2 P A T	2 P A T	3 P A T								
【L-1】 屋内・壁掛 架台200H付 2階 E P S		L-0	100		○					20A		18	誘導灯	【T-1】 端子盤 2階 E P S 600x1200x2200	コンセント	E付2 P 1 5 A x 2ヶ所 機器用 E付2 P 1 5 A x 2ヶ所 予備
L-1		100		○					20A		698	1階一般照明				
L-2		100							20A		894	2階一般照明				
L-3		100				○			20A		198	外灯				
C1-1		100				○			20A		1100	洗浄便座他				
C1-2		100				○			20A		200	一般コンセント				
C1-3		200							30A		4400	電気温水器				
C1-4		100				○			20A		1100	洗浄便座他				
C1-5		100				○			20A		750	電気暖房機				
C1-6		100				○			20A		200	一般コンセント				
C1-7		100				○			20A		400	一般コンセント				
C1-8		100				○			20A		100	浄化槽ブロワ				
C1-9		100				○			20A		400	配管凍結防止ヒーター				
C1-10		100				○			20A		400	給水ポンプユニット				
C2-1		100				○			20A		200	一般コンセント				
C2-2		200				○			30A		5800	I Hコンロ				
C2-3		100				○			20A		300	一般コンセント				
C2-4		100				○			20A		750	電気暖房機				
C2-5		100				○			20A		1000	洗浄便座				
C2-6		100				○			20A		300	一般コンセント				
C2-7		100				○			20A		200	一般コンセント				
C2-8		100				○			20A		200	一般コンセント				
C2-9		100				○			20A		400	観測機器用コンセント				
C2-10		100				○			20A		400	観測機器用コンセント				
C2-11		100				○			20A		200	観測機器用コンセント				
C2-12		100				○			20A		400	観測機器用コンセント				
C2-13		100				○			20A		200	T-1				
C2-14		100				○			20A		500	観測機器用ヨビ回路				
C2-15	100				○			20A		500	観測機器用ヨビ回路					
C2-16	100				○			20A		500	観測機器用ヨビ回路					
C2-17	100				○			20A			ヨビ					
C2-18	100				○			20A			ヨビ					
C2-19	100				○			20A			ヨビ					
C2-18	100				○			20A			ヨビ					
【UPS】	26.813kVA	MCB3P 225AF/175AT	UPS	100		○				4000	非常用電源装置			【S】 開閉器盤 1階 外壁	開閉器	E L C B 3 P 3 0 A x 2
【POW】	4.00kVA	MCB2P 100AF/75AT	POW	100/200		○				5500	パワーコンディショナー					
【POW】	5.50kVA	MCB3P 50AF/40AT	POW	100/200		○				4000	パワーコンディショナー					
【POW】	4.00kVA	MCB3P 50AF/30AT	POW	100/200		○										

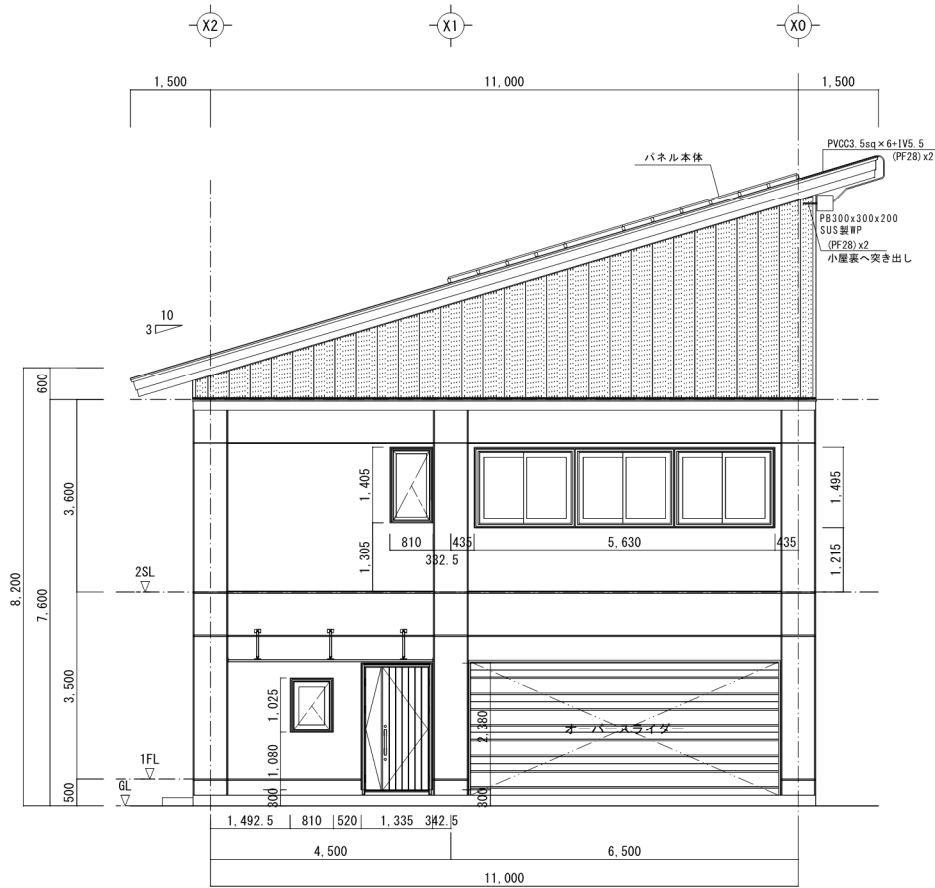
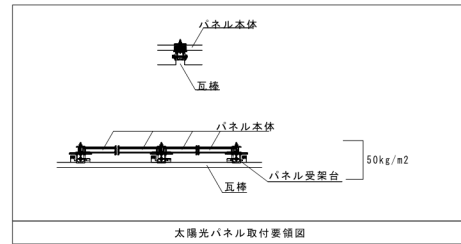
凡 例		特 記
記号	機器名称	
Wh	電力量計	
M C C B	配線用遮断器	
E L C B	漏電遮断器 ※主幹は感度電流切替型とする。	
T M S	ソーラタイマー	
M C	電磁接触器	
C O S	自動一手指切換器	
R T	リモコントランス	
R※	リモコンリレー ※＝回路数	
A S	自動点滅器	



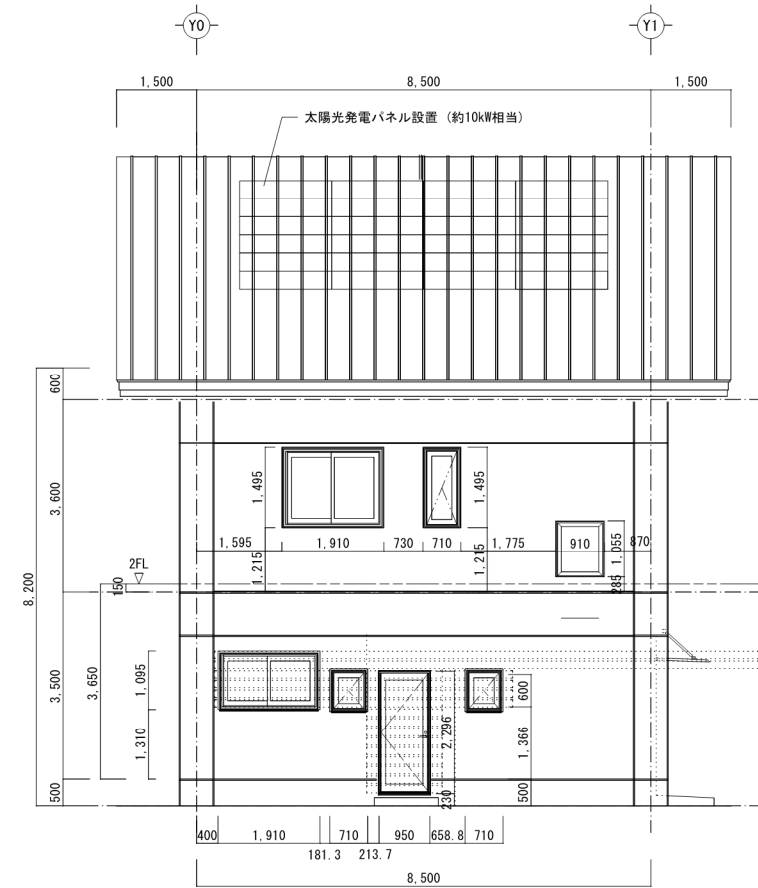




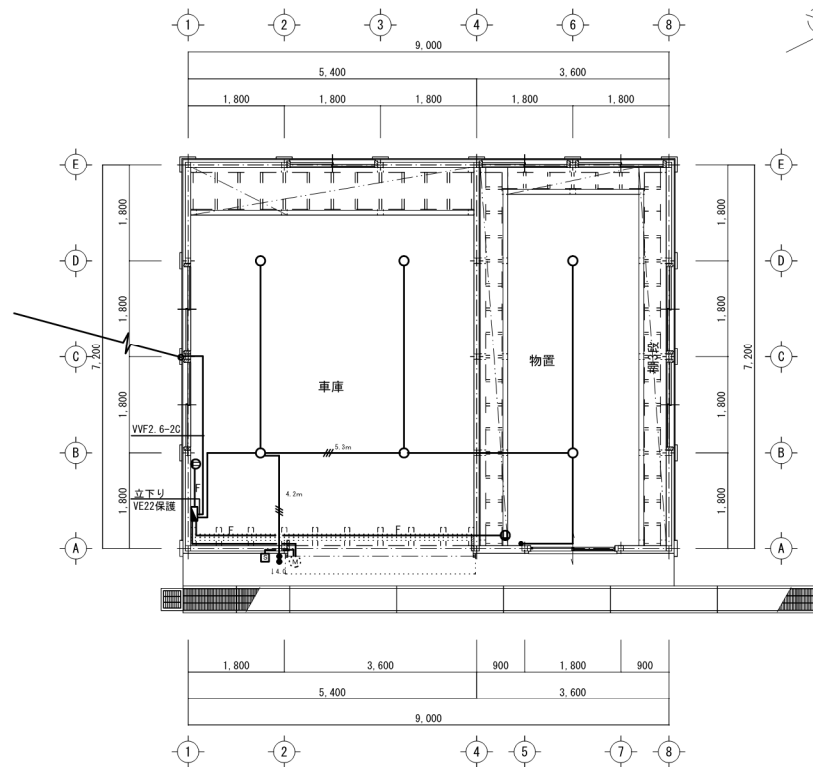
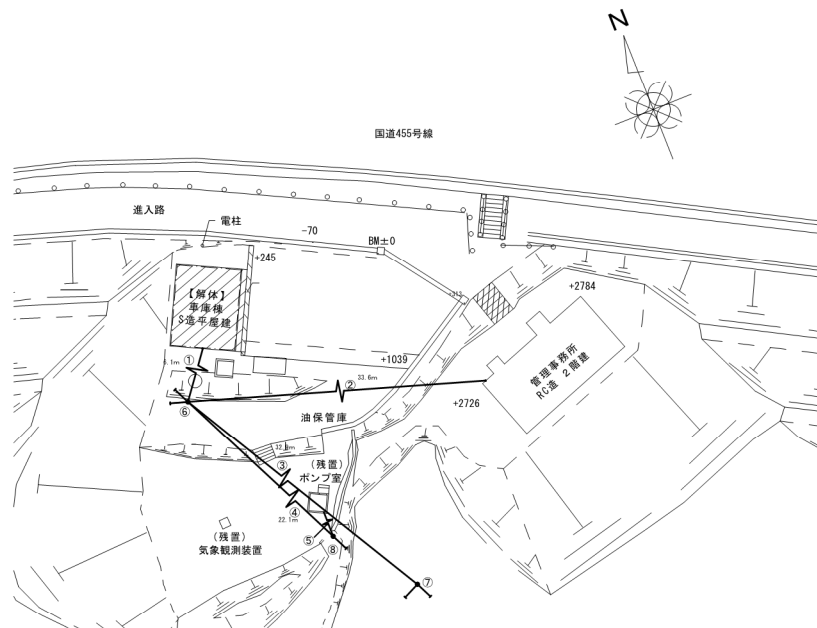




太陽光パネル設置位置図

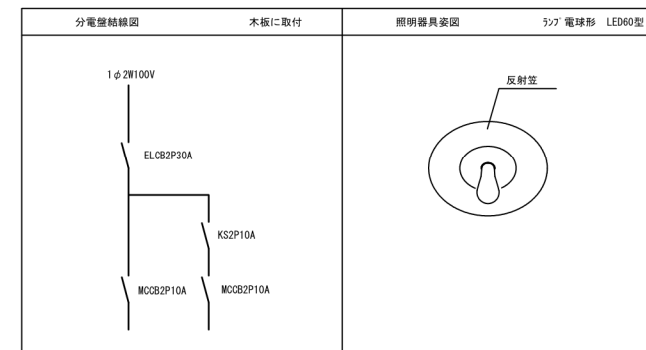


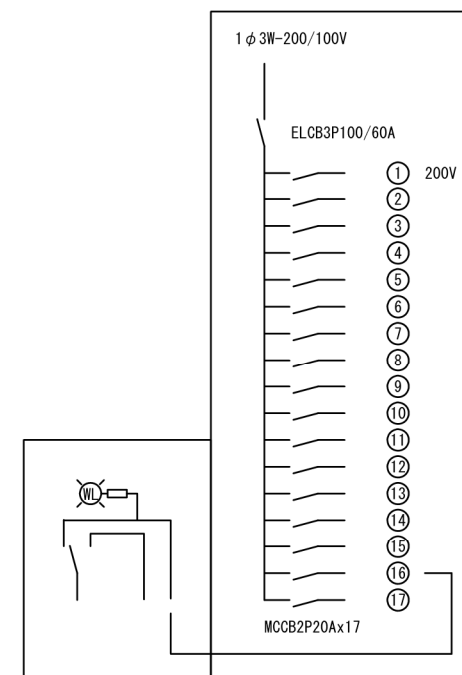
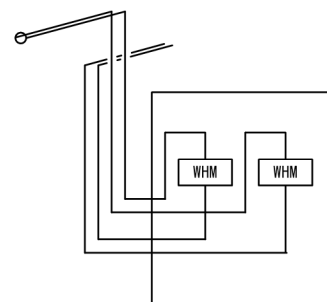
訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.						岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	太陽光パネル設置位置図・取付要領図	E-09
							縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	



記号	名称	規格等	備 考
①	電線	DV2 0-2C	
②	電線	DV3 2-2C	
③	電線	OW3 2 x 2	
④	電線	OW2 0 x 2	
⑤	電線	DV2 0-2C	残置・再利用
⑥	ﾊﾞﾝﾄﾞ ﾏﾞｽﾄ	R26型 全長8.9m	銅金900Lx2 支線x2 共
⑦	ﾊﾞﾝﾄﾞ ﾏﾞｽﾄ	R27型 全長10.5m	銅金900Lx1 支線x1 共
⑧	ﾊﾞﾝﾄﾞ ﾏﾞｽﾄ	R24型 全長5.5m	銅金900Lx1 支線x1 共 残置・再利用

凡 例	
	IV1. 6x2 (19) 露出
	IV1. 6x3 (19) 露出
	WF1. 6x2C 露出
	丸形露出 [※] ツクス
	スリチ 1Px1 露出 [※] ツクス共
	スリチ 1Px2 露出 [※] ツクス共
	金属製閉閉器箱
	コンソト 2Px2 角型露出

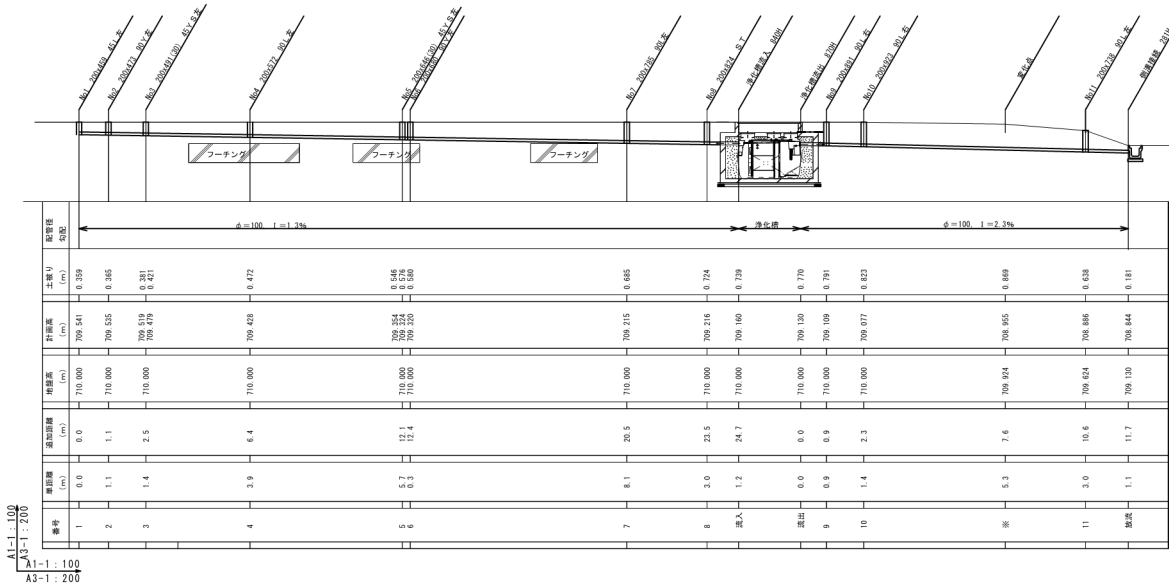
[illegible]



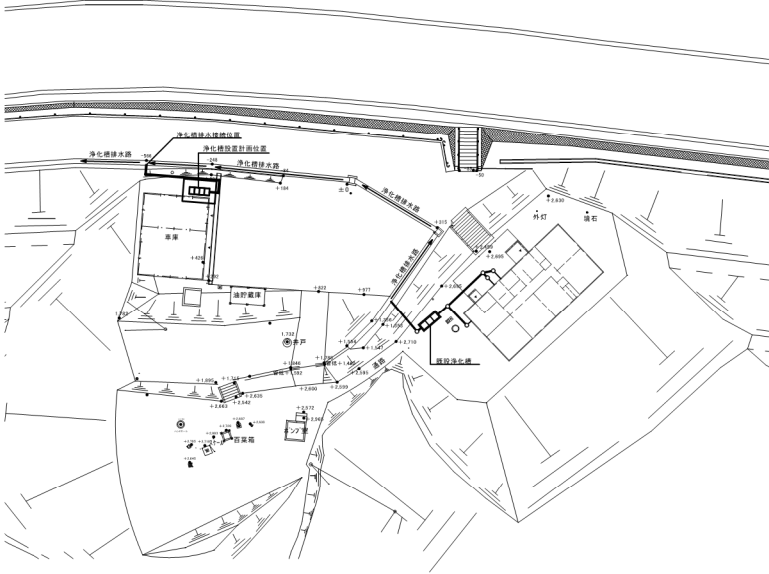
[illegible]

衛生器具表

名 称	仕 様 (参考型番: TOTO 他)	1 階					2 階					数量
		女子トイレ	男子トイレ	洗面所	温水器室	車庫 P S	トイレ	洗面更衣室	浴室	廊下	湯沸室	
洋風便器	CS597BCS 密結タンク式 掃除口付 TCF6871AC 自動開閉洗浄便座、壁巻装置付 YH651 二連紙巻器 その他付属品	1	1				1					3
手洗器	L723 ベッセル式 自動水栓 カウンター (ブレン) 150Wx600L ブラケット x 2		1	1			1					3
混合水栓	洗濯機用 緊急止水付 TW21R			1								1
湯水栓	T200SNR13C										2	2
給気弁	15A		1		1		1	1			1	5
水抜弁	BH-S20Ax0.8m				3	1						4
湯抜弁	MD-S20Ax0.8m				1							1
電動水抜操作部	水抜 1 回路用 電動駆動部 1 個共								1	1		2
電動水抜操作部	水抜 1 回路、湯水連動 1 回路用 電動駆動部 3 個共			1								1
不凍水栓柱	DA20x13x1.5m アルミ外装角型											
電気温水器	容量 370L、先止め式 最高使用圧力 0.1MPa 1φ200V4.4kW 5AV20、自動空気抜弁				1							1
洗濯機	300HP 単相型 300HP 単相型 砂利 0.5m3										2	2
キッチン流し台	本体、水栓金具共 建築工事									1		1
洗面化粧台	本体、水栓金具共 建築工事			1			1					2
ユニットバス	本体、水栓金具共 建築工事							1				1



排水管路縦断面図



現況配置図 S=1/300

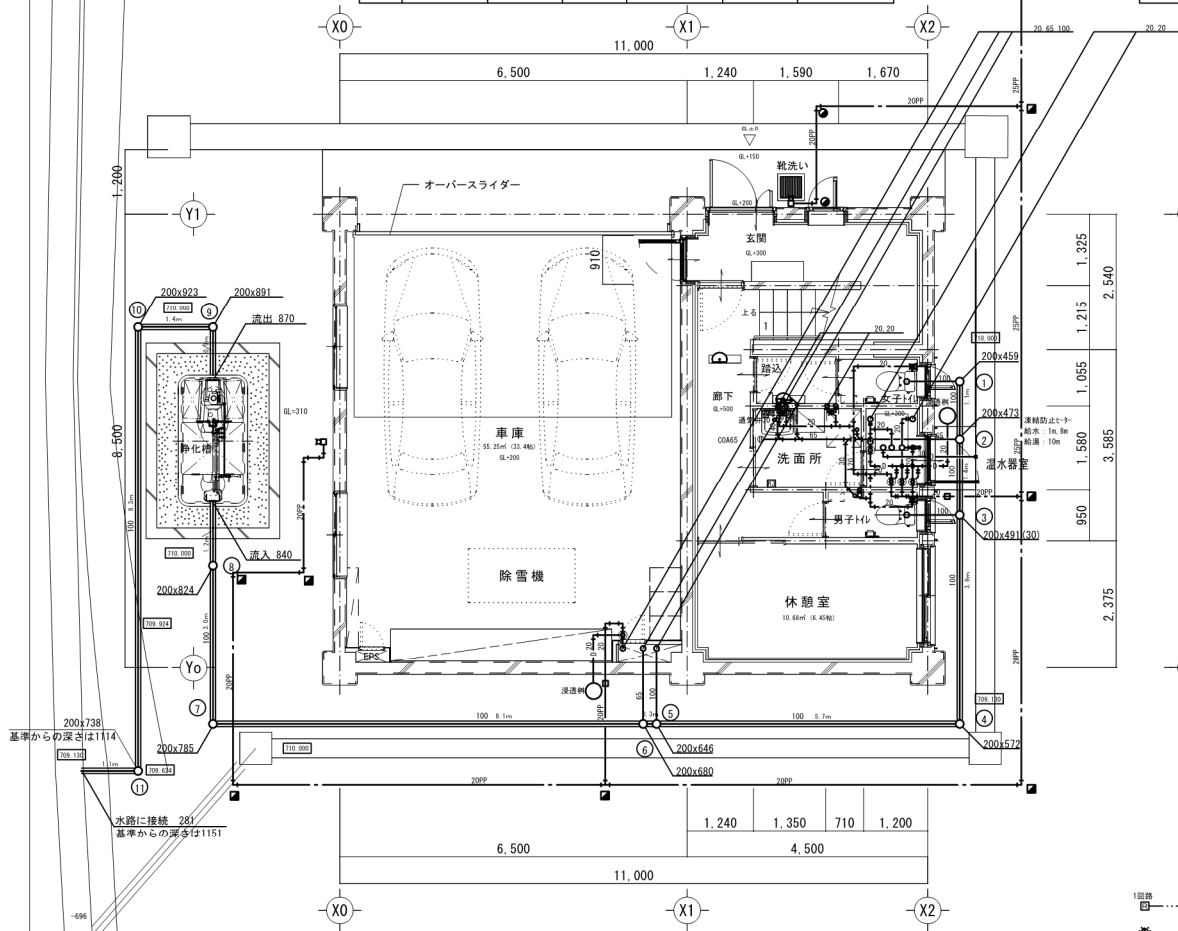
※浄化槽設置計画位置は現状位置と対応させている。

訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							給排水衛生設備 排水管路縦断面図	縮尺 S=1/200, 600 (A3) S=1/100, 300 (A1)
							衛生器具表 現況配置図	M-03

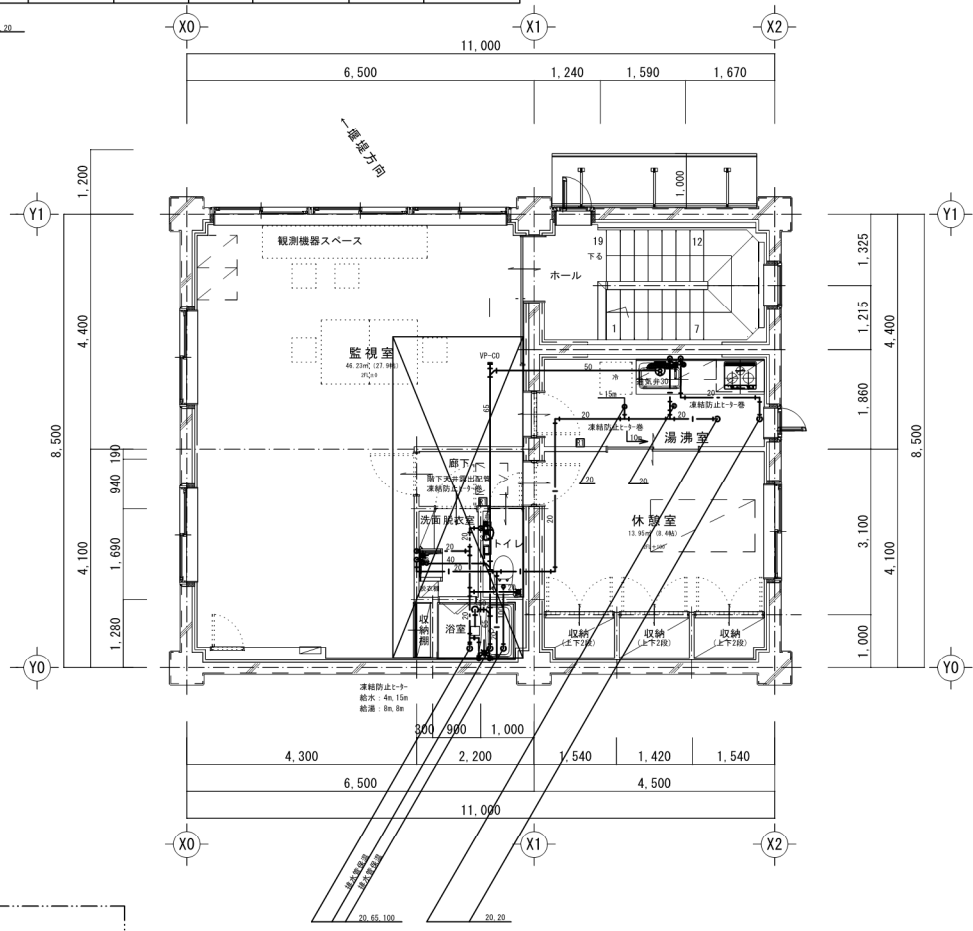
番号	排水器具	器具トラフ	形状	規格	防護蓋等	備考
1	1階トイレ	有	45L左	100-200	無	
2	1階洗面系統	全て有	90Y左	100x75-200	無	
3	1階トイレ	有	45YS左	100-200	無	段差付
4	屈曲点	—	90L	100-200	無	
5	2階トイレ	有	45YS左	100-200	無	段差付
6	2階洗面系統	全て有	90Y左	100x75-200	無	

番号	排水器具	器具トラフ	形状	規格	防護蓋等	備考
7	屈曲点	—	90L左	100-200	無	
8	中間点	—	ST	100-200	無	
9	屈曲点	—	90L右	100-200	無	
10	屈曲点	—	90L右	100-200	無	
11	屈曲点	—	90L左	100-200	無	側溝に放流

- 注記
- 汚水管はVU100φとする
 - 配管勾配は起点樹から浄化槽までは1.3%とする。
 - 浄化槽から放流先までの勾配は2.3%とする。
 - 内の数値は排水設備に於ける標高とする。



1階平面図 S=1/50



2階平面図 S=1/50

- 地中埋設機 (コンクリート製)
- 地中埋設機 (金属製)

電動水栓配線施工要領

給水・給湯系統図

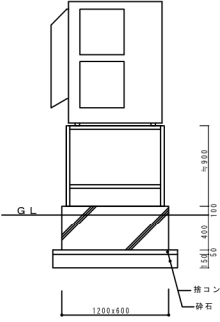
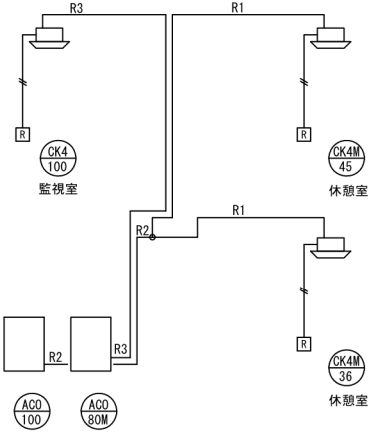
注記1. 給水、排水その他の配管設備のつては、建築基準施工令129条の2の4による。
注記2. 電気温水器は、国土交通省告示第1447号に適應した固定を行う。

訂正	月	日	設計年月日	設計	校図	受領印	工事名称	設計番号
							岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							給排水衛生設備 1階平面図・2階平面図 系統図	M-04
							縮尺 S=1/100 (A3) S=1/50 (A1)	

主 要 機 器 表																			適用事項			
(機器表に記載なきものは別紙図面書き込みによるものとする)																			1. 項目は番号に○印の付いたものを適用する。 2. 形式・種別等で○、※印のある場合の適用は下記による。 ○印の無い場合は、※印を適用する。 ○印のある場合は、◎印を適用し、※印は適用しない。 ◎印と○印のある場合は共に適用する。			
パ ッ ケ ー ジ 形 空 調 和 機	記 号	機 器 名	系 統	形 式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	圧縮機位置	圧 縮 機		屋 外 送 風 機		燃料消費量 Nm ³ /h	冷暖	台数	架 台	塩 害 仕 様	基 礎	備 考				
	ACO-80M	パ ッ ケ ー ジ 形 空 気 調 和 機 エ ア コ ン (屋 外 機)		・冷房形 ○冷暖兼用形	○電気 ・GHP	8.0	9.0	※屋外・室内	三 200 1.98	三 200 0.06x2		R410	1	○平架台900H・防音壁様	・耐塩害 ・耐凍害	○本工事 ・別途						
	ACO-100			・冷房形 ○冷暖兼用形	○電気 ・GHP	10.0	11.2	※屋外・室内	三 200 2.10	三 200 0.06x2		R32	1	○平架台900H・防音壁様	・耐塩害 ・耐凍害	○本工事 ・別途						
気 調 和 機	記 号	機 器 名	系 統	形 状	冷房能力 kW	暖房能力 kW	風 量 m ³ /h	機外静圧 Pa	室 内 送 風 機		補 助 ヒ ー タ	燃料消費量等		入口空気温度 (参考)		台数	備 考					
	CK4M-36	パ ッ ケ ー ジ 形 空 気 調 和 機 エ ア コ ン (室 内 機)		天井カセット 4方向吹出	3.6	4.0	420		異 200 0.05				27℃DB	℃WB	20℃DB	℃WB	1	2m 外形				
	CK4M-45			天井カセット 4方向吹出	4.5	5.0	450		異 200 0.05				27℃DB	℃WB	20℃DB	℃WB	1	2m 外形				
	CK4-100			天井カセット 4方向吹出	10.0	11.2	1800		異 200 0.12				27℃DB	℃WB	20℃DB	℃WB	1					
備 考	イ) 暖房能力は補助電気ヒーターの加熱能力も含む。 ロ) 冷暖房能力はJIS B8616:2015の条件における能力とする。 ハ) 補助ヒータ及び加温器を組み込んだ場合は、送風機とインターロックし、ヒータの残熱除去運転終了後停止する回路を組み込むこと。 ニ) 防振材は ゴム 製とし、絶縁効率は 85%以上とする。																					
	ホ) 塩害仕様は(社)日本冷凍空調工業会標準規格による。 ヘ) 屋外ユニット用防電カバー (製造者規格品) ◎付属 ・付属しない ト) 運転時間計 ・要 ○不要 ・運転時間表示用端子 ・要 ・不要 チ) 運転コンデンサー ・要 ○不要 テ) コントロールスイッチ ◎付属 ・付属しない 付属する室内機記号 全機種																					
リ) コントロールスイッチ形式 ・ワイヤレス ◎ワイヤード ス) 屋外機室内機間の電源、制御配線 ・付属 ◎付属しない ル) 新冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。 ヲ) グリーン購入法の基準を満足するものとする。																						

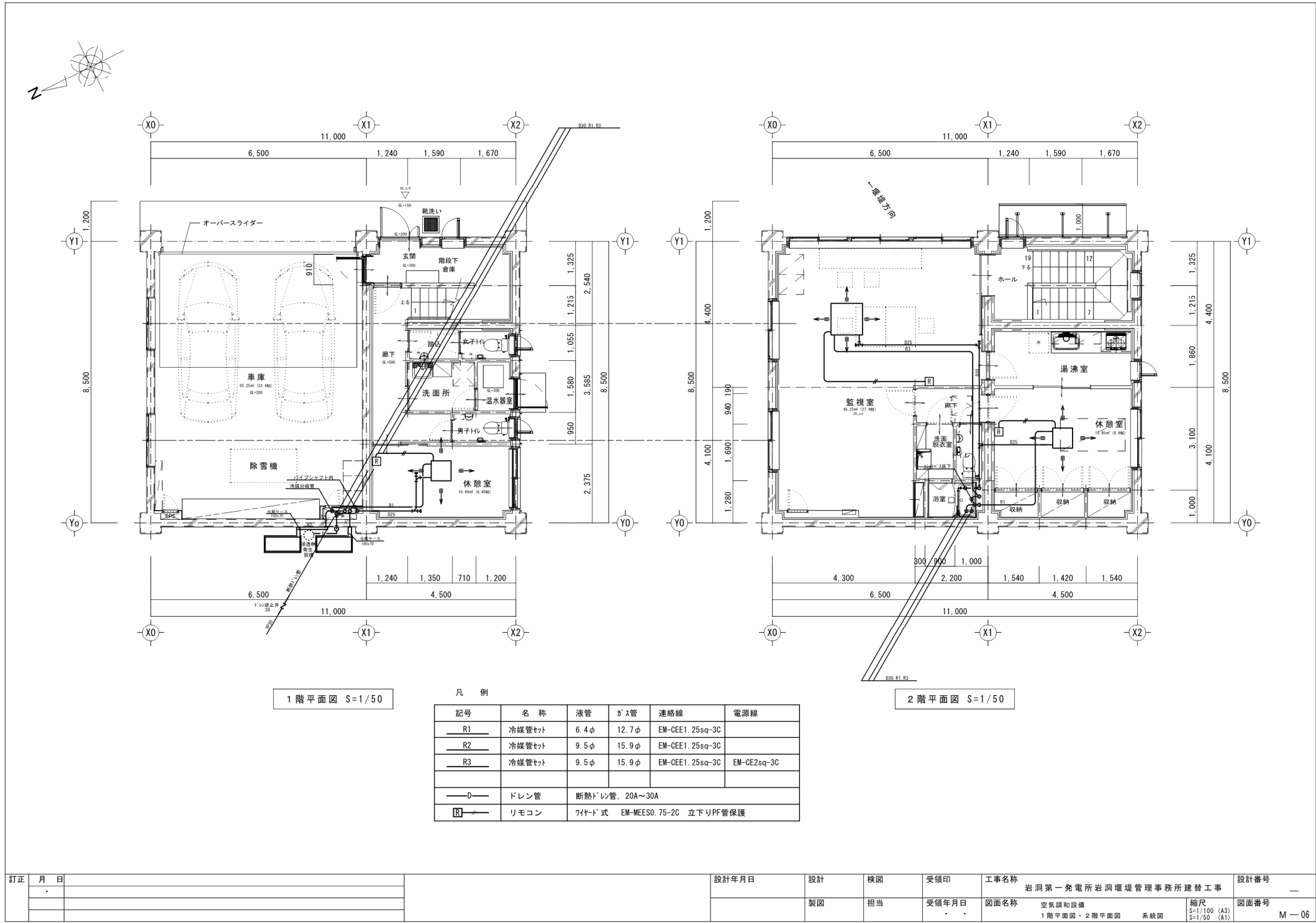
凡 例

記号	名 称	液 管	ガ ス 管	連絡線	電 源 線
—R1—	冷媒管セット	6.4φ	12.7φ	EM-CEE1.25sq-3C	
—R2—	冷媒管セット	9.5φ	15.9φ	EM-CEE1.25sq-3C	
—R3—	冷媒管セット	9.5φ	15.9φ	EM-CEE1.25sq-3C	EM-CE2sq-3C
—D—	ドレン管	断熱ドレン管、20A~30A			
—R—	リモコン	ワイヤード式	EM-MEES0.75-2C	立下りPF管保護	



屋外機基礎施工要領

訂正	月 日		設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.						岩 洞 第 一 発 電 所 岩 洞 堰 堤 管 理 事 務 所 建 替 工 事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	空 気 調 和 設 備 機 器 表 ・ 系 統 図	M — 05
								縮尺 S=No (A3) S=No (A1)



主 要 機 器 表

適用事項

1. 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
2. 形式・種別等で◎、※印のある場合の適用は下記による。
○印の無い場合は、※印を適用する。
◎印のある場合は、◎印を適用し、※印は適用しない。
◎印と◎印のある場合は共に適用する。

(機器表に記載なきものは別紙図面書き込みによるものとする)

全熱交換器

記号	機 器 名	系 統	形 式	風 量 m^3/h		機外静圧 Pa		初期抵抗 Pa	温 度 交換効率 %	電 動 機		台数	備 考	
				給 気	排 気	給 気	排 気			電 圧	電 力			
HEC-300	全 熱 交 換 器		・回転形・静止形 ○ユニット形 ○カセット形 ・天井埋べい形 ・床置形 ・換気扇形	300	300	105	105		65 %	単 相	100 V	140W	1	LGH-N55C03 深型フード、スパイラルダクト共
			24時間換気 微弱風量運転時	100	100									マイコン式24時間運転スイッチ共
HEC-120			・回転形・静止形 ○ユニット形 ○カセット形 ・天井埋べい形 ・床置形 ・換気扇形	120	120	105	105		65 %	単 相	100 V	69W	2	LGH-N150C3 深型フード、スパイラルダクト共
			24時間換気 微弱風量運転時	50	50									マイコン式24時間運転スイッチ共

備考

イ) ユニットの操作スイッチ及び運転表示灯は付属品とする。
ロ) 床置ユニット形はフィルターを付属する（製造者標準品）。
ハ) SUS製深型フード（ダクト径）を付属させる。
ニ) 予備フィルター（枠共）として100%納入する。
ホ) ユニットの形は ◎標準形 ○マイコン形）とする。

換気扇類

記号	機 器 名	形 式	種 別	羽 根 径 mm	風 量 m^3/h	静 圧 Pa	24時間換気風量 m^3/h	電 動 機			シャッター形式	台 数	備 考
FC-60	換 気 扇	○普通形 ○圧力形 ●天井埋込形	●標準形 ○防湿形	100	60	80	――	単 相	100 V	13W	●風圧形 ○電気式	6	VD-13ZC14 深型フード、スパイラルダクト共
FE-1100		○普通形 ●圧力形 ○天井埋込形	●標準形 ○防湿形	300	1100	50	――	単 相	100 V	50W	○風圧形 ●電気式	1	FWF-30BSA2 SUS製ウェザーカバー、電動シャッター、防鳥網、バックガード共
FS-1100		○普通形 ●圧力形 ○天井埋込形	●標準形 ○防湿形	300	1100	50		単 相	100 V	50W	○風圧形 ●電気式	1	EWF-30BSA2-Q SUS製ウェザーカバー、電動シャッター、防鳥網、バックガード共
FC-XX	換 気 扇	建 築 工 事										(1)	本体別途 深型フード、スパイラルダクト接続 本工事共
RF-XX		建 築 工 事										(1)	本体別途 深型フード、スパイラルダクト接続 本工事共
VHS 200	制 気 口	VHS 200×200	ボックス 300×300×300H				約250					2	深型フード、スパイラルダクト共
VHS 300		VHS 300×300	ボックス 400×400×400H				約450					1	深型フード、スパイラルダクト共

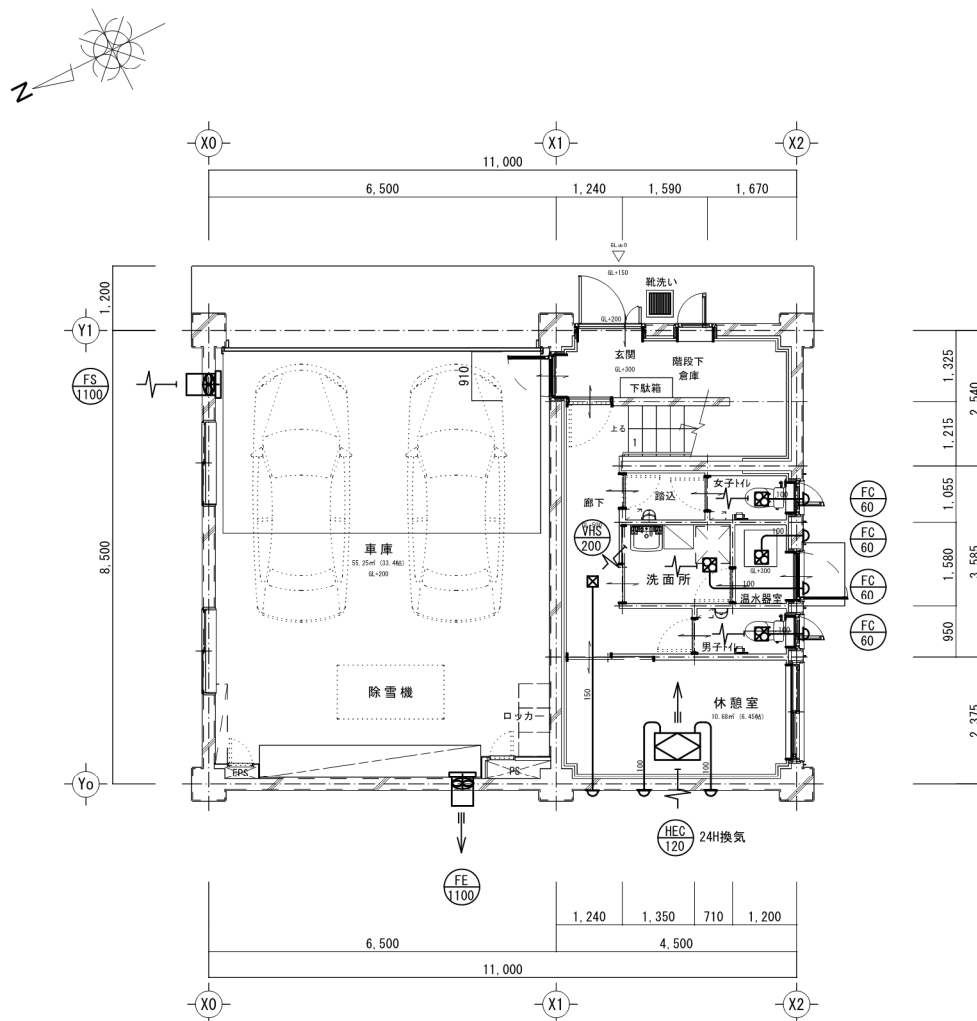
備考

イ) FC-○○には深型フードを付属させる。
ロ) 深型フードはSUS製とし、接続ダクトとする。
ハ) 図中の「FD付」はFD付深型フードとする。

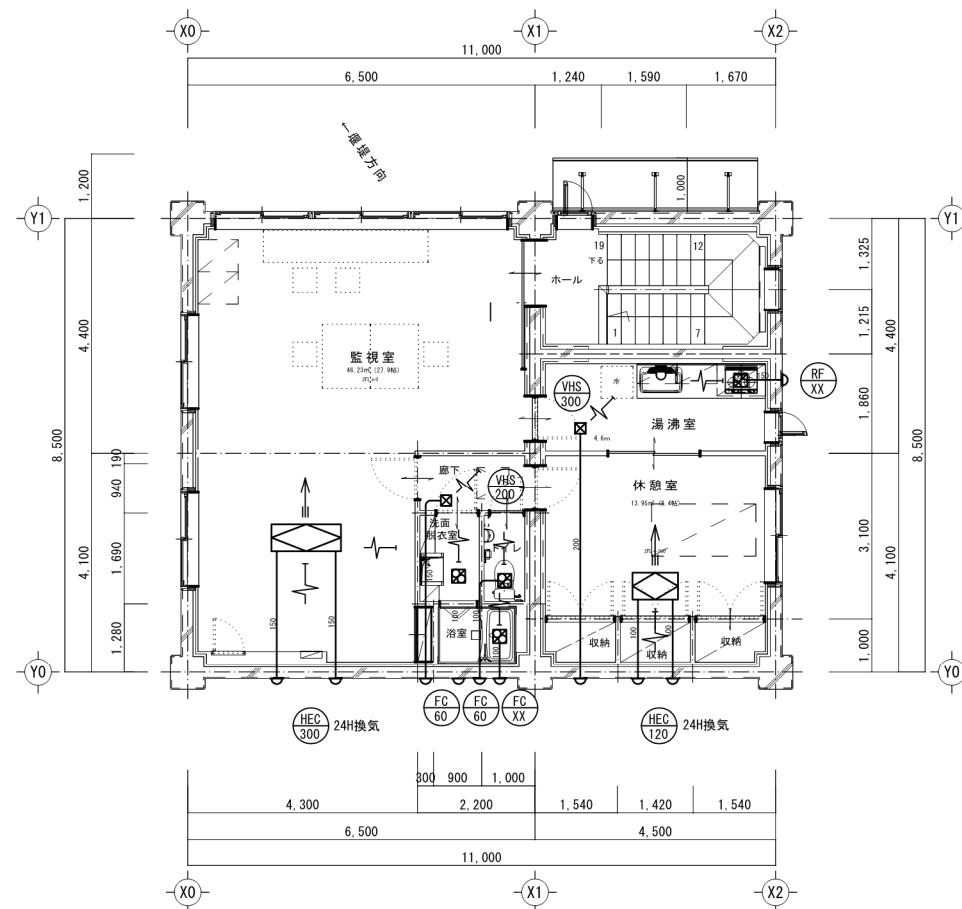
建築基準法施行令第20条の6第1項第一号イによる計算

室名称	床面積 m^2	天井高さ m	容積 m^3	換気種別	給気機による給気量 m^3/h	排気機による排気量 m^3/h	換気回数 (24h) 回/h	判定	選定機種
1階									
休憩室	10.68	2.500	26.70	第1種	50	50	1.87	OK	HEC-120
2階									
休憩室	18.45	2.500	34.88	第1種	50	50	1.43	OK	HEC-120
監視室	46.23	2.500	115.58	第1種	100	100	0.87	OK	HEC-300

訂正	月 日			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.							岩 洞 第 一 発 電 所 岩 洞 堰 堤 管 理 事 務 所 建 替 工 事	—
					製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							.	換気設備 機器表・換気計算書	縮尺 S=No (A3) S=No (A1) M-07

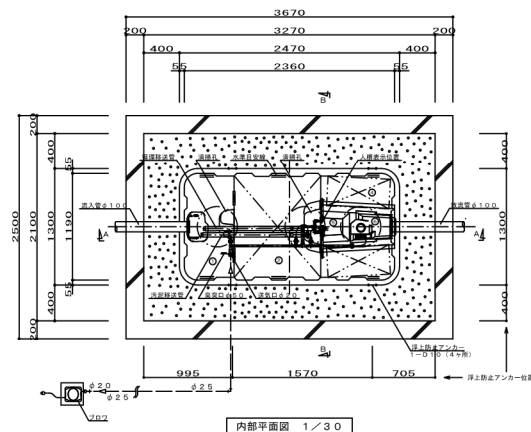
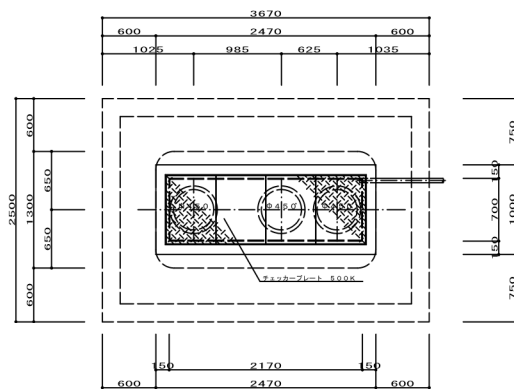


1 階平面図 S=1/50



2 階平面図 S=1/50

訂正	月	日			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事	設計番号 —
	.									
						製図	担当	受領年月日 . .	図面名称 換気設備 縮尺 $S=1/100 \text{ (A3)}$ $S=1/50 \text{ (A1)}$ 1 階平面図・2 階平面図	図面番号 M — 08

[illegible]

配管仕様	
露出配管（プロウ張り）	V P
土中配管	φ 40 以下 ~ V P ・ φ 50 以上 ~ V U
屋内配管	メーカ一仕様

注 1) 2層は1~2層重なりとする。(上部重なり=横高1m+防落柵+人=500kg、高さ2層重なり=横高1100Vとする)

注 2) 鋼骨の「L」は化粧板の長さの1/3以上を示す。

注 3) 劣化増損からプロファイルの劣化は10mm以内とする。

注 4) 劣化=劣化箇所を半回旋とする。又焼結工事は1/4回転工事を範囲外とする。

注 5) 劣化箇所を半回旋とする。又焼結工事は1/4回転工事を範囲外とする。

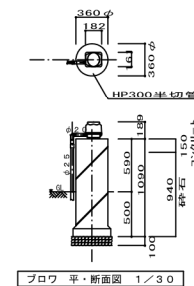
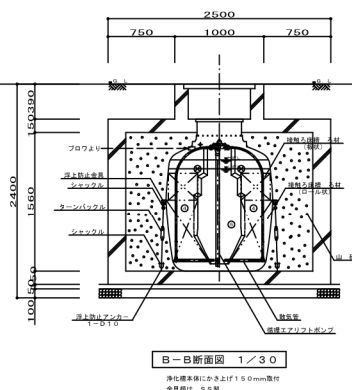
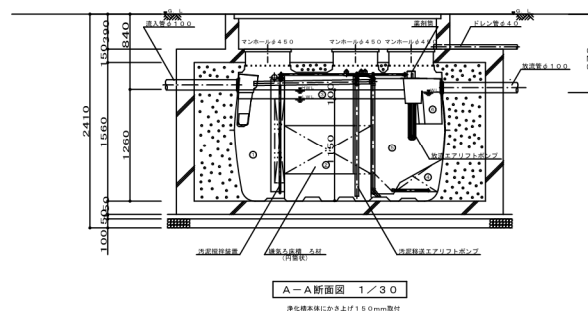
注 6) 劣化箇所を半回旋とする。又焼結工事は1/4回転工事を範囲外とする。

注 7) プロファイルにコンクリートLを設けること。設けるは劣化箇所を範囲外とする。

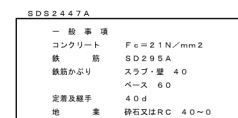
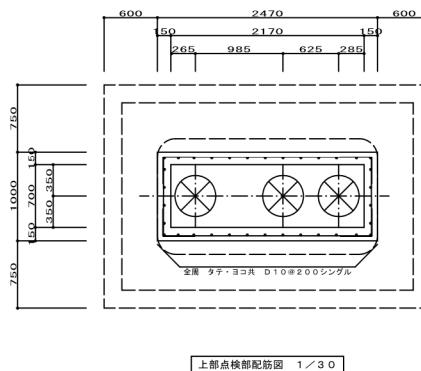
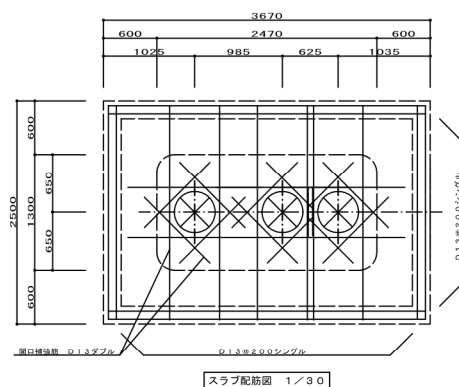
注 8) 前期制工事、竣工工事、地役改良工事、フェルトボラ工事は特別外とする。

注 9) 製品全品は、製品提供で+10、-0.2mmの公差があり得る。

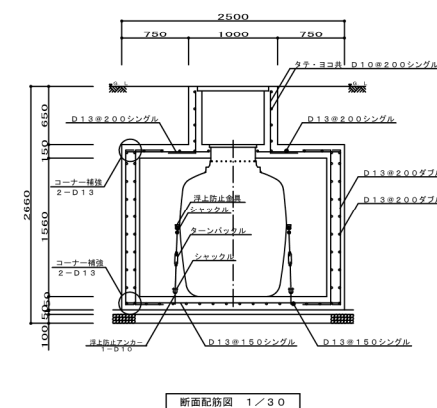
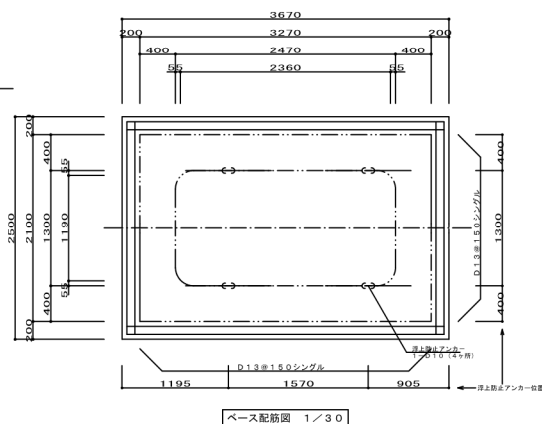
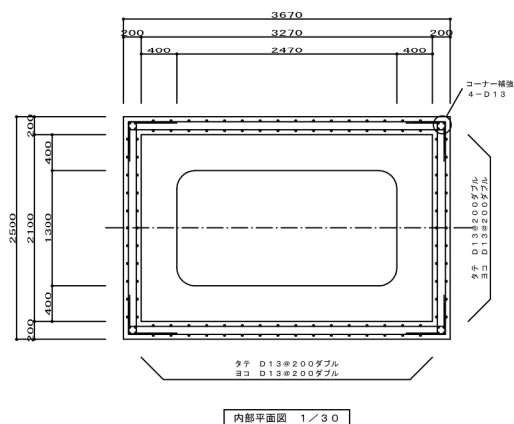
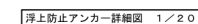
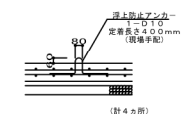
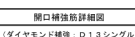
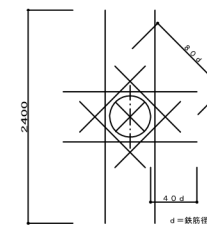
注 10) 劣化箇所は、製品提供で+10、-0.2mmの公差があり得る。



訂正	月	日			設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称 岩洞第一発電所岩洞堰堤管理事務所建替工事		設計番号 —
	.										
						製図	担当	受領年月日 .	図面名称 浄化槽設備 仕様書、平面図、断面図	縮尺 S=1/60 (A3) S=1/30 (A1)	図面番号 M—



注1) 上部はT-2荷重とする。(上部荷重=積雪1m+除雪機械+人=500kg/条)
注2) 図中の“G、L”は浄化槽位置での仕上りレベルを示す。
注3) 地耐力は48kN/m²以上必要とする。
(実際の工事業者が確認後施工の事)

[illegible]